日本農業普及学会誌研究報告等掲載一覧

日本農業普及学会誌研究報告等掲載一覧 タイトル	執筆者	冊子名	発行年月	発行番号	区分
	拟丰 石	農業普及	2022年12		シンポジウ
オンライン併用座談会(令和4年10月14日 東京Web開催)		学会誌 農業普及	月 2022年12	55(27-2)	シンポジウ
テーマ:これからの国際農業者協力	板垣 啓四郎	学会誌 農業普及	月 2022年12	55(27-2)	ム シンポジウ
概要報告		学会誌 農業普及	月 2022年12	55(27-2)	ム シンポジウ
座談会資料	里見 洋司	学会誌 農業普及	月 2022年12	55(27-2)	ム シンポジウ
第1報告:海外技術協力の経験から感じたこと	福田 浩一	学会誌 農業普及	月 2022年12		ムシンポジウ
第2報告:インドネシアのスマート農業と普及活動 第3報告:Wey Forward-日本とフィリピンにおける有機農業研究活動から学	下口ニナ	学会誌 農業普及	月 2022年12		ムシンポジウ
Si-	鈴木 香奈子	学会誌農業普及	月 2022年12		ムシンポジウ
第4報告:アフリカにおける農業技術普及や研究活動を通じて見えた課題	ジョン・S・コールド	学会誌農業普及	月 2022年12	55(27-2)	ムシンポジウ
コメント1:	ウェル 沼田 光夫	学会誌農業普及	月 2022年12	55(27-2)	ムシポジウ
コメント2:	冶田 九大	学会誌	月		ム
書評	<i>\</i>	農業普及 学会誌	2022年12月	55(27-2)	-1
著者:関根 久子 『小麦の生産性格差の要因分析』 ************************************	佐藤 了	農業普及 学会誌	2022年12		書評
著者:上西 良廣 『持続可能な農業に向けた農法普及』	大室 健治	農業普及 学会誌	2022年12 月		書評
学会からのお知らせ		農業普及 学会誌	2022年12 月	55(27-2)	のお知ら
編集後記	会誌編集委員	農業普及 学会誌	月		編集後記
春季大会(平成3年3月3日~4日、東京Web併用開催) シンポジウム:いまさら聞けない普及方法		農業普及 学会誌	2022年6月	54(27-1)	シンポジウム
趣旨説明	横山 繁樹	農業普及 学会誌	2022年6月	54(27-1)	シンポジウ ム
基調講演	園田 誠		2022年6月	54(27-1)	シンポジウ ム
各分科会紹介		農業普及 学会誌	2022年6月	54(27-1)	シンポジウム
第1分科会 農業者に寄り添い共感を得る モデレーター 横山 繁樹		農業普及	2022年6月	54(27-1)	シンポジウム
報告者 林 兵弥 第2分科会 コミュニケーションのツボ		学会誌	2022年6月	54(27-1)	シンポジウ
モデレーター 安江 紘幸		農業普及 学会誌	2022年0月	54(27-1)	ム
各分科会意見交換			2022年6月	54(27-1)	シンポジウ
第1分科会 第2分科会		農業普及 学会誌		54/05 A	<u></u>
総合討論	座長 横山 繁樹	農業普及 学会誌	2022年6月		シンポジウム
シンポジウム資料		農業普及 学会誌	2022年6月		シンポジウム
個別発表報告要旨		農業普及 学会誌	2022年6月		個別発表 要旨
事例報告 ゼロから始めたベトナムにおける冷凍用枝豆産地の育成	里見 洋司	農業普及 学会誌	2022年6月		事例報告
書評 著書:渋谷 住男『なぜ企業羽農業に参入するのか』	関戸 章一	農業普及 学会誌	2022年6月	54(27-1)	書評
学会からのお知らせ		農業普及 学会誌	2022年6月		のお知ら
編集後記	会誌編集委員	農業普及 学会誌	2022年6月	54(27-1)	編集後記
オンラインセミナー 令和3年10月8日東京Web開催 山﨑農業研究所共催		農業普及 学会誌	2021年12 月	53(26-2)	シンポジウ ム
テーマ:のうの本質と協働:コロナ禍で考える	横山 繁樹	農業普及	2021年12	53(26-2)	シンポジウ
趣旨説明	横田 修一	学会誌農業普及	月 2021年12	53(26-2)	ムシンポジウ
報告1:残して、育て、伝える農の営み 報告2:「農の本質」「普及活動の本質」~コロナ禍で見えたきたもの、見えな		学会誌農業普及	月 2021年12	53(26-2)	ム シンポジウ
報告と「長の本員」「音及活動の本員」~コロノ何で見えたさたもの、見えなくなるもの~	小口 広太	学会誌	月 2021年12 2021年12	53(26-2)	ンポック ム シンポジウ
食と農は「協働」の物語を生み出せるか:「耕す営み」からの再出発		学会誌	月 2021年12 2021年12		厶
有機農業とカーボン農業の可能性	吉田 太郎	学会誌	月		シンポジウム ム
コメント1	上西良廣	学会誌	月		シンポジウム
コメント2	安江 紘幸	農業普及 学会誌	2021年12 月	53(26-2)	シンポジウ ム

	横田 修一 他	農業普及		53(26-2)	シンポジウ
コメントへの回答	司会 宇根 豊	学会誌 農業普及	月 2021年12	53(26-2)	ム シンポジウ
総合討論	山路 永司 他	学会誌 農業普及	月 2021年12	53(26-2)	ム シンポジウ
チャットによるコメント(含む「閉会に際して」)		学会誌 農業普及	月 2021年12	53(26-2)	ム シンポジウ
メールによる追加コメント 書評	岩元 明久	学会誌 農業普及	月 2021年12	53(26-2)	ム 書評
著書:山下 祐介『地域学入門』 学会からのお知らせ	大室 健治	学会誌 農業普及	月 2021年12	53(26-2)	学会から
稲泉博己氏追悼文	藤代 岳雄	学会誌 農業普及	月 2021年12	53(26-2)	のお知ら 学会から
オンラインセミナーに参加して		学会誌 農業普及	月 2021年12	53(26-2)	のお知ら 学会から
その他	会誌編集委員	学会誌 農業普及	月 2021年12	53(26-2)	のお知ら 編集後記
編集後記		学会誌	月 2021年6		シンポジウ
春季大会(Web開催)		学会誌 農業普及	月 2021年6		ムシンポジウ
シンポジウム:新型コロナ感染拡大下の普及と協働	横山 繁樹	学会誌農業普及	月 2021年6		ムシンポジウ
趣旨説明 基調講演:新型コロナウイルスが農業・普及活動に及ぼす影響とコロナと共	門間 敏幸	学会誌農業普及	月 2021年6	52 (26-1)	ムシンポジウ
本		学会誌	月		4
報告1紹介	門間 敏幸	農業普及 学会誌	2021年6 月	52 (26-1)	シンポジウ ム
報 告1:新型コロナウイルス感染拡大状況下の普及指導と協働への影響	神保 信幸 佐藤 美智子	農業普及 学会誌	2021年6 月	52 (26-1)	シンポジウ ム
報告2紹介	岩元 明久	農業普及 学会誌	2021年6 月	52 (26-1)	シンポジウ ム
報 告2:新型コロナウイルス感染症拡大が加速させる農業経営変容と農業普及	佛田 利弘	農業普及学会誌	2021年6	52 (26-1)	シンポジウ
総合討論 座長	横山 繁樹	農業普及	月 2021年6	52 (26-1)	シンポジウ
研究発表:新型コロナウイルス感染拡大状況下の記録や教訓を保存し伝え ていくため の普及指導員調査(第1報)	佐藤 美智子	学会誌 農業普及 学会誌	月 2021年6	52 (26-1)	シンポジウ
というにありの音及指導員調査(第1報) 総説 「農業と農村の協働学」の誕生にあたって	林 兵弥	農業普及	月 2021年6	52 (26-1)	総説
海外事情	牧野 竹男	学会誌 農業普及	月 2021年6	52 (26-1)	海外事情
ラオスにおける有機農業の普及活動報告 書評 ※表 問題な表 『典業は夢 よいしいごのフロン』 (37)	上田 賢悦	学会誌 農業普及	月 2021年6	52 (26-1)	書評
著者:門間敏幸 『農業は夢・チャレンジのフロンティア』 学会からのお知らせ	ジョン・S・コールドウ	学会誌 農業普及	月 2021年6	52 (26-1)	
春季大会シンポジウムに参加して その他	エル	学会誌	月	50 (00 d)	のお知らせ
編集後記	⇔ .1. ₹=/ -	農業普及学会誌	2021年6 月		編集後記
事例報告 未来に向けての農業普及活動ー小学5年生対象の「食と農の科学教室」	鳥山 和伸	農業普及 学会誌	2020年12	51 (25-2)	
海外事情 NLD政権となったミャンマーにおける普及活動事例報告	荒木 康紀	農業普及学会誌	2020年12 月	51 (25-2)	
書評『東大卒、農家の右腕になる』	関戸 章一	農業普及 学会誌	2020年12 月	51 (25-2)	書評
学会からのお知らせ 山極榮司氏追悼文集			2020年12 月	51 (25-2)	
日本農業普及学会支部報告 日本膿瘍普及学会令和2年渡春季大会・総会開催要領 ほか		農業普及 学会誌			
編集後記		農業普及 学会誌	2020年12 月	51 (25-2)	
春季大会 お知らせ〈大会の中止と紙上開催について〉	横山 繁樹	R1年度春 季大会			シンポジウ ム
シンポジウム:普及学から協働学への転換と協働者の育成 趣旨説明 シンポジウムの趣旨説明	横山繁樹	R1年度春 季大会			シンポジウ ム
基調講演 農業・農村の協働者をどう育てるか〜半当事者と当事者の育成 ~	上田 賢悦	R1年度春 季大会	2020年6月		シンポジウ ム
第1分科会 普及指導員の人材育成 モデレーター解題	上田 賢悦	R1年度春 季大会	2020年6月		シンポジウ ム
みんなで支える新任普及指導員の成長についての取組 ーわずか2年で1人前にする「資質習得プロジェクト研修」を対象にして一	後藤 忠司	R1年度春 季大会	2020年6月	50 (25-1)	シンポジウ ム
第2分科会 農業経営者の再教育と普及事業 モデレータ開催	佐藤 和憲	R1年度春 季大会	2020年6月	50 (25-1)	シンポジウ ム
いわてアグリフロンティアスクールの取り組み ー受講生の特徴と普及の支援方向-	沼田 聡	R1年度春 季大会	2020年6月	50 (25-1)	シンポジウム
個別研究報告要旨		R1年度春 季大会	2020年6月	50 (25-1)	ー シンポジウ ム
総説 『農家・農村との協働とは何か』について	佐藤 了	R1年度春 季大会	2020年6月	50 (25-1)	シンポジウ ム
The state of the s		,	•	•	•

学会からのお知らせ 編集後記		R1年度春 季大会	2020年6月	50 (25-1)	シンポジウム
EXセミナー令和元年7月13日、兵庫県丹波篠山市テーマ:農業普及は村おこしにどう取り組むか		農業普及 学会誌	2019年12 月		シンポジウム
基調講演:人口減少リスクと共同体の意味	山下祐介	農業普及 学会誌	2019年12 月		シンポジウム
座長解題:これからの時代の「地縁」の創出と協働者	岩元明久	農業普及学会誌	2019年12 月		シンポジウム
座長解題参考:「村」の中世・近世・近代	齋藤一	農業普及 学会誌	2019年12 月		シンポジウ ム
報告1:黒大豆の産地づくりと地域の担い手育成〜地域の担い手と農都創造 <u>〜</u>		農業普及 学会誌	2019年12 月		シンポジウ ム
報告2:只見の豊かさ 農業と自然を次世代へ	三瓶 清志	農業普及 学会誌	2019年12 月	49 (24–2)	シンポジウ ム
意見交換		農業普及 学会誌	2019年12 月	49 (24–2)	シンポジウ ム
基調講演資料		農業普及 学会誌	2019年12 月	49 (24–2)	シンポジウ ム
座長解題資料		農業普及 学会誌	2019年12 月	49 (24–2)	シンポジウ ム
報告1資料		農業普及 学会誌	2019年12 月	49 (24–2)	シンポジウム
報告2資料		農業普及学会誌	2019年12 月	49 (24–2)	シンポジウム
総説:「農の本質」を表現するまなざしの必要性 農業専門家の新しい役割に 気づく	宇根豊	農業普及学会誌	2019年12 月	49 (24–2)	総説
研究論文:団地型マルドリ方式における導入パターンの類型化と導入後の課題	齋藤仁蔵	農業普及学会誌	2019年12 月	49 (24–2)	研究論文
書評:著者:宇根 豊 「日本人にとって自然とはなにか」	小林 浩幸	農業普及学会誌	2019年12 月	49 (24–2)	書評
責託・有有・子様 壹「日本人にとうで自然とはなにか」 春季大会(平成31年3月7日~8日、東京)シンポジウム:共に創る私たちの普及学―実践編その2 科学と農業 スマート農業を哲学する—		世子 <u>兵</u> 農業普及 学会誌	2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
<u> </u>	野家啓一		2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
	佐藤了	農業普及 学会誌	2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
シンポジウムの趣旨説明 第1分科会 【ニーズをつかむ】:農業者はスマート農業にどう取り組もうとし ているか	岩元明久、木内博一、佐々木政聡	学会誌 農業普及 学会誌	2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
第2分科会 【視野を広げる】:スマート農業社会実装に向けての実験―茨城	横田修一、阿久津	農業普及	2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
県におけるスマート農業の実践と課題―	理、清水ゆかり 藤代岳雄、宇根豊	学会誌 農業普及	2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
第3分科会【仕事世界を深める】:農業技術を深く見つめ、そして考える		学会誌 農業普及	2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
各分科会意見交換 **: ハモ ^		学会誌 農業普及	2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
第1分科会		学会誌 農業普及	2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
<u>第2分科会</u>		学会誌 農業普及	2019年6月	48 (24–1)	シンポジウ
<u>第3分科会</u>		学会誌 農業普及	2019年6月	48 (24-1)	シンポジウ
シンポジウム資料		学会誌 農業普及	2019年6月	48 (24–1)	ム シンポジウ
個別研究報告要旨 海外事情:アメリカ・バージニアエ科大学における日本の普及の紹介と情報	ジョン・S・コールド	学会誌 農業普及	2019年6月		厶
交換	ウェル 岩元 明久	学会誌 農業普及	2019年6月		
書評:著者:野口憲一『1本5000円のレンコンがバカ売れする理由』	野口憲一	学会誌	2019年6月		
出版に寄せて シンポジウム:共に創る私たちの普及学—実践編その2—科学と農業 ス		学会誌 30年度春	2019年3月	,=. ,/	シンポジウ
マート農業を哲学する―	野家 啓一	季大会 30年度春	2019年3月		ム シンポジウ
基調講演: 科学思想から見た「農」の倫理	佐藤了	季大会 30年度春	2019年3月		シンポジウ
シンポジウムの趣旨説明 第1分科会 【ニーズをつかむ】: 農業者はスマート農業にどう取り組もうとし	岩元明久、木内博	季大会 30年度春	2019年3月		シンポジウ
ているか	一、佐々木政聡	季大会 30年度春	2019年3月		シンポジウ シンポジウ
第2分科会 【視野を広げる】:スマート農業社会実装に向けての実験―茨城県におけるスマート農業の実践と課題―	理、清水ゆかり	季大会			ム
第3分科会【仕事世界を深める】:農業技術を深く見つめ、そして考える	藤代岳雄、宇根豊	30年度春季大会	2019年3月		シンポジウ ム 四の発生
発表1:信州の伝統野菜「千代ネギ」のブランド化支援	徳竹俊志 	30年度春季大会	2019年3月		研究発表
発表2:中山間6次化事業体とローカルネットスーパーが連携する販路開拓 方策の特徴と留意点	大室健治	30年度春 季大会	2019年3月		研究発表
発表3:ウエアラブルカメラによる篤農技術移転に普及の関わりとE-ラーニングの提案〇大粒系ぶどう摘粒を事例として	赤井昭雄、宮田昌孝、遠藤隆行	30年度春季大会	2019年3月		研究発表
発表4:何でも穫れる「汎用田」を目指して ~空知の「強み」を活かした輪作	長井淳一	30年度春	2019年3月	1	研究発表

発表5:カンキツ作家族経営におけるビジネスモデルの開発ー愛媛県の経営 体調査から-	福田浩一	30年度春 季大会	2019年3月		研究発表
 発表6: 農家間の技術情報伝達に関する予備的考察—マダガスカルにおけ る稲作普及プロジェクトを素材に—	横山 繁樹		2019年3月		研究発表
発表7:農業技術はどういう世界観を提案してきたのか 第6報 農業における「倫理」の不在	宇根豊		2019年3月		研究発表
iXセミナー平成30年6月27日、神奈川県平塚市)テーマ:農業普及はICTにど ippり組むか			2018年12 月	47 (23–2)	シンポジウム
	宇根豊			47 (23–2)	シンポジウム
基調報告1:植物生産とその情報化機械化の今と未来─スマート農業とは何	星 岳彦	日本農業	2018年12	47 (23–2)	シンポジウ
ヽ、そしてどこへ行くのか─ は調報告2:横田農場におけるICTの取り組みについて	横田修一	普及学会 日本農業 普及学会	月 2018年12 月	47 (23–2)	シンポジウ
<u> </u>				47 (23–2)	シンポジウ
E長解題資料		日本農業普及学会		47 (23–2)	シンポジウム
基調報告1資料		日本農業普及学会		47 (23–2)	シンポジウム
		日本農業	2018年12	47 (23–2)	シンポジウ
<u> 調報告2資料</u> f究論文:農業改良助長法改正後の成果志向型普及活動の実態と課題 — 広島県の普及事業改革を事例に —	中山信弘、田中秀樹	普及学会 日本農業 普及学会	月 2018年12 月	47 (23–2)	研究論文
要外事情:ドイツにおける有機農業拡大に向けた取り組み 教育機関と公的農業普及機関における聞き取り調査から	関根久子	日本農業普及学会		47 (23–2)	海外事情
──教育機関と公的展案自及機関における聞き取り調査がら── 毎外事情: 成人教育を軸にした小規模農民による参加型農業普及の効果 ──エチオピア農村の事例から──	石垣真奈	日本農業普及学会		47 (23–2)	海外事情
<u>ニッカニン版 ロのデルル ラーニー</u> 書評:著者:山下祐介 『「都市の正義」が地方を壊す』	岩元明久	日本農業普及学会		47 (23–2)	書評
季季大会(平成30年3月1日~2日、東京)シンポジウム:共に創る私たちの普及学—実践編その1—		日本農業普及学会	2018年6月		ム
ま調講演:フードチェーンとGAP・HACCP	中嶋 康博		2018年6月	46 (23–1)	シンポジウム
ンポジウムの趣旨説明	佐藤了	日本農業 普及学会	2018年6月		ム
51分科会【ニーズをつかむ】:GAPは普及方法たり得るか?	岩元明久、小池甲	普及学会	2018年6月		ム
第2分科会 【視野を広げる】: CoP(実践コミュニティ)の実効性を探る		普及学会	2018年6月		ム
第3分科会【仕事世界を深める】:一枚の写真~富田林市東條地域「ほんわい米生産部会」との思い出~から普及活動の悩み共有	宇根豊、林兵弥	普及学会			シンポジウ ム
各分科会意見交換		普及学会			シンポジウム
51分科会		日本農業 普及学会			シンポジウム
52分科会		日本農業普及学会	2018年6月		ム
第3分科会		普及学会			シンポジウ ム シンポジウ
ンポジウム資料		日本農業 普及学会	2018年6月 2018年6月		シンポジウ シンポジウ
国別研究報告要旨	横山繁樹	日本農業 普及学会 日本農業	2018年6月		ンフハンフ <u>ム</u> 海外事情
毎外事情∶サブサハラ·アフリカ低湿地稲作の普及·定着条件	羽佐田勝美	普及学会	2018年6月		
毎外事情:―ガーナ南部の開田パイロットプロジェクトを対象に―	初在山勝夫	普及学会			
TO A THIRD OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF T	野口 害一	口太農業	2018年6日	146 (22-1)	
	野口憲一	普及学会	2018年6月		
書評:著者:村上利夫 『戦後稲作技術史』 書評:著者:里見洋司 『農業普及員ひろしのトルコ日記』	山田 篤志	普及学会 日本農業 普及学会	2018年6月	46 (23–1)	書評
書評:著者:村上利夫『戦後稲作技術史』 書評:著者:里見洋司 『農業普及員ひろしのトルコ日記』 書評:編著:佐藤一子・千葉悦子・宮城道子 『<食といのち>をひらく女性た		普及学会 日本農業 普及学会		46 (23–1)	書評
書評:著者:村上利夫『戦後稲作技術史』 書評:著者:里見洋司 『農業普及員ひろしのトルコ日記』 書評:編著:佐藤一子・千葉悦子・宮城道子 『<食といのち>をひらく女性たら』 ・ンポジウム:共に創る私たちの普及学—実践編その1—	山田 篤志 二階堂孝子 中嶋 康博	普及学会 日本農業 音及学業 日本農業 音及学会 29年度春	2018年6月	46 (23–1)	書評
書評:著者:村上利夫『戦後稲作技術史』 書評:著者:里見洋司 『農業普及員ひろしのトルコ日記』 書評:編著:佐藤一子・千葉悦子・宮城道子 『〈食といのち〉をひら〈女性たら』 シンポジウム:共に創る私たちの普及学―実践編その1― 基調講演:フードチェーンとGAP・HACCP	山田 篤志 二階堂孝子 中嶋 康博	普及学 日普及 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	2018年6月	46 (23–1)	書評書評
書評:著者:村上利夫『戦後稲作技術史』 書評:著者:里見洋司 『農業普及員ひろしのトルコ日記』 書評:編著:佐藤一子・千葉悦子・宮城道子 『〈食といのち〉をひら〈女性たら』 レンポジウム:共に創る私たちの普及学—実践編その1— 基調講演:フードチェーンとGAP・HACCP	山田 篤志 二階堂孝子 中嶋 康博 佐藤了	普及字会日普日普日普日本及本及年大年大年29年29年29年29年	2018年6月 2018年6月 2018年3月	46 (23–1)	書評 書評 シンポジウム シンポジウム シンポジウム
書評:著者:村上利夫『戦後稲作技術史』 書評:著者:里見洋司 『農業普及員ひろしのトルコ日記』 書評:編著:佐藤一子・千葉悦子・宮城道子 『〈食といのち〉をひらく女性たら』 レンポジウム:共に創る私たちの普及学—実践編その1— 書調講演:フードチェーンとGAP・HACCP レンポジウムの趣旨説明 第1分科会【ニーズをつかむ】:GAPは普及方法たり得るか?	山田 篤志 二階堂孝子 中嶋 康博 佐藤了	普日普日普 及本及本及 年大年大年大年大年大年大年 29季29季29季29季29季29	2018年6月 2018年6月 2018年3月 2018年3月	46 (23–1)	書評 書評 シンポジウム シンポジウム シンポジウム シンポジウム
語評:著者:村上利夫『戦後稲作技術史』 書評:著者:里見洋司 『農業普及員ひろしのトルコ日記』 書評:編著:佐藤一子・千葉悦子・宮城道子 『〈食といのち〉をひら〈女性たら』 レンポジウム:共に創る私たちの普及学―実践編その1― 基調講演:フードチェーンとGAP・HACCP レンポジウムの趣旨説明 第1分科会【ニーズをつかむ】:GAPは普及方法たり得るか? 第2分科会【視野を広げる】:CoP(実践コミュニティ)の実効性を探る第3分科会【仕事世界を深める】:一枚の写真~富田林市東條地域「ほんわ	山田 篤志 二階堂孝子 中嶋 康博 佐藤了 岩元明久、小池甲 稲泉博己、石澤直士	普日普日普29季29季29季29季29季29季29季29季29季29季29季29季29季2	2018年6月 2018年6月 2018年3月 2018年3月 2018年3月	46 (23-1) 46 (23-1)	書評 書評 シンポジウム シンポジウム シンポジウム シンポジウム シンポジウム
語評:著者:村上利夫『戦後稲作技術史』 書評:著者:里見洋司 『農業普及員ひろしのトルコ日記』 書評:編著:佐藤一子・千葉悦子・宮城道子 『〈食といのち〉をひらく女性たら』 レンポジウム:共に創る私たちの普及学―実践編その1― 基調講演:フードチェーンとGAP・HACCP レンポジウムの趣旨説明 第1分科会【ニーズをつかむ】:GAPは普及方法たり得るか? 第2分科会 【視野を広げる】:CoP(実践コミュニティ)の実効性を探る第3分科会 【仕事世界を深める】:一枚の写真~富田林市東條地域「ほんわい米生産部会」との思い出~から普及活動の悩み共有 表表1:北海道十勝地方の災害対応と復旧支援活動の課題~平成28年8月	山田 篤志 二階堂孝子 中嶋 康博 佐藤了 岩元明久、小池甲 稲泉博己、石澤直士	普日普日普 29季29季29季29季29季29季29季29季29季29季29季29季29季2	2018年6月 2018年3月 2018年3月 2018年3月 2018年3月	46 (23-1) 46 (23-1)	書評 書評 シンポジウム シンポジウム シンポジウム シンポジウム
語評:著者:村上利夫『戦後稲作技術史』 書評:著者:里見洋司 『農業普及員ひろしのトルコ日記』 書評:編著:佐藤一子・千葉悦子・宮城道子 『〈食といのち〉をひら〈女性たら』 シンポジウム:共に創る私たちの普及学―実践編その1― 基調講演:フードチェーンとGAP・HACCP シンポジウムの趣旨説明 第1分科会【ニーズをつかむ】:GAPは普及方法たり得るか? 第2分科会【視野を広げる】:CoP(実践コミュニティ)の実効性を探る第3分科会【仕事世界を深める】:一枚の写真~富田林市東條地域「ほんわい米生産部会」との思い出~から普及活動の悩み共有	山田 篤志 二階堂孝子 中嶋 康博 佐藤了 岩元明久、小池甲 稲泉博己、石澤直士 宇根豊、林兵弥 宮森秀樹 川合康充	普日普日普 及本及本及 字農学農学 度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会度会	2018年6月 2018年6月 2018年3月 2018年3月 2018年3月 2018年3月 2018年3月	46 (23-1) 46 (23-1)	書評 書評 シンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウム

発表4:県GAP『とくしま安2農産物認証制度』の推移と普及の関わりについて		29年度春	2018年3月		研究発表
の考察 発表5:カンキツ販売戦略の今後の方向ー愛媛県・広島県の経営体と東京の 流通・販売関係者調査からー	美 福田浩一	季大会 29年度春 季大会	2018年3月		研究発表
発表6:稲作技術普及における農家間情報伝達と自律的動機づけに関する 予備的考察	横山繁樹、佐柳信男	29年度春 季大会	2018年3月		研究発表
発表7:農業技術はどういう世界観を提案してきたのか第5報「無意識の技術は存在するか」	宇根豊	29年度春 季大会	2018年3月		研究発表
発表8:都道府県における普及指導員の人材育成と能力 開発の現状と課題 ~都道府県農業革新専門員へのアンケート調査から~	上田賢悦、清野誠喜	29年度春季大会	2018年3月	45 (00, 0)	研究発表
EXセミナー(平成29年7月29日、熊本県八代市)テーマ:私塾教育と普及活動	田辺正宜	濃湯普及 学会誌 濃湯普及	2017年12 月 2017年12	45 (22-2) 45 (22-2)	ナー
報告1:農魂と実践農業	田辺正直	炭汤百及 学会誌 濃湯普及	月 2017年12 2017年12	45(22-2)	ナー
報告2:松田農場の実像に迫る	山下惣一 宇根豊	学会誌	月 2017年12	45(22-2)	ナー
座長問題提起:官製の普及活動と私的な農本主義	1 化豆	学会誌	月 2017年12		ナー EXセミ
意見交換		学会誌 濃湯普及	月 2017年12		ナーEXセミ
報告1資料		学会誌 濃湯普及	月 2017年12	45(22-2)	ナー
報告2資料		学会誌	月 2017年12	45(22-2)	ナー
座長問題提起資料 研究論文:タイ東北部農村の持続的農業普及に関わる住民組織への参加要	上原 幸花	学会誌 濃湯普及	月 2017年12		ナー
因 研究論文:生業グループの社会関係資本と普及指導員の活動:農業者グ	竹村幸祐、内田由紀	学会誌 濃湯普及	月 2017年12	45(22-2)	研究論文
ループおよび 漁業者グループのリーダー調査による検討	子、福島慎太郎 ジョン・S・コールド	学会誌		45 (22-2)	事例報告
事例報告:東北タイの野菜栽培におけるイノベーションと農民組織(P)	ウェル、アルニー・プ ロムカムプット 佐藤了	濃湯普及 学会誌 日本農業	2017年6月	AA (22-1)	シンポジウ
総説:本学会の改革の方向について 春季大会(平成29年3月2日~3日、東京)シンポジウム:共に創る私たちの普		日本辰未 普及学会 日本農業		,	ンプポンプ ム シンポジウ
を学べ去(十成29年3月2日~3日、東京/シンボンウム:共に創る私にらい音及学	渡辺尚志	音及学会 日本農業	2017年6月		ム シンポジウ
基調講演:農村指導者たちの江戸時代	佐藤了	音及学会 日本農業	2017年6月		ム シンポジウ
趣旨説明 シンポジウムを分科会方式で開催する趣旨	ジョン·S·コールド	普及学会 日本農業	2017年6月		ム シンポジウ
第1分科会 ニーズをつかむ	ウェル、横田修一 横山繁樹、渡部和彦	普及学会日本農業	2017年6月		ム シンポジウ
第2分科会 視野を広げる	宇根豊、藤代岳雄	普及学会 日本農業	2017年6月	44(22-1)	ム シンポジウ
第3分科会 仕事世界を深める	TICE VIX I VIII ME	普及学会日本農業	2017年6月		ム シンポジウ
各分科会意見交換		普及学会日本農業	2017年6月		ム シンポジウ
第1分科会		普及学会日本農業	2017年6月		ム シンポジウ
第2分科会		普及学会日本農業	2017年6月		ム シンポジウ
第3分科会		普及学会 日本農業	2017年6月	44(22-1)	ム シンポジウ
シンポジウム資料		普及学会日本農業	2017年6月		ム シンポジウ
個別発表要旨	関根久子	普及学会日本農業	2017年6月		ム 研究論文
研究論文:ドイツにおける有機農業の技術開発体制および普及体制 書評:編著:公益社団法人大日本農会『大規模水田農業への挑戦 全国16	藤代岳雄	普及学会 日本農業	2017年6月		
の先進経営事例から』 共に創る私たちの普及学		普及学会 28年度春 季大会	2017年3月		シンポジウ
共に創る私たらの音及子 基調講演:農村指導者たちの江戸時代	渡辺 尚志	28年度春季大会	2017年3月		シンポジウム
<u> </u>	佐藤了	28年度春季大会	2017年3月		シンポジウム
	ジョン・S・コールド ウェル、横田修一	28年度春季大会	2017年3月		シンポジウ ム
第1分科会:ニーズをつかむ		28年度春	2017年3月		シンポジウ ム
	横山繁樹、渡部和彦	季大会			_
第2分科会 :を広げる	宇根豊、藤代岳雄	季大会 28年度春 季大会	2017年3月		シンポジウ
第2分科会:を広げる 第3分科会:仕事世界を深める	宇根豊、藤代岳雄		2017年3月		
第3分科会:仕事世界を深める 発表1:栽培技術改善と営農ルール構築によるゆとり創出に向けた普及活動	宇根豊、藤代岳雄	28年度春 季大会 28年度春			シンポジウ ム

	関根 久子		2017年3月		研究発表
発表4:ドイツにおける有機農業の技術開発と普及体制 発表5:農業技術はどういう世界観を提案してきたのか 第4報 なぜ農の本	宇根豊		2017年3月		研究発表
質を表現しないのか 発表6:イノベーションに寄与する要因の解明―秋田県ヤマノイモ栽培の実例 	ジョン・S・コールド ウェル、上田賢悦	季大会 28年度春 季大会	2017年3月		研究発表
発表7:大規模農家に対する普及活動についての一考察	佛田利弘		2017年3月		研究発表
	佐藤了	日本農業		43(21-2)	EXセミ
総説:学会改革中間報告―『共に創る私たちの普及学』― Xセミナー(平成28年8月6日、茨城県龍ヶ崎市)テーマ:営農することとイノ				43(21-2)	ナー EXセミ
ドーションすること(実地編)―"減反廃止"に備えるコメづくり― 至長解題:水田農業の構造変化とイノベーションを促進するための普及活動				43(21-2)	ナー EXセミ
D展開方向	雨宮宏司 横田修一			43(21-2)	ナー EXセミ
B告1:横田農場のチャレンジ〜私が考えるイノベーション〜 	山田敏之			43(21-2)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	上田賢悦、清野誠喜			43(21-2)	<u>ナー</u> 研究論文
	間瀬朝夫	普及学会 日本農業 普及学会	月 2017年12 月	43(21-2)	事例報告
	板垣啓四郎	日本農業	2017年12	43(21-2)	追悼文
自悼文:藤田康樹先生の逝去を悼む	林 兵弥			43(21-2)	書評
書評:宇根 豊 著「農本主義のすすめ」 季季大会(平成28年3月3日~4日、東京)あらたな農業普及システムへの挑		普及学会 日本農業	月 2016年6月	42(21-1)	シンポジウ
战 基調講演農業経営革新と次世代技術開発実用化モデル―なぜ、農匠ナビ1 100プロジェクトを立ち上げたか―	南石晃明	普及学会 日本農業 普及学会	2016年6月	42(21-1)	シンポジウ
	佐藤了	日本農業	2016年6月	42(21-1)	シンポジウ
区長解題:あらたな農業普及システムへの挑戦 日告1:農政の中での農業普及の歩み―戦前の農会技術員、米国及び我が 国の普及事業の比較—	鳩山正仁	普及学会 日本農業 普及学会	2016年6月	42(21-1)	<u>ム</u> シンポジウ ム
股告2:営農指導事業の展開方向と普及事業との―地域農業振興に向けた 野及・JAの一体的な機能発揮に向けて―	馬場利彦	日本農業普及学会	2016年6月	42(21-1)	シンポジウ ム
	渡部和彦	日本農業 普及学会	2016年6月		シンポジウ ム
研究論文: ネパールにおけ Sオレンジ単収の向上と農業普及組織の役割	クワル エビン、土田 志郎	普及学会	2016年6月		研究論文
思考—』	粕谷和夫 	普及学会	2016年6月		
書評:編著者:南石晃明・長命洋佑・松江勇次『TPP時代の稲作経営革新とスマート農業—営農技術パッケージとICT活用—』	岩元明久 	普及学会	2016年6月	42(21-1)	
季大会シンポジウム:あらたな農業普及システムへの挑戦		季大会	2016年3月		シンポジウム
	南石 晃明	季大会	2016年3月		シンポジウム
	鳩山正仁	季大会	2016年3月		シンポジウ ム
B告2:営農指導事業の展開方向と普及事業との協働 ―地域農業振興に □けた普及・JAの一体的な機能発揮に向けて—	馬場利彦	季大会	2016年3月		シンポジウ ム
総合討論:これからの技術普及を考える—農業普及における公的普及者の と割とは—	渡部 和彦	26年度春 季大会	2016年3月		シンポジウ ム
養表1:新品種導入における普及職員の役割ー北海道十勝地域のナガイモ 産を対象に一	河野洋一、大室健 治、稲泉博己	27年度春 季大会	2016年3月		研究発表
後表2:経営分析を活用した強い農業経営体づくり	岡元幸恵、西村孝雄	27年度春 季大会	2016年3月		研究発表
後表3:農業経営者育成プログラムの開発と課題-秋田県次世代農業経営 番ビジネス塾を対象として-	上田賢悦、渡部岳陽、藤井吉隆、平川 謙一、長谷川隆史	27年度春 季大会	2016年3月		研究発表
を表4:担い手の確保育成体制の構築による産地力の強化	深谷俊英		2016年3月		研究発表
₹表5:生産技術革新に寄与した農業者の自主性と情報源の比較 ―秋田県	ジョン・S・コールド ウェル、上田賢悦	27年度春 季大会	2016年3月		研究発表
き表6:農業技術はどういう世界観を提案してきたのか第3報 百姓仕事の精 神性		27年度春 季大会	2016年3月		研究発表
終表7:普及指導員による東日本大震災直後における農業復興 -向けた活動記録(第2報)	粕谷和夫	27年度春 季大会	2016年3月		研究発表
総説:世界的視野で日本の農業普及を位置づける -特別顧問に就任するにあたって-	ジョン・S・コールド ウェル	普及学会	月 ·	41 (20-2)	EXセミ ナー
EXセミナー(平成27年8月1日、埼玉県川越市) -ーマ:農民になった普及員に学ぶ		日本農業 普及学会	2015年12 月		ナー
E長解題 二つのまなざしを身につける意味	宇根 豊	日本農業 普及学会	2015年12 月		ナー
B告1 落合農園と川越有機グループ	落合有彦	誌	月		EXセミ ナー
股告2 みうら農園	三浦 徹	普及学会 誌	月		EXセミ ナー
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		2015年12	41 (20-2)	

- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	田野修•平泉光一	日本農業 普及学会	2015年12 月	41 (20–2)	事例報告
例報告: 新規参入による就農が成功する要因と普及組織の果たす役割		日本農業普及学会		41 (20-2)	事例報告
		日本農業	2015年12	41 (20-2)	書評
評:林博章 著「剣山系の世界的農業文化遺産」 評:山下祐介、金井利之著「地方創生の正体-なぜ地域政策は失敗する	関戸章一 岩元明久	普及学会 日本農業	月 2015年12	41 (20-2)	書評
かー」		普及学会 日本農業	月 2015年6月	40(20-1)	シンポジウ
説:本学会の改革検討について	佐藤了	普及学会		, , ,	厶
季大会(平成27年3月5日〜6日、東京)新時代の普及方法を切り拓く ―農業・農村イノベーションへ向けた革新普及システム(AKIS)をめぐっ	4tt cm 1/4	日本農業普及学会	2015年6月	, ,	シンポジウム
調講演 営農することとイノベーションすること	横田修一 	日本農業普及学会	2015年6月	·	シンポジウム
長解題 新時代の普及方法を切り拓くために	横山繁樹	日本農業普及学会	2015年6月	, , ,	シンポジウム
告1 AKISが普通になってきた	山田優 	日本農業普及学会	2015年6月	, ,	シンポジウム
告2 AKISの視点から見たイノベーション・マネジメントと普及活動	上田賢悦	普及学会誌	2015年6月	40(20-1)	シンポジウ ム
告3 農業普及における自律的動機づけの役割	佐柳信男	普及学会 誌	2015年6月	40(20-1)	シンポジウム
	金丸隆	普及学会	2015年6月	40(20-1)	シンポジウ
メンテーター冒頭発言 AKISに学ぶ普及方法の原点とは	ジョン・S・コールド	誌	2015年6月	40(20-1)	シンポジウ
技術イノベーションの種類・特性別の契機と情報源の分析手法に関する提	ウェル、横田修一、 横山繁樹	日本農業 普及学会	20.0 0,,	16 (26 1)	7
		誌 日本農業	2015年6月	40 (20-1)	シンポジウ
)周年記念事業:講演会講演者の講演内容の概要と質疑応答		普及学会 誌			<u>لم</u>
「究論文∶行動変容ステージ理論を応用した青年農業者のキャリア評価手 の開発	高橋大樹	日本農業普及学会	2015年6月		
評:東日本大震災の記録や教訓を保存し伝えていくための 及指導員へのアンケート調査結果【被災地担当普及指導員の活動記録】	園田誠	日本長果 普及学会 誌	2015年6月	40(20-1)	書評
ンポジウム:新時代の普及方法を切り拓く-農業・農村イノベーションへ		26年度春	2015年3月		シンポジウ
けた革新普及システム(AKIS)をめぐって一	横田修一	季大会 26年度春	2015年3月		シンポジウ
調講演:営農することとイノベーションすること	横山繁樹	季大会 26年度春	2015年3月		シンポジウ
長解題:新時代の普及方法を切り拓くために	山田優	季大会 26年度春	2015年3月		シンポジウ
告1:AKISが普通になってきた 告2:AKISの視点からみたイノベーション・マネジメントと普及活動	上田賢悦	季大会 26年度春	2015年3月		シンポジウ
ヤマノイモ用種芋移植機の開発・普及における産学官連携活動を事例に 告3:農業普及における自律的動機づけの役割	佐柳信男	季大会 26年度春	2015年3月		ム シンポジウ
一効果的な技術移転のために一		季大会			ム シンポジウ
合討論コメンテーター: AKISに学ぶ普及方法の原点とは 	金丸隆	26年度春 季大会	2015年3月		ム
表1:国産濃厚飼料イアコーンの普及に向けた地域内および地域間耕畜 隽条件	久保田哲史·藤田直 聡	26年度春 季大会	2015年3月		研究発表
表2:TMRセンターを核とした人づくり地域づくり	山田聡・西村孝雄	26年度春 季大会	2015年3月		研究発表
表3:地域ぐるみで進めたトマト黄化葉巻病の総合防除対策	木村宏明•粟野安雄	26年度春 季大会	2015年3月		研究発表
表4:普及に期待する奥能登の地域農業 一公的普及指導員から民間普及員となって一	丹崎勝雄	26年度春 季大会	2015年3月		研究発表
表5: 普及指導員の人材育成における現状と課題 ~都道府県農業革新支援専門員へのアンケート調査から~	上田賢悦·清野誠喜	26年度春 季大会	2015年3月		研究発表
表6:女性農業者における経営外部OJTの機能に関する考察 「農業女子プロジェクト」を事例として一	仁平章子·伊庭治彦	26年度春 季大会	2015年3月		研究発表
表7:新技術を試行する農業者への支援方法の検討 一鉄コーティング湛水直播栽培を事例に一	小笠原慎一	26年度春季大会	2015年3月		研究発表
表8:農業技術はどういう世界観を提案できたのか	宇根豊	26年度春	2015年3月		研究発表
第2報 生物多様性を日本人が受容する道すじ	田中敬志	季大会 26年度春	2015年3月		研究発表
表9:アスパラガス半促成長期どり栽培の単収向上に向けての普及活動	関尾政典・髙橋深	季大会	2015年3月		研究発表
表10:微粒子静電付着法によるにケイ酸カルシウムコーティング種籾の発と直播実験	水·高橋千尋·庄司 多津男·白岩慎一郎	26年度春季大会	0015		THE SA ST
表11:アジア太平洋地域の農業普及・教育と日本の役割(アジア太平洋 環境教育学会 フィリピン大会に参加して)	酒井貞明 	26年度春 季大会	2015年3月		研究発表
火の曲米並及のセルナーの坦子	1	1	T	1	
後の農業普及のあり方への提言 本農業普及学会設立20周年記念事業講演会資料	L LT data	== A =200 ·			=- A -#/
		記念講演	2014年6	Ī	記念講演
1講演 日本農業普及学会のめざしたもの	山極榮司 	会資料記念講演	月		記念講演

■ 本意理価値上と地質で使じて含文工をのグリックに対している。	第3講演 世界的視野で農業を位置づける一日本の国内課題と国際貢献	ジョン・S・コールド	記念講演	2014年6		記念講演
	第4講演 集落営農活動による集落機能向上と地域活性化		記念講演	2014年6		記念講演
# 類談師 では普及活動を「学川になければならないのか ― 一直書音を2012年2012年2012年2012年2012年2012年2012年2012	春季大会(平成26年3月6~7日 東京)		日本農業	2014年6	38(19-1)	
産原料値 点等音の社会的検討を問う 内山智裕 音が表すの 14年6 38(19-1) 2 ルボジウ 月 月 18年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19	基調講演 なぜ普及活動を「学」にしなければならないのか 〜農業普及学の方法を考える〜	宇根豊	日本農業	2014年6	38(19-1)	ム
## 一	座長解題 農業普及の社会的役割を問う		普及学会	月		厶
	ーカナダ・英国を題材としてー		普及学会	月		厶
総会ニメント 今後の集全音及研究の遅起 無対性にで対力ル将性に対ける小規程を選加し限いと問題 一中本産動地面側のため池を中心に 一中本産動地面側のため池を中心に 一中本産動地面側のため池を中心に 一中本産動地面側のため池を中心に 一中本産動地面側のため池を中心に 一中本産動地面側のため池を中心に 一中、産業を登入の14年6 38(19-1) 書評 基別・産生 日産 単一度 184 年 184 年 184 年 184 日 1			普及学会	月		厶
	総合コメント 今後の農業普及研究の課題	ウェル	普及学会	月		ム
### 差表:伊賀 奉代[1月] 華生 地頭上り海煙的馬力上り大切なもの 空 音音 日本勝幸 2014年6 38(19-1) 音評 2014年6 38(19-1) 2014年3 2014年3 2014年3 2014年6 2014年3 2014年3 2014年6 2014年3 2014年4 2014年3 2014年4 2014年3 2014年4 2014年4 2014年4 2014年4 201			普及学会	月		
登典 1 日本	書評:著者:伊賀 泰代『「採用基準」地頭より論理的思考力より大切なもの』		普及学会	月		
□ 無索者及更の方法を考える―			普及学会	月	30(13 1)	
						シンポジウ ム
報告1 海外における虚業普及の役割に展望ーカナダ・英国を題材として一条未秀榜 名と東発音風の収録から考える音及の社会的役割~ 生 大会資 月 2014念3 シ スポジウ			25年度春	2014念3		ム
報告2 条落雷殿の即り組みと普及の役割 〜 条素 IT に活用したカンキツ・マルドり栽培の遠隔 1巻の可能性と課題 ― 今4 での実証試験結果を踏まえて一	報告1 海外における農業普及の役割と展望ニカナダ・苗園を題材としてニ	内山智裕				1,
	報 告2 集落営農の取り組みと普及の役割	森本秀樹	25年度春	2014念3		シンポジウ
	発表1 ITを活用したカンキツ・マルドリ栽培の遠隔指導の可能性と課題	福田浩一	25年度春	2014念3		
京大会	発表2 カメルーンにおけるFOSASプロジェクトの現状と今後の展望	稲泉博巳·荒木茂	25年度春	2014念3		研究発表
発表4 ルーラル・アドバイザリー・サービスの国際測流 条表5 音 治海県による東日本大震災直後における農業復興に向けた活 動記録 ※一千葉県八千代市の若手ナシ生産者支援による産地の活性化~ 表表7 新規就農者向け経営管理チェックシートの開発ー施設園芸作を対象 を表7 新規就農者向け経営管理チェックシートの開発ー施設園芸作を対象 として一	発表3 モザンビーク国ショクエにおける稲作知識情報システムと JICA技術協力プロジェクト	末光健志	25年度春	2014念3		研究発表
発表5 音及指導員による東日本大震災直後における農業復興に向けた活物 発表6 若手生産者に置瀬変化をもたらした普及活動	発表4 ルーラル・アドバイザリー・サービスの国際潮流	横山繁樹				研究発表
条表6 若手生産者に意識変化をもたらした普及活動	発表5 普及指導員による東日本大震災直後における農業復興に向けた活	粕谷和夫	25年度春	2014念3		研究発表
発表7 新規就農者向け経営管理チェックシートの開発 - 施数園芸作を対象 米倉	発表6 若手生産者に意識変化をもたらした普及活動	高橋真秀	25年度春	2014念3		研究発表
	発表7 新規就農者向け経営管理チェックシートの開発ー施設園芸作を対象 として一	米倉 茜·澤田 守	25年度春	2014念3		研究発表
発表9 集落機能活性化に向けた普及活動一地域で取り組む直売活動に対	発表8 行動変容ステージ理論を応用した青年農業者の評価手法の開発		季大会資	月		
	発表9 集落機能活性化に向けた普及活動-地域で取り組む直売活動に対する支援-	吉田尚史・原田幸	季大会資	. —		研究発表
発表11 水田作経営の技術導入に求められる経営要件の解明	発表10 普及組織による地域づくり支援に関する研究					研究発表
発表12 農業技術にどういう世界観を提案してきたのか	発表11 水田作経営の技術導入に求められる経営要件の解明	小笠原慎一	25年度春	2014念3		研究発表
テーマ: JGAP認証農場で、GAPを徹底討論	発表12 農業技術はどういう世界観を提案してきたのか	宇根豊	25年度春	2014念3		研究発表
差談 実践普及論考-農家への経営革新の普及について 音及学会 月 ナー 上でます 上でますす 上でます 上でま	テーマ: JGAP認証農場で、GAPを徹底討論	+ + + / - 			07/10 0)	EV L
基調講演 1 JGAP認証農場としての7年の歩みと課題	総説 実践普及論考ー農家への経営革新の普及についてー		普及学会	月		ナー
基調講演2 GAPをめぐる世界の情勢とJGAPの取組	基調講演1 JGAP認証農場としての7年の歩みと課題	, , , , ,	誌	月		ナー
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	基調講演2 GAPをめぐる世界の情勢とJGAPの取組		普及学会	月		ナー
研究論文:戦前日本の4Hクラブ理解・	モデレーターの論点整理 GAPの普及を考える	,	普及学会	月		ナー
一中央乾燥地を中心として 石川将之・吉田実 普及学会 月 書評「上田栄一著 『やってよかった集落営農 ホンネで語る実践20年のノウハウ』 安藤義道著『忘れ花』農業者大学校校長日誌 テーマ みんなで農業普及活動を学ぼうPar IV -あらためて 農業普及者のあり方を問うー 日本農業 普及学会 2013年6 音及学会 36(18-1) シンポジウ ム 基調講演 農業経営者はどのように自己形成に取り組んでいるのか -そして普及者に期待するあり方— 坂上隆 日本農業 普及学会 2013年6 音及学会 36(18-1) シンポジウ ム 華長解題 農業普及者のあり方 佐藤了 日本農業 普及学会 2013年6 月 36(18-1) シンポジウ ム 報告1 普及指導員の現状 -普及指導員の現状と技術向上・研鑚についてー 報告2 普及指導員の現状と技術向上・研鑚のあり方(現場の取組から) 渡部和彦 日本農業 普及学会 2013年6 月 36(18-1) シンポジウ ム	_研究論文:戦前日本の4Hクラブ理解・		普及学会	月		
『やってよかった集落営農 ホンネで語る実践20年のノウハウ』 普及学会 月 計誌 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウム 安藤義道著『忘れ花』農業者大学校校長日誌 日本農業 2013年6 36(18-1) ム シンポジウム 一あらためて 農業普及者のあり方を問うー 事及学会 月 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウム 基調講演 農業経営者はどのように自己形成に取り組んでいるのか 一そして普及者に期待するあり方— 佐藤了 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウム 座長解題 農業普及者のあり方 佐藤了 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウム 報告1 普及指導員の現状 一普及指導員と技術・知識の向上・研鑽についてー 二階堂孝子 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウム 報告2 普及指導員の現状と技術向上・研鑽のあり方(現場の取組から) 渡部和彦 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウム	一中央乾燥地を中心として	石川将之·吉田実	普及学会	月		
テーマ みんなで農業普及活動を学ぼうPar IV	書 評「上田栄一著 『やってよかった集落営農 ホンネで語る実践20年のノウハウ』 安藤義道著『忘れ花』農業者大学校校長日誌	岩元明久	普及学会		37(18-2)	書評
基調講演 農業経営者はどのように自己形成に取り組んでいるのか 一そして普及者に期待するあり方—坂上隆日本農業 普及学会 普及学会 一日本農業 普及学会 月2013年6 36(18-1) シンポジウム リストック シンポジウム ロージンポジウム コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージンポジウ コージのあり方(現場の取組から) コージのあり方(現場の取組から) コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージの表示 コージンポジウ コージの表示 	テーマ みんなで農業普及活動を学ぼうPar IV		日本農業		36(18-1)	
佐藤了 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウ 音及学会 月 ム 報告1 普及指導員の現状 一普及指導員と技術・知識の向上・研鑽について- 一部及指導員の現状と技術向上・研鑽のあり方(現場の取組から) 渡部和彦 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウ ム 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウ ム 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウ ス 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウ 2013年6 36(18-1) シンポジウ 2013年6 36(18-1) シンポジウ 2013年6 36(18-1) カンポジウ 2013年6 36(18-1)	基調講演 農業経営者はどのように自己形成に取り組んでいるのか	坂上隆	日本農業	2013年6	36(18-1)	
報告1 普及指導員の現状 一普及指導員と技術・知識の向上・研鑽についてー ニ階堂孝子 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウ 者告2 普及指導員の現状と技術向上・研鑽のあり方(現場の取組から) 渡部和彦 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウ	――そじて自及者に 期待するのがカー 座長解題 農業普及者のあり方	佐藤了	日本農業	2013年6	36(18-1)	l ,
報告2 普及指導員の現状と技術向上·研鑽のあり方(現場の取組から) 渡部和彦 日本農業 2013年6 36(18-1) シンポジウ		二階堂孝子	日本農業	2013年6	36(18-1)	シンポジウ
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	報告2 普及指導員の現状と技術向上・研鑽のあり方(現場の取組から)	渡部和彦			36(18-1)	

会社県産産の市場産品に対いて高き収入資金の表した。使用	報告3 農業農村の変化に対応した 〜広角的柔軟に存在感のあ	普及活動 る普及活動の展開を目指して~	宮越彊	日本農業普及学会	2013年6 月	36(18-1)	シンポジウム
日本地方 2013年6 2013年3 2013年6 2013年7 2013年8 20	愛知県蓮根の市場流通において農業	美改良普及員の果たした役割	野口健一	日本農業	2013年6	36(18-1)	研究論文
照けた。 景景を含またしたからして自己が成に取り組んでいるのか ー はてき起きに対けるかり方	書:内田由紀子 竹村幸祐		二階堂孝子	日本農業	2013年6	36(18-1)	書評
接那音、無差要を名のあり方	基調講演 農業経営者はどのようにし		坂上隆	季大会資	2013年3		
福日 曹炎 海内 神田 東京 海田 東京 海田 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東			佐藤了	24年度春	2013年3		シンポジウ
### 2 番及指導員の親校と技術的上・研想のあり方、現場の歌組から、 ### 2 番及指導員の親校と技術的上・研想のあり方、現場の歌組から ### 3 無事件の変化に対応に上き方法動 か に切的条数に子体形のの		指導員と技術・知識の向上・研鑽につい	二階堂孝子	24年度春	2013年3		シンポジウ
## 2	· <u> </u>		渡部和彦				シンポジウ
普及高地の展開き目指して~ 古			字 故磦				ムシンポジウ
- ツク性の大空間におけるルーザーレベラー 基入の取組から。 関連を関節に連続している。	普及活動の展開を目指して~			季大会資	月 ·		ム
開達機関の連接 - 」	ーツク管内大空町におけるレーザー	ーレベラー導入の取組みから		季大会資	月 ·		
	関連機関の連携-」		明	季大会資	月 ·		
括4 「人、鼻地ワラン」等、農業庫村活性化の戦略アイテムとして海用でき 本子文会費							研究発表
告告 原村女性のエンパワーメントをおらった『具業種交流』 日台修好	告4 「人。農地プラン」等、農業農	村活性化の戦略アイテムとして活用でき		24年度春	2013年3		研究発表
語6 変わりゆく農来者と指導者の関わり 30年3回にわたる「農業者の技術と対した。			日台修好	24年度春	2013年3		研究発表
接音 『			藤田康樹	24年度春	2013年3		研究発表
### 1488 「人を制かす音及活動学」に関する研究 ~「直因・近日・遠因」から が7フロセスマネジメト~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~			関尾政典				 研究発表
	較による考察~ 告8 「人を動かす普及活動学」に		関戸章一、関尾政	季大会資 24年度春	月 2013年3		
## 「これならできる!農業法人股立と運営のすべて」		業を現場で支える~」	北海道農業改良普	24年度春	2013年3		
#出方仁			制作委員会		月 		
## 1 技術経営を進める農業者と手づくりのむらづくりに学ぶ 右川県金沢 小林正治 空大会資 月 ボジウム 24年度春 2019年3 素がウム 24年度春 2019年3 素がウム 24年度春 25年度 2月 25年度 25年度 25年度 25年度 25年度 25年度 25年度 25年度	詳籍 「これならできる!農業法人設	立と運営のすべて」		24年度春			
(告2 技術経営を進める農業者と手づく)のむらづくりに学ぶ 岩手県二戸 佐藤勧悦 条大会資 ポジウム 水ジウム 表大会資 大学 表大会資 大学 表大会党 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大		Fづくりのむらづくりに学ぶ 石川県金沢	小林正治	24年度春	2013年3		特別シン
調講演 農業の啓詔に向けた取り組みの特徴と課題 出本淳子 告本農業 2012年12 35(17-2) EXセミナー 日本農業 音及学会 月 1 35(17-2) EXセミナー 日本農業 2012年12 35(17-2) 研究論文 音及学会 月 日本農業 2012年12 35(17-2) 研究論文 音及学会 日本農業 2012年12 35(17-2) 研究論文 音及学会 日本農業 2012年12 35(17-2) 第一日本農業 2012年12	告2 技術経営を進める農業者と引		佐藤勘悦	24年度春	2013年3		特別シン
接告1 長野県の担い手育成の概要 接合2 区足と営農バランス感力を備えた新規就農者の育成手法 ~オリ 海内裕和			山本淳子			35(17-2)	
括字 区足と営農バランス感力や備えた新規就農者の育成手法 ~オリ 海内裕和	2年1 巨取目の担い手充むの掘画		宮崎早苗	日本農業	2012年12	35(17-2)	EXセミ
告3 地域ぐるみの"農業道場"で育てる農業後継者	告2 区足と営農バランス感カウを		海内裕和	日本農業	2012年12	35(17-2)	EXセミ
2時果における里親研修		管 てる農業後継者	松木賢司	日本農業	2012年12	35(17-2)	EXセミ
会起業家のネットワーク構築によるソーシャル・イノベーションプロセス ~ 水野清		月での成本技能性	宮崎早苗	日本農業	2012年12	35(17-2)	EXセミ
藤田直聡、山田洋 文、大下友子、久保	会起業家のネットワーク構築による		水野清	日本農業	2012年12	35(17-2)	
証試験を踏まえて一 田哲史 読				日本農業	2012年12	35(17-2)	研究論文
一元 一元 一元 一元 一元 一元 一元 一元	『証試験を踏まえてー		田哲史	誌			
日本農業 日本農 日本農業 日本農 日本 日本	ンコーディネート活動)			普及学会	月	35(17-2)	事例報告
読の影響 普及言論(「見つけて」「つなげて」「手渡す」しごと) 読 月	テンアメリカ途上国における農家組	織への支援 ーホンジェラス共和国		日本農業 普及学会	2012年12 月		
- マ みんなで農業普及活動を学ぼうPart III	原彰著 普及言論(「見つけて」「つ	なげて 「「手渡す しごと)	安倍澄子			35(17-2)	書評
は調講演 東日本大震災の復興の取り組み 一岩手県陸前高田市の事例 両角和夫 日本農業 音及学会 音及学会 音及解題 人を育て地域を創る普及活動に向けて 横山繁樹 日本農業 音及学会 音及学会 音及学会 音及現場における「正統的周辺参加」の可能性 食と農林漁業の再生」に農業・農村の「記憶」と「経験」を活用する 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会	ーマ みんなで農業普及活動を学	ヹ゚゚゚゚゙゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠					
接上解題 人を育て地域を創る普及活動に向けて 横山繁樹 日本農業 音及学会 音及学会 音及学会 日本農業 音楽技術 日本農業 音楽技術 日本農業 音楽技術 日本農業 音楽技術 日本学学 日本学学学 日本学学学 日本学学 日本学学学 日本学学学 日本学学学 日本学学学学 日本学学学 日本学学学学学学 日本学学学学学学学学		· -	 両角和夫		2012年6月	34(17-1)	シンポジウ
程告1 国際的な観点から考える農業普及員という主体の『学び』『学びあい』 稲泉博己 日本農業 音及学会 出てる。	医長解題 人を育て地域を創る普及	活動に向けて	横山繁樹	日本農業	2012年6月	34(17-1)	シンポジウ
程告2 普及現場における「正統的周辺参加」の可能性 食と農林漁業の再生」に農業・農村の「記憶」と「経験」を活用する 程告3 多様な連携による普及組織の機能強化 ・東日本第震災復旧・復興に向けた普及活動からー 建業後継者の確保に関する研究 ー学童期の農業体験が就農に及ぼす影 肥田野修、平泉光ー 日本農業 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会		、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 	稲泉博己	日本農業	2012年6月	34(17-1)	ム シンポジウ
最告3 多様な連携による普及組織の機能強化 - 東日本第震災復旧・復興に向けた普及活動からー - 東日本第震災復旧・復興に向けた普及活動からー - 東日本第震災復旧・復興に向けた普及活動からー - 東子と - 東子と - 東県の農業共同普及事業における普及情報の共有及び伝達に関する調 - 東県の農業共同普及事業における普及情報の共有及び伝達に関する調 - 東県の農業共同普及事業における普及情報の共有及び伝達に関する調 - 東、椎名伸二	告2 普及現場における「正統的周		山下裕作	日本農業	2012年6月	34(17-1)	シンポジウ
程業後継者の確保に関する研究 一学童期の農業体験が就農に及ぼす影 肥田野修、平泉光一 日本農業 2012年6月 34(17-1) 研究論文 普及学会 普及学会 2012年6月 34(17-1) 研究論文 普及学会 音及学会 音及学会 事例報告 音及学会 まん 2012年6月 34(17-1) 事例報告 音、椎名伸二 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 音及学会 また 1 まり報告 音及学会 また 1 まり	3告3 多様な連携による普及組織 <i>0</i>	の機能強化	<u></u> 畠山俊行	日本農業	2012年6月	34(17-1)	シンポジウ
- 葉県の農業共同普及事業における普及情報の共有及び伝達に関する調 渡部和彦、神保信 日本農業 2012年6月 34(17-1) 事例報告 全、椎名伸二 普及学会 きんだい きんしゅう きんしゅう きんしゅう きんしゅう もんしゅう もんしゅう まんしゅう はんしゅう はんしゅん は	農業後継者の確保に関する研究 -		肥田野修、平泉光一	日本農業	2012年6月	34(17-1)	ム 研究論文
	F葉県の農業共同普及事業における	6普及情報の共有及び伝達に関する調		日本農業	2012年6月	34(17-1)	事例報告
□ 付伸男者 一問一答日本農業再生のポイント上・下				普及学会	2012年6月	34(17-1)	書評

甘田建定 ホロナ笠電火の取り組み	工人红土	エ. エ ^ '~	001050	1	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
基調講演 東日本第震災の取り組み	両角和夫 	季大会資 料	2012年3 月		シンポジウム
座長解題 人を育て地域を創る普及活動に向けて	横山繁樹	23年度春 季大会資	2012年3 月		シンポジウ ム
服告1 国際的な観点から考える農業普及員という主体の『学び』『学びあい』 こついて	稲泉博己		2012年3 月		シンポジウム
報告2 普及現場における「正統的周辺参加」の可能性 食と農林漁業の再生」に農業・農村の「記憶」と「経験」を活用する	山下裕作		2012年3 月		シンポジウム
R告3 多様な連携による普及組織の機能強化	畠山俊行	23年度春	2012年3		シンポジウ
- 東日本第震災復旧・復興に向けた普及活動から- B告1 資料用稲の導入を契機とした集落営農組織の意思決定に関する調 E研究	 関尾政典	季大会資 23年度春 季大会資	月 2012年3 月		研究発表
展告2 農業分野における障害者雇用・就農の普及によるソーシャルビジネスの確立と農村振興に関する研究	杉原たまえ、岩元明 久		2012年3 月		研究発表
最告3 普及組織内における普及情報の共有及び伝達に関する研究	渡部和彦	23年度春 季大会資	2012年3 月		研究発表
は告4 普及活動へのステークホルダマネジメント導入に関する検討	上田賢悦、片平満 彦、進藤勇人、鈴木	23年度春 季大会資	7 2012年3 月		研究発表
B告5 耕畜連携による国産濃厚飼料イアコーンの酪農経営への普及条件	<u>俊喜、小林由喜也、</u> 藤田直聡、山田洋 文、大下智子、	料 23年度春 季大会資	2012年3 月		研究発表
限告6 篤農技術の継承における支援組織の意義 ~「21世紀米つくり会」 音事例に~	薄井花恵、薄井勝 利、安江紘幸		2012年3 月		研究発表
B告7 チェンジ·エージェントが関与する無形資産の伝達課程	安江紘幸、	23年度春	2012年3		研究発表
-ナラティブ・アプローチを援用してー 股告8 震災時の直売所の状況の解明および食料供給基地・地域農業を守 の場としての可能性の評価	世 管野雅之	季大会資 23年度春 季大会資	月 2012年3 月		研究発表
アトリックス分析による新しい経営改善手法で園芸産地再生へ貢献	金丸隆	<u>チハム員</u> 23年度春 季大会資	2012年3 月		普及メディ ア賞
との心を耕して 下平次郎著作集	下平次郎	23年度春	2012年3		普及メディ
特別講演 フィリピンにおける農村生活改善研修強化プットロジェクトを実施 て ー伝えたい・活かしたい生活改善の手法ー	 山田瓔子 	<u>季大会資</u> 季大会資 料	月 2012年3 月		ア賞 国際交流 セミナー
月1講演 生きものから見た技術と仕事のちがい	宇根豊	普及学会 誌		33(16-2)	第2回EX セミナー
ろ 2講演 有機農業40年、霧里農場のチャレンジ	金子美登	日本農業普及学会	2011年12 月	33(16-2)	第2回EX セミナー
ーディネーター・コメント 農における知識の創造・共有・伝承とは何か ・祖父、父から受け継いだもの、受け継いでゆくもの-	佛田利弘			33(16-2)	第2回EX セミナー
プブガンで再確認した日本の普及事業 ~"農家と同じ目線で""農業とともこ"の実践報告と提言~	高橋修	日本農業 普及学会		33(16-2)	国際セミナー
	横山繁樹、霞浦森 平、桜井清一	日本農業 普及学会	2011年12 月	33(16-2)	海外事情
会沢夏樹先生追悼論文編集委員会『金沢農業経営学とその展開』	狩谷昭男 岩元明久	日本農業 普及学会	月	33(16-2)	書評
泰田寿樹著「青年農業者育成論」(全国青年農業者育成研究会)		普及学会 誌	月 ·	33(16-2)	書評
区長解題 みんなで農業普及活動を学ぼうPartⅡ ーそのときあなたはどう 日み立てるかー	梅本雅	普及学会 誌	2011年6月	32(16-1)	シンポジウム
限告1 たまねぎ導入による集落営農組織の複合化支援 ~たまねぎの大産 他化への普及指導活動~		日本農業 普及学会	2011年6月		シンポジウ ム
fる未来·未来の八乙女に向けて-	澤田秀継	普及学会	2011年6月		シンポジウム
限告3 産地形成に係わる普及活動の組み立て 一大栄「愛娘」の活動を事 別に一	野々宮弘明	普及学会	2011年6月		シンポジウム
B告4 普及指導活動の価値増大を支援する実践的手法に関する一考察	末永聡	日本農業 普及学会	2011年6月		シンポジウ ム
f年の東南アジアの普及事業の変化と今後の課題ー考察 - グローバル	荒木康紀	日本農業	0011年6日	32(16-1)	海外事情
		普及学会			
と、地方ぶんけんかの動きに応じて一	鈴江恵子、兼坂さく	普及学会 普及学会	2011年6月		海外事情
た、地方ぶんけんかの動きに応じてー イツにおける有機農業の現状 区長解題 みんなで農業普及活動を学ぼうPart II ーそのときあなたはどう		普及学会 普及学会 誌 季大会資	2011年6月		海外事情シンポジウ
と、地方ぶんけんかの動きに応じて一 イツにおける有機農業の現状 至長解題 みんなで農業普及活動を学ぼうPartⅡ ーそのときあなたはどう 組み立てるかー 最告1 たまねぎ導入による集落営農組織の複合化支援 ~たまねぎの大産	鈴江恵子、兼坂さく ら、岩元明久 梅本雅	普及学会 普及学会 誌 季大会資 料 22年度春	2011年6月 2011年3 月 2011年3		海外事情
と、地方ぶんけんかの動きに応じて一 イツにおける有機農業の現状 医長解題 みんなで農業普及活動を学ぼうPart II ーそのときあなたはどう Bみ立てるかー B告1 たまねぎ導入による集落営農組織の複合化支援 ~たまねぎの大産 也化への普及指導活動~ B告2 集落営農型農業法人の発展過程における課題 一つなぐ集落つな	鈴江恵子、兼坂さく ら、岩元明久 梅本雅	普及学会 普及学会 香 大会 22年度 22年度春 22年度春	2011年6月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3		海外事情 シンポジウム
と、地方ぶんけんかの動きに応じて一 デイツにおける有機農業の現状 医長解題 みんなで農業普及活動を学ぼうPart II ーそのときあなたはどう B か立てるかー B 告1 たまねぎ導入による集落営農組織の複合化支援 ~たまねぎの大産 也化への普及指導活動~ B 告2 集落営農型農業法人の発展過程における課題 一つなぐ集落つな げる未来・未来の八乙女に向けて一 B 告3 産地形成に係わる普及活動の組み立て 一大栄「愛娘」の活動を事	鈴江恵子、兼坂さく ら、岩元明久 梅本雅 金田宏	普	2011年6月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3		海外事情 シンポジウム シンポジウム シンポジウム シンポジウム シンポジウ
と、地方ぶんけんかの動きに応じて一 デイツにおける有機農業の現状 を長解題 みんなで農業普及活動を学ぼうPart II ーそのときあなたはどう 且み立てるかー 最告1 たまねぎ導入による集落営農組織の複合化支援 〜たまねぎの大産 也化への普及指導活動〜 最告2 集落営農型農業法人の発展過程における課題 ーつなぐ集落つな ずる未来・未来の八乙女に向けてー	鈴江恵子、兼坂さく ら、岩元明久 梅本雅 金田宏 澤田秀継	普 音 音 志 本 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 大 年 五 五 百 五 百 五 百 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	2011年6月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3		海外事情 シンポジウムシンポジウム シンポジウム シンポジウム シンポジウム シンポジウム
比、地方ぶんけんかの動きに応じて一 「イツにおける有機農業の現状 医長解題 みんなで農業普及活動を学ぼうPart II ーそのときあなたはどう IB か立てるかー W 告1 たまねぎ導入による集落営農組織の複合化支援 ~たまねぎの大産 他化への普及指導活動~ W 告2 集落営農型農業法人の発展過程における課題 一つなぐ集落つな がる未来・未来の八乙女に向けて一 W 告3 産地形成に係わる普及活動の組み立て 一大栄「愛娘」の活動を事 別に一 W 告4 普及指導活動の価値増大を支援する実践的手法に関する一考察 W 告4 普及指導活動の価値増大を支援する実践的手法に関する一考察	鈴江恵子、兼坂さく ら、岩元明久 梅本雅 金田宏 澤田秀継 野々宮弘明 末永聡 羽根正憲、関尾政	普誌 本料 22 本 22 本 22 本 22 本 22 本 22 本 22 本 22 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	2011年6月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月		海外事情 ジンポジウム シンポジウム シンポジウム シンポジウム
と、地方ぶんけんかの動きに応じて一 「イツにおける有機農業の現状 医長解題 みんなで農業普及活動を学ぼうPart II ーそのときあなたはどう B み立てるかー B 告1 たまねぎ導入による集落営農組織の複合化支援 ~たまねぎの大産 也化への普及指導活動~ B 告2 集落営農型農業法人の発展過程における課題 一つなぐ集落つな ずる未来・未来の八乙女に向けてー B 告3 産地形成に係わる普及活動の組み立て 一大栄「愛娘」の活動を事 別に一 B 告4 普及指導活動の価値増大を支援する実践的手法に関する一考察 B 告4 普及指導活動の価値増大を支援する実践的手法に関する一考察 B 告5 音り指導活動の伝承事例に関する研究 一先輩等から学んだ普及 日 音り 音り 音り 音り 音り といっと である といっと といっと である といっと といっと である といっと といっと といっと といっと といっと といっと といっと といっ	鈴江恵子、兼坂さく ら、岩元明久 梅本雅 金田宏 澤田秀継 野々宮弘明 末永聡	普誌 李料 22季22季22季24年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年22季22季22季22季22季22季22季22季22季22季22季22季22季	2011年6月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月		海外事情 シポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウムシンポジウム
と、地方ぶんけんかの動きに応じて一 「イツにおける有機農業の現状 医長解題 みんなで農業普及活動を学ぼうPart II ーそのときあなたはどう B か立てるかー B 告1 たまねぎ導入による集落営農組織の複合化支援 ~たまねぎの大産 也化への普及指導活動~ B 告2 集落営農型農業法人の発展過程における課題 一つなぐ集落つな ずる未来・未来の八乙女に向けて一 B 告3 産地形成に係わる普及活動の組み立て 一大栄「愛娘」の活動を事 別に一 B 告4 普及指導活動の価値増大を支援する実践的手法に関する一考察 B 告4 普及指導活動の価値増大を支援する実践的手法に関する一考察 B 告5 番を指導活動の伝承事例に関する研究 一先輩等から学んだ普及 最高1 音及指導活動の伝承事例に関する研究 一先輩等から学んだ普及 日 第活動上のポイントの分析とそれらを活かす普及学一	鈴江恵子、兼坂さく ら、岩元明久 梅本雅 金田宏 澤田秀継 野々宮弘明 末永聡 羽根正憲、関尾政 典、関戸章一 H23関東ブロック普及	普誌 李料 22季22季22季24年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年大年22季22季22季22季22季22季22季22季22季22季22季22季22季	2011年6月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月 2011年3 月		海外事情 シンポッシム シム シム シム シム シム シム シム シム シム シム シム シム シ

### 20 1						
報告の 報人影響から東高電機、そして魅力ある法人投管へ ~北高速中省 久泉樹原、岩井村子 2年度本 次年度 次年	報告5 普及組織再編後の普及活動の実態と評価 一広島県における普及	中山信弘、田中秀雄				研究発表
報告7 乗の高付加価値による産地の活性化 報告8 集集法人における財務時間の環座連位とランの分 報告9 集業度が70事を育育技術等で、所願領責に対ける。生徒のア メールに提加が (219集業室の最初)関連が関する。となり、 新野経、国国国 スターは展集から(219集業室の最初)関連が関する。となり、 新野経、国国国 スターは展生が2019場所のの保証に対する。となり、 新野経、国国国 スターは展生が2019場所が2019である。カース・アンノに対する。大きなは 別ないます。大きなは 関係の多様にする参入パターンと普及への期待 教育の実践による機能が連携した産地の担いすづくり 一新見市に 大きなも 新形形式 高に関係。大きなは 別ないます。大きなは 別ないます。大きなは 別ないます。大きなは 別ないます。大きなは 別ないます。大きなは 同様に対する。大きなは 別ないます。大きなは	報告6 個人経営から集落営農、そして魅力ある法人経営へ ~北海道中富	久保勝照、岩井紀子	22年度春	2011年3		研究発表
報告の 高米書かにの財産者の政治を持ている場合 (1) (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	報告7 栗の高付加価値化による産地の活性化	笹沼太幸、唐澤友洋	22年度春	2011年3		研究発表
報告の 編末高校での集ま音音成品権モデル経発生業に対ち、生徒のファッチの機能10 地域無実前のでの集ま音音成品体モデル経費の製造を含め、2014年3 2011年3 2012年3 20	報告8 農業法人における財務指標の標準値とランク区分	大室健治、梅本雅	22年度春	2011年3		研究発表
報告10 比場議業計画の作成に関する音数方法(ファンリテーションに関する語となる法(ファンリテーションに関する語となる法(ファンリテーションに関する語となると思う。	報告9 農業高校での農業者育成研修モデル開発事業における、生徒のア	赤井昭雄、岡田真	22年度春	2011年3		研究発表
報告12 EUの设置能理型量及預察からの示唆	報告10 地域農業計画の作成に関する普及方法(ファシリテーションに関す	関尾政典	22年度春	2011年3		研究発表
報告12 EUの資品が見受き表情的シの示唆	る調査研究 <i>)</i> 報告11 有機農業基礎データ作成作業の報告(速報)	桑村友章	22年度春	2011年3		研究発表
	報告12 EUの資源循環型農業視察からの示唆	鈴江恵子、岩元明久	22年度春	2011年3		研究発表
議義所漢 機への多様にする参入パターと普及への制特	私の普及活動の集大成・アフガンにおける農業支援	高橋修	季大会資	2011年3月		特別講演
接続	座長解題 新規参入者の受入による地域農業の活性化と普及の役割		普及学会		31(15-2)	シンポジウ
報告1 新規参入者から見た普及員の役割	基調講演 農への多様化する参入パターンと普及への期待	秋津元輝	日本農業	2010年12	31(15-2)	シンポジウム
報告3 関係機関や生産者組織が連携した産性の担い手づくり 一新見市ビ	報告1 新規参入者から見た普及員の役割	木之内均	日本農業	2010年12	31(15-2)	ム
**	報告2 農業経営をめざす法人就農		普及学会	月		4
安住農業者のダブルキャリア組織の機能と管理 - ヘルシーママSUNを事	報告3 関係機関や生産者組織が連携した産地の担い手づくり 一新見市ピオーネ産地の取組ー		普及学会	月		4
個田浩一 書文学会 月 日本語 日本			普及学会	月		4
議員 月 2010年7月 公の年代 日本農業 日本農 日本農業 日本農 日本農業 日本農 日本農 日本農 日本農 日本農 日本農 日本農 日本農 日本農業 日本農 日本 日本	例として一		普及学会	月		
度した。	高橋修橅者 アノガン辰耒又抜集厨記」	備田活一 			31(15-2)	昔 評
## 1 新規参入者から見た普及員の役割	基調講演 農への多様化するパターンと普及への期待		料	, , ,		ム
報告2 農業経営をめざす法人就農			期大会資			ム
報告2 農業経営をめざす法人就農	報告1 新規参入者から見た晋及員の役割	木之内均 		2010年7月		
オーネ産地の取組一報告1 対話型農家=ティングによる楽納経営改善	報告2 農業経営をめざす法人就農		22年度夏 期大会資			シンポジウ ム
報告1 対話型農家ミーティングによる薬納経営改善 報告2 農家への新規参入者の社会関係形成に関する一考察 一市町村独 自の新規就農者支援を事例として一 報告3 日射制御型拍動自動灌水装置の導入による夏秋なす産地の活性化 報告4 高知県における「こうち型集落営農」の取り組み 報告5 にたわっとる農!・この人: 広島県「食」と「農」との共鳴 ~胎動・協 樹・展開(P2M程点からの検証)~ 報告6 農業高校での農業者育成研修モデル開発事業における、表現の差 が少ないアンケート結果からの満足度の誘み取りに関する調査と分析 一副 調を拡張して著者の破情推定手法を応用して一 第2種報 現場実習生徒の満足核連及の実証と立証 差額講演 業種を用助しお優別を対して対しまるの機能で実施と立証 を進化(定保)と関連の対しを関係があなれているか 座長解題 農業普及活動における「人」への働きかけのポイント 報告1 ぶった農産の発展過程における人との知の役割 一誰に出会い何が 報告2 地域メイバーションを多面的な連携で ~ニーズ志向・広域産学官 谷口邦彦 超き1 がった、大夏人間関係と知識創造のプロセスー 報告1 がった農産の発展過程における人との知の役割 一誰に出会い何が 報告2 地域メイバーションを多面的な連携で ~ニーズ志向・広域産学官 谷口邦彦 連携の現場から~ 報告3 りーだーの養成と協働が小ぎく産地を支える 報告4 個を尊重する連携・協働を通じて人・地域が動いてゆく 報告5 リーだーの養成と協働が小ぎく産地を支える 報告5 リーだーの養成と協働が小ぎく産地を支える 報告7 他が表のよのは変がないた。大田を表える 表は、100年6月 30(15-1) シンポジウム と立たか、其の人間関係と知識創造のプロセスー 報告2 地域メイバーションを多面的な連携で ~ニーズ志向・広域産学官 谷口邦彦 連携の現場から~ 報告3 リーだーの養成と協働が小ぎく産地を支える 報告4 個を尊重する連携・協働を通じて人・地域が動いてゆく 要性2 世域を2 地域を3 との10年6月 30(15-1) シンポジウム となどのよりにも行う 30(15-1) シンポジウム となどのよりにも行う 30(15-1) ジンポジウム はた2 地域を3 との10年6月 30(15-1) ジンポジウム となどのよりにも行う 30(15-1) ジンポジウム はた3 との10年6月 30(15-1) ジンポジウム は2010年6月 30(15-1) ジンポジウム は2010年6月 30(15-1) が究論文 第及学会 おりつにも行う 30(15-1) 研究論文 第及学会 を2010年6月	オーネ産地の取組-		期大会資	, , ,		ム
報告2 農家への新規参入者の社会関係形成に関する一考察 一市町村独 自の新規就農者支援を事例として一 報告3 日射制御型拍動自動灌水装置の導入による夏秋なす産地の活性化 大久保國雄、川本敏 広、山本章、栗原 有一、長森茂之 松岡寿充 22年度夏 報告5 こだわっとる農!・この人、広島県「食」と「農」との共鳴 ~胎動・協 働・展開「CRM視点からの検証」~ 報告6 農業高校での農業者育成研修モデル開発事業における、表現の差 新少ないアンケート結果からの満足度の読み取りに関する調査と分析 一副 第2報 現場実習生徒の満足感達成の実証と立証 基 両 護調請演 業種を問わず展開できる「TIYOTA WAY'トヨタ生産方式の本質 本 南八 と進化(深化)車づくりと野交づくり。今何が求められているか 座長解題 農業普及活動における「人」への働きかけのポイント 門間敏幸 日本農業 2010年6月 30(15-1) シンボジウ 起きたか、其の人間関係と知識創造のプロセスー報告2 以外へションを多面的な連携で ~ニーズ志向・広域産学官 谷口邦彦 日本農業 2010年6月 30(15-1) シンボジウ 連携の現場から~ 報告4 個を尊重する連携・協働を通じて人・地域が動いてゆく 安倍澄子 日本農業 2010年6月 30(15-1) シンボジウ 連携の現場から~ 報告5 りーだ一の養成と協働が小ぎく産地を支える 千葉美由喜 日本農業 2010年6月 30(15-1) シンボジウ 上本農業 2010年6月 30(15-1) ジンボジウ 上本農業 2010年6月 30(15-1) が究論文 音及学会 ま永聡、伊藤裕樹、竹内洋夫、羽根正 霊 関戸章 上 参加型開発の事例研究に対する新しい科学的方法論の探索 伊藤弘志 日本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 音及学会 ま永聡、伊藤裕樹、竹内洋夫、羽根正 霊 関戸章 上本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 音及学会 ま永聡、伊藤裕樹、竹内洋夫、羽根正 霊 関戸章 上本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 音及学会 表別型間発の事例研究に対する新しい科学的方法論の探索 伊藤弘志 日本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 音及学会 表別で15-11 研究論文 日本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 15-2 第2年度 2010年6月 30(15-1) 研究論文 15-2 第2年度 2010年6月 30(15-1) 第29年度 2010年6月 30(15-1) 第29年度 15-2 第29年度 2010年6月 30(15-1) 第29年度 2010年6月 30			期大会資	, , ,		ム
自の新規就農者支援を事例として一報で3 日射制御型拍動自動灌水装置の導入による夏秋なす産地の活性化		久、川口泰治、氏平	期大会資	, , ,		
版、山本章吾、栗原 期大会資 有一、長森茂之 料	自の新規就農者支援を事例として一	村一善	期大会資			
報告 6 高知県における「こうち型集落営農」の取り組み 松岡寿充 22年度夏 別大会資 3010年7月 研究発表 報告 5 こだわっとる農!・この人: 広島県「食」と「農」との共鳴 ~胎動・協 働・展開 (P2M視点からの検証)~ 報告 6 農業高校での農業者育成研修モデル開発事業における、表現の差 別大会資 別大会資 別大会資 別大会資 別大会資 別大会資 別大会資 別大会資	報告3 日射制御型拍動自動灌水装置の導入による夏秋なす産地の活性化	広、山本章吾、栗原	期大会資	2010年7月		研究発表
報告5 こだわっとる農!・この人:広島県「食」と「農」との共鳴 ~胎動・協	報告4 高知県における「こうち型集落営農」の取り組み		22年度夏	2010年7月		研究発表
が少ないアンケート結果からの満足度の読み取りに関する調査と分析 一副 丸山友良、 期大会資 料			22年度夏	2010年7月		研究発表
基調講演 業種を問わず展開できる"TIYOTA WAY"トヨタ生産方式の本質 林 南八 と進化(深化)車づくりと野菜づくり。今何が求められているか	が少ないアンケート結果からの満足度の読み取りに関する調査と分析 一副詞を拡張した筆者の感情推定手法を応用して一		期大会資	2010年7月		研究発表
座長解題 農業普及活動における「人」への働きかけのポイント 門間敏幸 日本農業 音及学会 2010年6月 30(15-1) シンポジウム 2010年6月 30(15-1) 30(基調講演 業種を問わず展開できる"TIYOTA WAY"トヨタ生産方式の本質	林 南八		2010年6月	30(15-1)	ム
報告1 ぶった農産の発展過程における人との知の役割 一誰に出会い何が 佛田利弘	座長解題 農業普及活動における「人」への働きかけのポイント		日本農業 普及学会			シンポジウ ム
連携の現場から~ 普及学会 日本農業 2010年6月 30(15-1) シンポジウム 報告3 リーだーの養成と協働が小ぎく産地を支える 千葉美由喜 日本農業 音及学会 出版 2010年6月 30(15-1) シンポジウム 日本農業 音及学会 音及学会 音及学会 ま、関戸章ー ま	起きたか、其の人間関係と知識創造のプロセスー		普及学会			シンポジウム
## 3 世界 3 世界 4 個を尊重する連携・協働を通じて人・地域が動いてゆく おおいます。 またい、伊藤裕樹、 日本農業 音及学会 おおいます。 またい、伊藤裕樹、 竹内洋夫、羽根正 憲、関戸章ー おおいます。 またい、科学的方法論の探索 は 日本農業 音及学会 また またい。 またい、科学的方法論の探索 は 日本農業 音及学会 また またい。 またい、科学的方法論の探索 は 日本農業 音及学会 また。 またい、科学的方法論の探索 は 日本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 でので、 一本農業 音及学会 また。 またい、科学的方法論の探索 は 日本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 では、 一本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 では、 一本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 では、 一本農業 2010年6月 30(15-1) 海外事情 を は、 一本農業 2010年6月 30(15-1) 海外事情 を は、 一本農業 2010年6月 30(15-1) 海外事情 を は、 一本農業 2010年6月 30(15-1) カー・カー・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	連携の現場から~		普及学会			厶
# 及学会			普及学会			ム
コーチングスキルの開発 - 竹内洋夫、羽根正 普及学会 憲、関戸章 - 誌			普及学会	, , , ,		ム
参加型開発の事例研究に対する新しい科学的方法論の探索 伊藤弘志 日本農業 2010年6月 30(15-1) 研究論文 普及学会 フィリピンにおける節水灌漑稲作技術(AWD)普及のための技術的課題 横山繁樹・小田正人 日本農業 2010年6月 30(15-1) 海外事情	展集者及活動とコーナングに関する一考祭 一展集者及指導員のための コーチングスキルの開発ー	竹内洋夫、羽根正	普及学会	2010年0月	30(13-1)	៲╜ᄎᇑᄎ
フィリピンにおける節水灌漑稲作技術(AWD)普及のための技術的課題 横山繁樹・小田正人 日本農業 2010年6月 30(15-1) 海外事情	参加型開発の事例研究に対する新しい科学的方法論の探索		日本農業	2010年6月	30(15-1)	研究論文
	フィリピンにおける節水灌漑稲作技術(AWD)普及のための技術的課題	横山繁樹·小田正人	日本農業	2010年6月	30(15-1)	海外事情

第四項	ラオス低地農業地域の営農問題の把握とPRA	山田隆一、横山繁樹	日本農業	2010年6月	30(15-1)	海外事情
展表解版 書書音及語動に対する人人の動きかけのホイント 情報 表示会 2010年9月 5015+1) 表記 が表 2010年9月 5015+1) 表記 が表 2010年9月 5015+1) 表記 かたら 2010年9月 5015+1) 表記 かたら 2010年9月 525か、その人的関係と知識は高のプロセス アース 2010年9月 525か、その人的関係と知識は高のプロセス アース 2010年9月 525か、その人的関係と知識は高のプロセス アース 2010年9月 525か。その人的関係と知識は高のプロセス アース 2010年9月 525か。その人的関係と知識は高のプロセス アース 2010年9月 525か。その人的関係と関係と関係を関係を関係を関係を対しています。 2010年9月 525から 2010年9月 525	藤田康樹著「農業普及指導論」	岩元明久	日本農業	2010年6月	30(15-1)	書評
審要系権 画書音及原類におけらん/への担告かけのポイント 門間録字 対象	福田浩一著「IT活用でわかる農業普及」	岩元明久	普及学会	2010年6月	30(15-1)	書評
語告1 から、無常の角性流程に対ける人と知の任例 - 誰に出会い何かは、佛田利益 214度等 2010年3月 2010年	座長解題 農業普及活動における「人」への働きかけのポイント	門間敏幸	季大会資	2010年3月		
### 1 地域像 / / / 一 / / / / / / / / / / / / / / /		佛田利弘	21年度春	2010年3月		シンポジウ
報告4 みんなで高素普及活動を呼ばらかれて、	報告2 地域発イノベーションを多面的な連携で ~ニーズ志向・広域産学連	谷口邦彦	21年度春	2010年3月		シンポジウ
新音の		千葉美由喜	21年度春	2010年3月		シンポジウ
報告2 一人一人の温来省1-目標を持たせる普及万法 報告3 一型地域の1年度のアスペラが成態を主張したで 観音3 運地可能が開発を続けるための音及用導手法の研究 報告3 単独体 1年度を 対して、		安倍澄子	21年度春	2010年3月		シンポジウ
割信急	報告1 産地の成熟度に応じた農業普及活動とIT活用の方向 一山形県最	福田浩一	21年度春	2010年3月		
報告3 産地育成指導を達化するための音差指導手法の何欠		関尾政典	21年度春	2010年3月		研究発表
報告4 勢・根而におけるマブロジェクトの取り組が、漢南工連携における 平谷総度 21年度寿 2010年3月 研究発表 第25番 12 2016年3月 研究免表 第25番 12 2016年3月 第25番 12 2016年3月 研究免表 第25番 12 2016年3月 研究免表 第25番 12 2016年3月 研究免表 第25番 12 2016年3月 デステム 12 2016年3月 デス			21年度春	2010年3月		研究発表
報告の 次代を担う持続可能な地域農業に育成 〜地域の回館でレベルアッ			21年度春	2010年3月		研究発表
報告6 中山間地域集後の活性化 ~ 農作業受託組織の連携と営農の強化	報告5 次代を担う持続可能な地域農業に育成 ~地域の団結でレベルアッ		21年度春	2010年3月		研究発表
報告で、意飲ある担い手を核と比を縁体の顕光のでは、大小化に関する研究・ 報告で、意飲ある担い手を核と比を事体な販売によるニホンナシ産地の活性で、 報告の、生物では、大小化に関する研究・ 報告の、地域や消を推進する農産物産売所の機能の解明・一直売所の様々を表別を表している。 報告の、地域や消を推進する農産物産売所の機能の解明・一直売所の様々で書野など、 な活動とそれを支える音数皮度援助に若且して・ 報告の、地域や消を推進する農産物産売所の機能の解明・一直売所の様々で書野など、 な活動とそれを支える音数皮度援助に若且して・ 報告の、地域地消を指していまける研修による本部健準抑制(自然農法における現場事例とその反響) JICA農業・農村開発プロジェクトにおける研修による農民のエンパワーメシト 伊崎弘志 の達成について を実験重 生産・流通・消費の連携による地域資源活用型産地の形成と普及 ト 中崎弘志		武之、平林清美、小				
報告の 意欲ある担い手を核とした多様な販売によるニホンナシ産地の活性 安嶋智也 2年度春 2010年3月 研究発素 光名貴 福告の 上域性は18年間 18年間 18年間 18年間 18年間 18年間 18年間 18年間	•			2010年3月		研究発表
報告9 農区を核とした三隅地区の営産体制の確立とネットワーク化 吾郷智之 21年度春		安嶋哲也	21年度春	2010年3月		研究発表
報告10 地産地沼を推進する農産物直売所の機能の解明 一直売所の様々 育野雅之 21年度 2010年3月 研究発表 生物変 2010年3月 研究発表 生物 2010年3月 研究発表 2010年3月 研究発表 生物 2010年3月 研究発表 生物 2010年3月 研究発表 2010年3月 研究発表 2010年3月 研究発表 2010年3月 研究発表 2010年3月 研究発表 2010年3月 日本 2010年3月 2010年3日 2010年3月 2010年3日 2010年		藤浪哲也		2010年3月		研究発表
接告11 報記方法の工夫による水稲雑草抑制(自然農法における現場事例 とその反響)	報告9 農区を核とした三隅地区の営農体制の確立とネットワーク化	吾郷智之		2010年3月		研究発表
報告11 耕起方法の工夫による水稲雑草抑制(自然農法における現場事例 とでの反響)		菅野雅之	21年度春	2010年3月		研究発表
JICA農業・農村開発プロジェクトにおける研修による農民のエンパワーメント 伊崎弘志 21年度春 2010年3月 万達成について 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7	報告11 耕起方法の工夫による水稲雑草抑制(自然農法における現場事例	事業団、(財)微生物	21年度春 季大会資	2010年3月		研究発表
歴長祭題 生産・流通・消費の連携による地域資源活用型産地の形成と普及 木村伸男	reactive earth are a second as		21年度春	2010年3月		
報告1 水田地帯における多品目産地の育成 阿部浩 音及学会 月 月 29(14-2) シンポジウ	座長解題 生産・流通・消費の連携による地域資源活用型産地の形成と普及	. 木村伸男	普及学会		29(14-2)	シンポジウ
報告2 地域資源を活用し小売りと連携して中山間地農業の確立 佐藤守		阿部浩	日本農業	2009年12	29(14-2)	
報告3 『農業』から『食業』そして、『農村産業』創出 伊藤秀雄 日本農業 音及学会 月 2009年12 29(14-2) シンポジウム	報告2 地域資源を活用し小売りと連携して中山間地農業の確立	佐藤守	日本農業	2009年12	29(14-2)	シンポジウ
報告4 地域資源を活用した安全で安心な産地づくりの支援 - いわて生協 の産地・地産地消運動のとりくみ実践から一	報告3『農業』から『食業』そして、『農村産業』創出	伊藤秀雄	日本農業	2009年12	29(14-2)	シンポジウ
報告5 新産地形成に向けた普及組織の機能強化 一普及の人材育成と地 域協働ー 高齢化に伴う重量野菜から軽量野菜への作目転換行動メカニズムの解明 小売店舗型農産物直売所における購買行動の特徴と店頭マーケティング活 動の改善点 ーアイカメラとプロトコルを併用した消費者購買行動実験による 村上厚著 農業普及における集団・組織形成論 村上利夫著 緑が生きる一次代を育むまちづくりの実践 座長解題 生産・流通・消費の連携による地域資源活用型産地の形成と普及 報告1 水田地帯における多品目産地の育成 報告2 地域資源を活用した労と連携して中山間地農業の確立 報告3 『農業』から『食業』そして、『農村産業』創出 報告4 地域資源を活用した安全で安心な産地づくりの支援 ーいわて生協 の産地・地産地消運動のとりくみ実践から一 報告5 新産地形成に向けた普及組織の機能強化 一普及の人材育成と地 域協働ー 報告6 生産調整の強化に打ち勝つ野菜産地の育成 ー転作地活用したプ 域協働ー 高齢化に伴う重量野菜から軽量野菜への作目転換行動メカニズムの解明 小笠原慎一、納口る り子、長谷川淳 カース・大浦裕二、清野誠喜 音及学会 月 日本農業 音及学会 月 日本農業 音及学会 月 日本農業 音及学会 月 日本農業 音及学会 月 日本農業 音及学会 月 日本農業 音及学会 月 日本農業 音及学会 月 日本農業 音及の9年72 と9(14-2) 書評 「本稿業 日本農業 音及学会 日本農業 音及学会 日本農業 音及学会 日本農業 1 日本農業 音及学会 日本農業 1 日本農業 音及の9年72 と9(14-2) 書評 日本農業 音及学会 日本農業 日本農業 1 日本農業 音及学会 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 2 2009年72 と9(14-2) 書評 日本農業 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 2 2009年72 と9(14-2) 書評 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 1 2009年72 と9(14-2) 書評 日本農業 1 2009年7月 シンポジウム 日本・地産産夏 2 2009年7月 シンポジウム 日本・地産産夏 2 2009年7月 シンポジウム 日本・地産産夏 2 2009年7月 シンポジウム 日本農業 1 年度夏 2 2009年7月 シンポジウム 日本・地産産園のとりくみ実践から一 報告5 新産地形成に向けた普及組織の機能強化 一普及の人材育成と地 対路の一 第大会資 1 4 年度夏 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		金子成子	日本農業	2009年12	29(14-2)	シンポジウ
高齢化に伴う重量野菜から軽量野菜への作目転換行動メカニズムの解明 小笠原慎一、納口る り子、長谷川淳 普及学会 月 日本農業 普及学会 月 日本農業 普及学会 月 日本農業 普及学会 月 日本農業 1 日本農業 2 1 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 2 1 日本農業 2 1 日本農業 2 1 日本農業 1 日本農業 2 1 日本農業 2 1 日本農業 2 1 日本農業 1 日本農業 1 日本農業 2 2 1 日本産業 2	報告5 新産地形成に向けた普及組織の機能強化 一普及の人材育成と地	鈴木茂	日本農業	2009年12	29(14-2)	シンポジウ
小売店舗型農産物直売所における購買行動の特徴と店頭マーケティング活 上田賢悦、梅本雅、日本農業 2009年12 29(14-2) 研究報告 動の改善点 ーアイカメラとプロトコルを併用した消費者購買行動実験による 大浦裕二、清野誠喜 普及学会 月 2009年12 29(14-2) 書評			日本農業	2009年12	29(14-2)	研究報告
村上厚著 農業普及における集団・組織形成論 藤田康樹 日本農業 音及学会 月 29(14-2) 書評 音及学会 月 29(14-2) 書評 音及学会 2009年12 月 29(14-2) 書評 正長解題 生産・流通・消費の連携による地域資源活用型産地の形成と普及 木村伸男 期大会資 月 2009年7月 シンポジウの役割 期大会資 2009年7月 カム 日本度夏 2009年7月 カム カム 日本度夏 2009年7月 カム カム 日本度夏 2009年7月 カム 日本度の産地・地産地消運動のとりくみ実践から 日本度夏 2009年7月 カム 日本度夏 2009年7月 日本度 2009年7月 2009年7月 日本度 2009年7月 2009年7月 2009年7月 2009年7月 2009年7月 2009年7月 2009年7		上田賢悦、梅本雅、	日本農業	2009年12	29(14-2)	研究報告
一			日本農業	2009年12	29(14-2)	書評
座長解題 生産・流通・消費の連携による地域資源活用型産地の形成と普及 木村伸男期大会資 料2009年7月 ム報告1 水田地帯における多品目産地の育成阿部浩21年度夏 別大会資 名の9年7月 シンポジウム報告2 地域資源を活用し小売りと連携して中山間地農業の確立佐藤守 名1年度夏 別大会資 名の9年7月 カス会資 名の9年7月 カスペジウム 名の産業 ののでは、地域資源を活用した安全で安心な産地づくりの支援 ーいわて生協 の産地・地産地消運動のとりくみ実践から一報告3・新産地形成に向けた普及組織の機能強化 一普及の人材育成と地 対域衡 名 名の機能強化 一番及の人材育成と地 対域衡 名 名の産地・ 関大会資 名の金地化 名 名の産地・ 関大会資 名の金地化 名 名の機能強化 一番及の人材育成と地 対域が関 名 名の産地・ 関大会資 名の金地・ 関大会資 名の9年7月 カンポジウム 名 名の金地化 名 名の金地化 名 名の金地化 名 名の音の音の音の音の音の音の音の音の音の音の音の音の音の音の音の音の音の音	村上利夫著 緑が生きる一次代を育むまちづくりの実践		普及学会	2009年12	29(14-2)	書評
報告1 水田地帯における多品目産地の育成 阿部浩 21年度夏 期大会資 知大会資 知大会資 知大会資 知大会資 知大会資 2009年7月 ジンポジウム 程格3 『農業』から『食業』そして、『農村産業』創出 伊藤秀雄 21年度夏 1009年7月 ジンポジウム 知大会資 知大会資 知大会資 2009年7月 ジンポジウム 21年度夏 1009年7月 カンポジウム 21年度夏 1009年7月 日 11年度夏 1009年7月 日 11年度日 11年度		木村伸男	期大会資			
報告2 地域資源を活用し小売りと連携して中山間地農業の確立 佐藤守 21年度夏 期大会資 期大会資 知大会資 期大会資 知大会資 担年度夏 担保度夏 担保度夏 担保度夏 担保度夏 担保度夏 担保度夏 担保度夏 担保		阿部浩	21年度夏	2009年7月		シンポジウ
報告3 『農業』から『食業』そして、『農村産業』創出	報告2 地域資源を活用し小売りと連携して中山間地農業の確立	佐藤守	21年度夏	2009年7月		シンポジウ
報告4 地域資源を活用した安全で安心な産地づくりの支援 - いわて生協 金子成子 21年度夏 2009年7月 カンポジウム 21年度夏 2009年7月 研究報告 リッコリーの産地化 21年度夏 2009年7月 研究報告 21年度夏 2009年7月 研究報告 21年度夏 2009年7月 研究報告 21年度夏 2009年7月 日本日 21年度 21年度 21年度 21年度 21年度 21年度 21年度 21年度	報告3『農業』から『食業』そして、『農村産業』創出	伊藤秀雄	21年度夏	2009年7月		
報告5新産地形成に向けた普及組織の機能強化 一普及の人材育成と地 域協働ー鈴木茂 期大会資21年度夏 期大会資2009年7月 上 2009年7月シンポジウム ム 研究報告報告1生産調整の強化に打ち勝つ野菜産地の育成 一転作地活用したブ リッコリーの産地化ー 報告2對馬和明 期大会資21年度夏 期大会資2009年7月研究報告報告2報告2粗飼料多給肥育による短角牛肉生産から高付加価値販売までの地 研究報告中森忠義21年度夏 21年度夏2009年7月研究報告		金子成子	21年度夏	2009年7月		厶
報告1 生産調整の強化に打ち勝つ野菜産地の育成 一転作地活用したブ 對馬和明 21年度夏 2009年7月 研究報告 リッコリーの産地化ー 期大会資 研究報告 報告2 粗飼料多給肥育による短角牛肉生産から高付加価値販売までの地 中森忠義 21年度夏 2009年7月 研究報告	報告5 新産地形成に向けた普及組織の機能強化 一普及の人材育成と地	鈴木茂	21年度夏	2009年7月		シンポジウ ム
報告2 粗飼料多給肥育による短角牛肉生産から高付加価値販売までの地 中森忠義 21年度夏 2009年7月 研究報告	報告1 生産調整の強化に打ち勝つ野菜産地の育成 一転作地活用したブリッコリーの産地化ー		21年度夏			
	報告2 粗飼料多給肥育による短角牛肉生産から高付加価値販売までの地	中森忠義	21年度夏	2009年7月		研究報告

報告3 小ぎく産地の拡大・育成に向けた普及の取り組み 〜地域リーダーの 養成と協働が産地をつくる〜	千葉美由喜、志田た つ子、輪達公重、薄 衣利幸	21年度夏 期大会資 料	2009年7月		研究報告
報告4「南三陸春告げやさい」の振興による地域活性化支援	中村寛	21年度夏	2009年7月		研究報告
報告5 集落営農組織の法人化支援の課題 ~山形県高畑町小其塚集落の 事例から~	 高橋哲史	期大会資 21年度夏 期大会資	2009年7月		研究報告
報告6 福島県県北地方におけるいちご産地支援活動の展開	田中尚	21年度夏 期大会資	2009年7月		研究報告
報告7 農業学校での農業者育成研修モデル開発事業における、表現の差が少ないアンケート結果からの満足度の読み取りに関する調査と分析 一副詞を拡張した筆者の感情推定手法を応用して一	岡田真、赤井昭雄、 丸山友良	21年度夏 期大会資 料	2009年7月		研究報告
報告8 地球温暖化の農業影響調査(温州みかんの市町村別栽培状況)	粕谷和夫	21年度夏 期大会資	2009年7月		研究報告
病害虫複合抵抗性水稲栽培の環境影響評価 -LC-CO2分析による-	本間利明、増山富美子	期大会資 料	2009年7月		調査研究 の結果
	[稲本志良	日本農業普及学会	2009年6月	28(14–1)	シンポジウム
報告1 米国の農業改良普及事業 —小規模農場支援の取り組みを事例として—	伊庭治彦	日本農業普及学会	2009年6月	28(14-1)	シンポジウム
報告2 ドイツにおける多様な普及制度と今後の展望	四方康行	日本農業普及学会	2009年6月	28(14–1)	シンポジウ
報告3 フランスにおける公的普及の担い手支援と普及員の研修制度	横溝功	日本農業普及学会	2009年6月	28(14-1)	シンポジウム
報告4 農業アドバイザリー・サービスにおける競争と協調 ―デンマーク、オランダの事例―	横山繁樹、関野幸二	日本農業 普及学会	2009年6月	28(14-1)	シンポジウム
野菜生産農家の経営目標と経営者能力(長野県南相木村の野菜生産農家を 事例として)	山田忍	日本農業 普及学会	2009年6月	28(14-1)	研究報告
新技術採用と社会ネットワーク(フィリピン・ターラック州深井戸灌漑システムにおけるAWDの事例)	Shigeki Yokoyama, Ma Victoria C. Rodriguez, Kumi Yasunobu	日本農業普及学会誌	2009年6月	28(14-1)	研究報告
ウンシュウミカンへのマルドリ方式の導入結果と普及に向けた課題(和歌山県 有田地域を対象として)		日本農業 普及学会	2009年6月	28(14–1)	研究報告
経営効率分析法DEAによる花き農家の経営診断(千葉県を中心として)		日本農業 普及学会	2009年6月	28(14–1)	研究報告
ベトナムにおけるVACシステムの普及上の課題(メコンデルタの事例から)	杉原たまえ、Tran Anh QUOC		2009年6月	28(14-1)	研究報告
オーストラリアにおける生産者主導型農業研究開発システムの変革 (研究資金配分機関の統治構造に注目して)	大呂興平	日本農業 普及学会 誌	2009年6月	28(14-1)	研究報告
座長解題 欧米諸国における農業普及への潮流 —わが国の農業普及へ何を示唆しているか—	稲本志良	20年度春 季大会資	2009年3月		シンポジウ ム
報告1 米国の農業改良普及事業 —小規模農場支援の取り組みを事例と して—	伊庭治彦	20年度春 季大会資	2009年3月		ー シンポジウ ム
報告2 ドイツにおける多様な普及制度と今後の展望	四方康行	20年度春 季大会資	2009年3月		ム シンポジウ ム
報告3 フランスにおける公的普及の担い手支援と普及員の研修制度	横溝功	20年度春 季大会資	2009年3月		シンポジウ
報告4 農業アドバイザリー・サービスにおける競争と協調 ―デンマーク、オランダの事例—	横山繁樹、関野幸二		2009年3月		ム シンポジウ ム
報告1 農業改良普及事業の現段階と再編	〇中山信弘、田中秀		2009年3月		研究発表
報告2 事例を活かす普及指導手法に関する研究(普及指導活動上陥りやすいポイントの分析と、それに対するリカバリー普及学)		子 <u>八云見</u> 20年度春 季大会資	2009年3月		研究発表
サンパ・ファック		子八云月 20年度春 季大会資	2009年3月		研究発表
祝告4 農業分野における産学官連携活動の在り方に関する一考察 —山 の芋用2条植え半自動移植機開発のための産学官連携活動を事例に—	〇上田賢悦、片平光 彦、小林由喜也、阿 部浩、川原谷実		2009年3月		研究発表
報告5 簡易葉面積測定法の開発と普及への試み	〇土谷安司、山本晴		2009年3月		研究発表
報告6 消費動向に対応したぶどう産地の育成(平成17~19年) —「ポスト 巨峰」を目指す普及指導活動—	<u> 半、日花凉</u> 〇中沢徹守 	20年度春 季大会資	2009年3月		研究発表
報告7 不安定な露地野菜経営から所得向上と安定化を目指した多品目経営体への転換~産地と関係機関が一丸となって取り組んだ野菜産地構造改革への挑戦~	〇久保洋一、郡司彰		2009年3月		研究発表
十一の元元 報告8 地域営農のシステム化による農業所得の向上 —将来を見据えシステム化された芭露農業—	〇大城敬二、外山直 樹、大野隆司、山田 聡、石川美貴、真鍋 照彦、佐藤宏	20年度春	2009年3月		研究発表
報告9 個別技術・経営データを活用した産地強化 —税務申告書を経営戦略書に変えて—	〇金丸隆	20年度春 季大会資	2009年3月		研究発表
報告10 集落営農組織の育成における普及手法 —普及は地域農業のコーディネーター役である—	〇九村俊幸、西村雅 也		2009年3月		研究発表
報告11 田んぼの生き物調査を通した「コウノトリ育む農法」の地域への推進	□ ○水谷祐一郎、西村 いつき、北川真輔、 杉本政子		2009年3月		研究発表

報告12 農産物直売所施設による営農体制の拡大・定着 ―野菜生産者か	〇田中秀幸	20年度春	2009年3月		研究発表
ら商品・サービス生産者への意識改革—		季大会資	2009年3月		斯九光衣
報告13 女性農業者のネットワーク組織の機能と管理 ―ヘルシーママSU Nを事例として―	〇仁平章子、伊庭治 彦	20年度春 季大会資	2009年3月		研究発表
報告14 家族経営協定を活用した担い手育成支援の可能性と課題	〇内山智裕、富沢代 志子、森内純子、岩	20年度春 季大会資	2009年3月		研究発表
報告15 中山間地域における農産物直売所の機能分析 —中山間地域の 社会交流機能及び地域活性化効果を中心として—	本さつき、石田みゆ 〇菅野雅之、門間敏 幸	料 20年度春 季大会資	2009年3月		研究発表
座長解題 都市的地域における食の安全・安心に向けた普及の役割	桂明宏	日本農業		27(13-2)	シンポジウ
	新山陽子	普及学会 日本農業	月 2008年12 2	27(13-2)	ム シンポジウ
報告1 食の安心・安全から広がって環境保全対策へ~農業者にできる食の	野木武	普及学会 日本農業	月 2008年12 2	27(13–2)	ム シンポジウ
安全・環境保全・リサイクル~ 報告2 ならコープの産直事業と食の安全・安心の取り組み	坂本仁	普及学会 日本農業	月	27(13–2)	ム シンポジウ
報告2 は53 プログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ	根来実	普及学会 日本農業	月	27(13-2) 27(13-2)	ム シンポジウ
報告4 滋賀県における環境こだわり農業の取り組みについて ―普及が果	森野真	音及学会 日本農業	月	27(13-2) 27(13-2)	ム シンポジウ
たしてきた役割―		普及学会	月		ム
新技術の普及に関わる主体間連携関係の形式要因と役割	鶴岡康夫	日本農業 普及学会	月	27(13–2)	研究報告
田舎暮らしの実現を通じた農山村地域の活性化に向けて ~農のあるライフスタイル実現プロジェクト~	黄瀬邦子、轟大志、 松本瑠美、門倉壽	日本農業 普及学会	2008年12 月	27(13–2)	事例研究
座長解題 都市的地域における食の安全・安心に向けた普及の役割	<u> 雄、上辻久利</u> 桂明宏	<u>誌</u> 20年度夏	 2008年7月		シンポジュ
基調報告 食品安全確保の枠組みと普及指導員への期待	新山陽子	季研究会 20年度夏	2008年7月		ウム シンポジュ
		季研究会			ウム
報告1 「食の安心・安全から広がって環境保全対策へ」 〜農業者にできる 食の安全・環境保全・リサイクル〜	野木武	20年度夏 季研究会	2008年7月		シンポジュ ウム
報告2 ならコープの産直事業と食の安全・安心の取り組み	坂本仁	20年度夏 季研究会	2008年7月		シンポジュ ウム
報告3 JA・直売所における安全・安心確保の取組	根来実	20年度夏 季研究会	2008年7月		シンポジュ ウム
報告4 滋賀県における環境こだわり農業の取り組みについて ―普及が果たしてきた役割―	森野真	20年度夏 季研究会	2008年7月		シンポジュ ウム
	轟大志	20年度夏 季研究会	2008年7月		シンポジュ ウム
報告2 京都府南丹地域における「ふるさと帰農」にかかる普及の取り組み ―帰農候補者へのアンケート調査を中心に―	荒田匡	20年度夏 季研究会	2008年7月		研究発表
報告3「播磨ふるさとの料理」で育む地産地消	遠藤邦子	20年度夏 季研究会	2008年7月		研究発表
報告4 土地利用型農業への園芸振興プロジェクト	山内喜久雄	20年度夏 季研究会	2008年7月		研究発表
報告5 都市農業における普及指導計画樹立について ~埼玉県さいたま市 における事例:普及指導員調査研究より~	富樫正紀	子明九五 20年度夏 季研究会	2008年7月		研究発表
報告6 定年退職者学頭営農組合にみる集落営農の継続要因・法人化要因	有馬洋太郎	全明元五 20年度夏 季研究会	2008年7月		研究発表
(参考) 地球温暖化による農業への影響に関する普及活動	粕谷和夫	左射孔台 20年度夏 季研究会	2008年7月		研究発表
座長解題 普及事業におけるマーケティング支援活動のあり方	佐藤和憲	日本農業普及学会	2008年6月 2	26(13-1)	シンポジュ ウム
基調報告 農産物マーケティングにおける普及指導員の役割と支援方法	星野康人	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	シンポジュ ウム
第1報告 農産物の直売の取組について	小野塚清一	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	シンポジュ ウム
第2報告 JA富里市の多様な販売取組みについて	仲野隆三	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	シンポジュ ウム
第3報告 「米・麦・大豆も自分で売る時代」とか言われたらどうしよう	手嶋洋司	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	シンポジュ ウム
第4報告 「売れる」から「売る」に変化する農産物	西原昌男	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	シンポジュ ウム
座長解題・資料 普及事業におけるマーケティング支援活動のあり方	佐藤和憲	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	シンポジュ ウム
基調報告・資料 農産物マーケティングにおける普及指導員の役割と支援手 法	星野康人	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	シンポジュ ウム
法 報告1・資料 農産物の直売の取り組みについて	小野塚清一	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	シンポジュ ウム
報告2・資料 JA富里市の多様な販売取組について	仲野隆三	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	シンポジュ ウム
報告3・資料 「米・麦・大豆も自分で売る時代」とか言われたらどうしよう・・ ―勝山町から見えた農の道筋―	手嶋洋司	日本農業 普及学会	2008年6月 2	26(13-1)	
報告4・資料 「売れる」から「売る」に変化する農産物	西原昌男	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	
普及活動に対する農家の指導ニーズと普及指導員の認識の差異の分析 Cognition analysis of the difference of needs evaluation to extension	安江紘幸、門間敏幸	日本農業 普及学会	2008年6月 2	26(13-1)	
services between various farmer's and extension officers 中国における公的農業普及に対する民間組織による補完的な普及活動	 趙明、大原興太郎	誌 日本農業	2008年6月 2	26(13-1)	研究ノート
—中国江蘇省K市の専業技術協会の協同的・独立的性格—		普及学会			

広域営農体制に対する濃密活動(地域コーディネート活動による支援)	池田太、金田宏	日本農業	2008年6月	26 (13–1)	車例研究
		普及学会	2008年6月		
1. 高収益作物導入による地域農業の経営安定 ~技術改善が地域を活性 化させ、新規就農者が増加~	〇高橋義幸、五十嵐 順子、樫村敏広、高 橋邦男、柳山浩之	口本長未 普及学会 誌	2008年6月	20(13-1)	個別報告 要旨
2.「一球入魂かぼちゃ」の産地化に向けた取組み ―市場との連携によるブランド確立に向けた事例―	高谷護	日本農業 普及学会	2008年6月	26(13-1)	個別報告 要旨
3. 農業経営における作目転換行動メカニズムの解明 —担い手の高齢化に 伴う産地対応—	〇小笠原慎一、長谷 川淳、納口るり子	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	個別報告 要旨
4.集落営農組織のステップアップと普及活動 —集落営農組織意向調査結果から見えるもの—	〇森本秀樹、加藤雅 宣	日本農業普及学会	2008年6月	26(13-1)	個別報告 要旨
(未がうえた。) 1000	演野 宏治	日本農業 音及学会	2008年6月	26(13-1)	<u> </u>
高展主展末工産の八成立・建造ス版― 6. 中山間地域における地域農政の課題 ― 能登地区における地域農政と 普及の方向性―	栃本耕一	日本農業 音及学会	2008年6月	26(13-1)	<u> </u>
■及の万円は― 7. 丹後地域における集落活性化の手法について ―京丹後市M集落における事例―	古川玲子	日本農業 音及学会	2008年6月	26(13-1)	<u> </u>
る事の一 8. 小売り店舗における消費者の購買行動の特徴とPOPによる情報提示効果	梅本雅、山本淳子、 大浦裕二、清野誠喜	日本農業	2008年6月	26(13-1)	<u> </u>
不 9. 消費者購買行動実験からみる小売店舗型農産物直売所のマーケティン グ活動改善点 —アイカメラとプロトコルを併用した購買行動分析—	〇上田賢悦、梅本	日本農業 普及学会 誌	2008年6月	26(13-1)	<u>多自</u> 個別報告 要旨
10. 店頭マーケティング戦略の展開による産地育成 ―エダマメ新品種「あきた香り五葉」の商品開発を事例として―	〇上田賢悦、清野誠	田本農業 普及学会 誌	2008年6月	26(13-1)	個別報告 要旨
11. 岐阜県における農協営農指導員の資質向上方策	/月性、女 <u>住系兄</u> 関尾政典 	心 日本農業 普及学会	2008年6月	26(13-1)	個別報告 要旨
12. 公共視点と個別視点を統合した普及指導による産地育成の成功事例分析 —岩手県山形村の雨よけホウレンソウ産地の育成—	〇安江紘幸、門間敏 幸		2008年6月	26(13-1)	麦目 個別報告 要旨
13. 農業普及活動とコーチングに関する一考察 ―農業普及指導員のためのコーチングスキルの開発―	〇末永聡、伊藤裕	日及子云 日本農業 普及学会 誌	2008年6月	26(13-1)	安日 個別報告 要旨
「新たな価値を創造する農業の展開と普及活動」	麻田信二		2008年5月	第26号	基調講演
「新たな生産システムを生かした地域農業の再編」	市村健	北海道農	2008年5月	第26 号	研究報告
「若手パワーによる土地利用型地域農業の振興を支えて」	<u></u> 児玉淳	業普及学 北海道農 業普及学	2008年5月	第26号	研究報告
「畑からの定期便」・・・ハーベストガーデン福山の取組から	福山憲昭	未百 <u>及子</u> 北海道農 業普及学	2008年5月	第26号	研究報告
第一分科会「集落営農の推進・地域支援システムの取組支援」		未直及于 北海道農 業普及学	2008年5月	第26号	分科会報
「持続的発展可能な地域農業の確立」	水間敦文	未直及于 北海道農 業普及学	2008年5月	第26号	告 分科会報
「酪農法人「シンエイファーム」における運営初期の活動支援」	高倉弘一	未百 <u>及子</u> 北海道農 業普及学	2008年5月	第26号	告 分科会報
「労働支援地域体制の確立とシステム活用農家の経営安定に向けた普及活動」	江田美智江	北海道農	2008年5月	第26号	告 分科会報
<u>動」</u> 「協業経営型法人の育成支援と所得確保に向けた取組」	浅田洋平	業普及学 北海道農	2008年5月	第26号	告 分科会報
第二分科会「アグリビジネス(直売等)など地域での新たな取組支援」		業普及学 北海道農 業普及学	2008年5月	第26号	告 分科会報
「持続的畑作経営とC⇒Vプロジェクトの実践」	木俣栄	北海道農	2008年5月	第26号	告 分科会報
「上川における新規参入者の現状と定着化促進への提案」		業普及学 北海道農 業業及学	2008年5月	第26号	告 分科会報
「女性農業者グループの企業活動支援」	加賀屋綾子	業普及学 北海道農 業業及学	2008年5月	第26号	告 分科会報
第三分科会「安全な農畜産物生産の取組支援」		業普及学 北海道農 業業及学	2008年5月	第26号	告 分科会報
「美瑛町のトマト生産におけるクリーン農業の推進とトマトの導入支援」	田中良典	業普及学 北海道農	2008年5月	第26号	告 分科会報
「苫前町の野菜に対するクリーン農業の取組支援」	玉井雅浩	業普及学 北海道農	2008年5月	第26号	告 分科会報
「生産と消費の橋渡し〜YES!Clean を売り込もう」	吉田均	業普及学 北海道農 業普及学	2008年5月	第26号	<u>告</u> 分科会報 告
1. 高収益作物導入による地域農業の経営安定 ~技術改善が地域を活性 化させ、新規就農者が増加~	〇高橋義幸、五十嵐 順子、樫村敏広、高 橋邦男、柳山浩之		2008年2月		研究発表
2.「一球入魂かぼちゃ」の産地化に向けた取組み ―市場との連携によるブランド確立に向けた事例―	高谷護	19年度春 季研究会	2008年2月		研究発表
3. 農業経営における作目転換行動メカニズムの解明 ―担い手の高齢化に	1	19年度春	2008年2月		研究発表
伴う産地対応— 4. 集落営農組織のステップアップと普及活動 —集落営農組織意向調査結 果から見えるもの—	〇森本秀樹、加藤雅	季研究会 19年度春 季研究会	2008年2月		研究発表
5. モデル的集落営農型農業生産法人の育成 —県内初の株式会社の集落	亘 演野 宏治	19年度春	2008年2月		研究発表
営農型農業生産法人設立・運営支援— 6. 中山間地域における地域農政の課題 — 能登地区における地域農政と	栃本耕一	季研究会 19年度春 季码安全	2008年2月		研究発表
普及の方向性— 7. 丹後地域における集落活性化の手法について — 京丹後市M集落にお ける事例—	古川玲子	季研究会 19年度春 季研究会	2008年2月		研究発表
	J		J	A	

8. 小売り店舗における消費者の購買行動の特徴とPOPによる情報提示効	梅本雅、山本淳子、	19年度春	2008年2月		研究発表
果 9. 消費者購買行動実験からみる小売店舗型農産物直売所のマーケティン	大浦裕二、清野誠喜 〇上田賢悦、梅本	季研究会 19年度春	2008年2月		研究発表
グ活動改善点 ―アイカメラとプロトコルを併用した購買行動分析―	雅、大浦裕二、清野 誠喜	季研究会 資料			
10. 店頭マーケティング戦略の展開による産地育成 ―エダマメ新品種「あきた香り五葉」の商品開発を事例として―	〇上田賢悦、清野誠 喜、齋藤文信、佐藤	19年度春 季研究会	2008年2月		研究発表
11. 岐阜県における農協営農指導員の資質向上方策	清隆、谷屋繁克 関尾政典	資料 19年度春	2008年2月		研究発表
12. 公共視点と個別視点を統合した普及指導による産地育成の成功事例分	〇安江紘幸、門間敏	季研究会 19年度春	2008年2月		研究発表
析 ―岩手県山形村の雨よけホウレンソウ産地の育成― 13. 農業普及活動とコーチングに関する一考察 ―農業普及指導員のため	幸	季研究会 19年度春	2008年2月		研究発表
のコーチングスキルの開発—	樹、竹内洋夫、羽根 正憲、関戸章一	季研究会 資料	2000-27		可见远级
パレスチナ自治区に対する持続的農業技術確立のための普及システム強化 プロジェクト活動		北海道農業普及学	2008年1月	第25号	特別寄稿
地域ぐるみで変わる農業経営 ~北海道型集落営農へのアプローチ~		北海道農	2008年1月	第25号	研究報告
	秀幸、白石智行、斉藤義隆、辻恭子、江	業普及学 会誌			
鷹栖町における土地利用型地域農業の振興 ~若手パワーによる中山間事	森健司、菅原敏治 児玉淳、中島美千	北海道農	2008年1月	第25号	研究報告
業の展開~	代、小泉滋二、八田 洋、水上昭二、鴨下	業普及学 会誌			
酪農法人「シンエイファーム」における運営初期の活動支援	高倉弘一、杉江賢 二、中村亘、山上朝	北海道農 業普及学	2008年1月	第25号	研究報告
十勝川西長いもの高収益安定生産に向けた取り組み	伊与田まや、塔下裕 之、秋松祐子、渡辺	北海道農 業普及学	2008年1月	第25号	研究報告
北檜山地域へのブロッコリー導入に果たした普及センターの役割	公平、山腰孝志 岸田幸也、葛西伸行	会誌 北海道農	2008年1月	第25 号	事例研究
企業的経営体「デーリィー・ファーム若松」の育成支援	犬飼厚志、葛西伸行	業普及学 北海道農	2008年1月	-	事例研究
上川における新規参入者の現状と定着化促進への提案	八國序心、獨四序门 千川明子、辻英敏	業普及学 北海道農	2008年1月		研究ノート
普及センターにおける所内情報の共有化と所内体制	小林暢子	業普及学 北海道農	2008年1月		研究ノート
	小杯物子 田嶋規江	業普及学	2008年1月		
ドイツ・ザクセン州における農業概要について		北海道農業普及学			海外事情
ドイツでの農村における女性組織と農業経営で果たしている役割	赤池理恵	北海道農 業普及学	2008年1月		海外事情
「農業経営ステップアップ作戦」 	今岡久人	北海道農 業普及学	2008年1月		書評
夏季研究会(平成19年8月2~3日、金沢市) シンポジウム:水田農業の担い手に対する普及活動の高度化 —担い手が		日本農業 普及学会	2007年12 月	25(12-2)	シンポジュ ウム
求める普及活動とは	佐藤了	誌 日本農業	2007年12	25(12-2)	シンポジュ
る普及活動とは— 基調報告 水田事業者からみた普及指導員への期待 —農業改良普及事業	佛田利弘	普及学会 日本農業	月 2007年12	25(12-2)	ウム シンポジュ
は必要とされているのか— 第1報告 水田事業の担い手に対する普及活動の高度化に期待すること —	 所山正隆	普及学会 日本農業	月 2007年12	25(12-2)	ウム シンポジュ
担い手が求める普及活動とは 第2報告 永久の郷をめざして—オール兼業が取り上げた一集落一農場(集	白崎嘉一	普及学会 日本農業	月 2007年12	25(12-2)	ウム シンポジュ
落営農)— 第3報告 水田農業における集落営農の効果と次世代への展開 —ゴーイン	池田大	普及学会 日本農業	月	25(12-2)	ウム シンポジュ
グコンサーンの精神を 第4報告 石川県における水田農業の担い手育成の取り組み —担い手の	江藤秀明	普及学会 日本農業	月		ウム シンポジュ
経営発展に向けた普及活動— 座長解題・資料 水田事業の担い手に対する普及活動の高度化 —担い手	佐藤了	音及学会 日本農業	月	25(12-2)	ウム シンポジュ
が求める普及活動とは	佛田利弘	普及学会	月		ウム シンポジュ
基調報告・資料 水田事業者からみた普及指導員への期待 —農業改良普及事業は必要とされているのか—	1	日本農業普及学会	月	25(12-2)	ウム
総合討論		日本農業 普及学会	月	25(12-2)	シンポジュウム
報告1・資料 水田事業の担い手に対する普及活動の高度化に期待すること —担い手が求める普及活動とは—		日本農業 普及学会	月	25(12-2)	シンポジュ ウム
報告2·資料 永久の郷をめざして —オール兼業が取り上げた一集落一農場(集落営農)—	白崎嘉一	日本農業 普及学会	月		シンポジュ ウム
報告3・資料 水田農業における集落営農の効果と次世代への展開 —ゴーイングコンサーンの精神を	池田大	日本農業 普及学会	2007年12 月		シンポジュ ウム
報告4・資料 石川県における水田農業の担い手育成の取り組み ―担い手の経営発展に向けた普及活動―	江藤秀明	日本農業 普及学会		25(12-2)	シンポジュ ウム
1. 中山間地集落営農組織における戦略作目の導入・定着を目指した普及活動 ―農事組合法人ファーム院内岱への普及活動と今後の方向―	佐々木貴博	日本農業 普及学会	2007年12 月	25(12-2)	
<u> </u>	溝口真二	日本農業 普及学会	力 2007年12 月	25(12-2)	医自 個別報告 要旨
 「切える── 3. 超大規模経営体に対する組織的な重点普及活動 ──主穀作をメインに低コスト化と複合化を強力に支援── 	金田宏	百 <u>及子云</u> 日本農業 普及学会	力 2007年12 月	25(12-2)	
コスト化と複合化を強力に支援— 4. 地域の経営基盤継承を目指して —若狭町上中地区の事例から—	三宅政弘	日本農業	2007年12	25(12-2)	個別報 告
		普及学会	月		要旨

5. 農業生産法人等への経営発展支援手法の確立	渡辺喜芳	日本農業 普及学会	2007年12 月	25(12-2)	個別報告 要旨
6. 奥能登における担い手組織の育成支援について —条件不利での普及 の取組み—	丹崎勝雄	日本農業普及学会		25(12-2)	安日 個別報告 要旨
SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 ―戦略策定と顧客満足に関する普及活動の手法―	川口哲也	日本農業 普及学会	2007年12 月	25(12-2)	事例研究
谷桐足に関する自及活動の子法— 鈴木俊著「国際協力の農業普及—途上国の農業・農村開発普及入門—」	山崎正氣	日本農業 音及学会	力 2007年12 月	25(12-2)	書評
1. 中山間地集落営農組織における戦略作目の導入・定着を目指した普及活動。 関東の人は ファイル いっぱい のぎみばまし みんの マウ	佐々木貴博	19年度夏	2007年8		研究発表
<u>動 ―農事組合法人ファーム院内岱への普及活動と今後の方向―</u> 2. 関係機関による集落営農組織育成の取り組み ―対象:とよさと集落組織	溝口真二	季研究会 19年度夏	月 2007年8		研究発表
研究会— 3. 超大規模経営体に対する組織的な重点普及活動 —主穀作をメインに低	金田宏	季研究会 19年度夏	月 2007年8		研究発表
<u>コスト化と複合化を強力に支援—</u> 4. 地域の経営基盤継承を目指して —若狭町上中地区の事例から—	三宅政弘	季研究会 19年度夏	月 2007年8		研究発表
5. 農業生産法人等への経営発展支援手法の確立	<u> </u> 渡辺喜芳	季研究会 19年度夏	月 2007年8		研究発表
	丹崎勝雄	季研究会 19年度夏	月 2007年8		研究発表
<u>の取組み—</u> 春季大会(平成19年3月1~2日、東京)		季研究会 日本農業	月 2007年6月	24(12-1)	シンポジュ
シンポジウム:環境保全型農業の推進に向けた公的普及の役割		普及学会			ウム
座長解題 環境保全型農業の発展に向けて	西尾健	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
基調報告 日本における環境保全型農業推進の現状と課題 —普及現場活動の評価を踏まえて—	栗原眞	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
第1報告 人と農産物と琵琶湖のいい関係づくり	榎木秀和	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
第2報告 北海道におけるクリーン農業推進の普及活動	柳山浩之	日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
第3報告 コウノトリを育む稲作技術の確立と普及手法	西村いつき	日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
第4報告 地元産堆肥を活用したブレンド米産地づくりの取り組み	飯田幸彦	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
総合討論		日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
座長解題・資料 環境保全型農業の発展に向けて	西尾健	日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュウム
基調報告・資料 日本における環境保全型農業推進の現状と課題 ―普及 現場活動の評価を踏まえて―	栗原眞	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
- 祝物伯莉の計画と唱るなと 報告1・資料 人と農産物と琵琶湖のいい関係づくり	榎木秀和	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
報告2・資料 北海道におけるクリーン農業推進の普及活動	柳山浩之	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
報告3・資料 コウノトリを育む稲作技術の確立と普及手法	西村いつき	日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
報告4・資料 地元産堆肥を活用したブレンド米産地づくりの取り組み	飯田幸彦	日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
コメント・資料 環境保全型農業の役割	平井一男	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	シンポジュ ウム
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み —高収益型農業の振興 と持続的農業の推進—	〇山黒良寛、海田佳 宏、竹村和泰	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	個別研究 報告要旨
2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 —石川県河北潟 干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察—	大西良祐	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	個別研究 報告要旨
3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 —集落営農組織に対す る普及活動とその成果—	安武隼人	日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	
4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査 研究	〇金原節子、玉越千 賀子、福島麗香、野 村芳江	日本農業 普及学会 誌	2007年6月	24(12-1)	個別研究 報告要旨
5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から―	小林恭介	日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	個別研究 報告要旨
〒内から 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に 関する調査研究 —生物調査手法の検討と関係の連携から—	福本匡志	日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	
7. 環境保全型農業普及推進のための一考察	〇富田祥之亮、粕谷 和夫	日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	
8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価	〇久保田哲史、佐藤	日本農業	2007年6月	24(12-1)	個別研究
	健次、加藤直樹、中野洋、服部育男、小 荒井晃	普及学会 誌			報告要旨
9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセプトをター ゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築―		日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	個別研究 報告要旨
10. SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 —合意形成 と顧客満足に関する普及活動の手法—	〇川口哲也、末永広	日本農業普及学会	2007年6月	24(12-1)	
○ 展を何足に関する言及活動の子法— 11. 中国における民間組織主導の技術普及の可能性 —中国江蘇省句容 市のブドウ専業技術協会を中心に—	〇趙明、大原興太郎		2007年6月	24(12-1)	
□のフトラ母素技術協会を中心に―12. 農業者が普及事業に期待する支援 ―普及事業に対する農業者のニーズ調査結果の考察―	滝沢章	百 <u>及子云</u> 日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	個別研究
13. 普及サービスに対する農家の指導ニーズ ―個別性・公共性の視点か		日本農業	2007年6月	24(12-1)	
<u> </u>	幸	普及学会	<u> </u>	<u> </u>	報告要旨

Effect of Informal Credit Facilities on Women Farmer's Production in Iseyin Local Government Area, Oyo State, Nigeria	Sarafat A.TIJANI, A.E ADEKOYA, Izumi	_	2007年6月	24(12-1)	研究報告
森本秀樹著『新ここがポイント集落営農「つくるまで」と「つくってから」』	YANO 高橋明広	<u>誌</u> 日本農業 普及学会	2007年6月	24(12-1)	書評
「農政改革と北海道農業への期待」	生源寺眞一	北海道農業普及研	2007年5月	第24号	基調講演
「津別町有機酪農研究会への支援活動」	三宅陽	北海道農	2007年5月	第24号	研究報告
「南幌町における農業法人の現状と支援活動」	藤田雅久	業普及研 北海道農 業普及研	2007年5月	第24号	研究報告
「農業は出会いの種蒔き」	谷口保幸	未百及研 北海道農 業普及研	2007年5月	第24号	研究報告
第一分科会:「安全な農畜産物の生産・生産技術力の向上への支援活動」		北海道農業普及研	2007年5月	第24号	分科会報 告
「北根室のブロッコリー導入による畑作地域の活性化」	高橋勇人	北海道農	2007年5月	第24号	分科会報
「全国初、農業大学校における有機農業実践教育の構築」	荒木英晴	業普及研 北海道農 業普及研	2007年5月	第24号	告 分科会報 生
「道北に根ざした春まき小麦の初冬まき栽培技術」	渡部倫克	来自及切 北海道農 業普及研	2007年5月	第24 号	告 分科会報
「ミニトマト所得向上に向けての独自技術の導入」	堀野吉広	果實及研 北海道農 業普及研	2007年5月	第24 号	告 分科会報 生
第二分科会:「担い手・経営体の育成」		未自及功 北海道農 業普及研	2007年5月	第24号	告 分科会報
「和牛拡大で複合経営の充実」	海田佳宏	北海道農	2007年5月	第24号	告 分科会報
「コントラクタを受け持つ協業法人設立と委託農家支援について」	志鎌広勝	業普及研 北海道農	2007年5月	第24号	告 分科会報
「受託組織を核として地域農業の維持を目指す」	平山敦樹	業普及研 北海道農	2007年5月	第24号	分科会報
「知内型複合経営の強化と地域システム化」	北島潤	業普及研 北海道農	2007年5月	第24 号	行 分科会報
第三分科会:「消費者交流事業への支援活動」		業普及研 北海道農	2007年5月	第24号	分科会報
「農業への思いを手作り絵本に載せて」	榎田純子	業普及研 北海道農	2007年5月	第24号	告 分科会報
「直売活動を通じた地域振興のあり方」	田所由理恵	業晋及研 北海道農	2007年5月	第24号	分科会報
「酪農家によるグリーン・ツーリズムに対する支援方法の確立」	西川智子	業普及研 北海道農	2007年5月	第24号	告 分科会報
「YES!Cleanを通じた消費者交流」	芝木秀和	業普及研 北海道農 業華及研	2007年5月	第24号	告 分科会報
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み —高収益型農業の振興	〇山黒良寛、海田佳	北海道農 業普及研 18年度春	2007年5月	第24号	
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み —高収益型農業の振興 と持続的農業の推進— 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 —石川県河北潟		北海道農 業普及研 18年度春 季研究会 18年度春		第24号	分科会報 告
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み —高収益型農業の振興と持続的農業の推進— 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 —石川県河北潟 干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察— 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 —集落営農組織に対す	〇山黒良寛、海田佳 宏、竹村和泰	北海道農 業普及研 18年度春 季研究春 18年度会 18年度春	2007年3月	第24号	分科会報 告 研究発表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み —高収益型農業の振興と持続的農業の推進— 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 —石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察— 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 —集落営農組織に対する普及活動とその成果— 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査	〇山黒良寛、海田佳 宏、竹村和泰 大西良祐 安武隼人 〇金原節子、玉越千	北海道及 18年研度 18年研度 18年研度 18年研度 18年 18年	2007年3月	第24号	分科会報 告 研究発表 研究発表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み —高収益型農業の振興と持続的農業の推進— 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 —石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察— 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 —集落営農組織に対する普及活動とその成果— 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究	〇山黒良寛、海田佳 宏、竹村和泰 大西良祐 安武隼人 〇金原節子、玉越千 賀子、福島麗香、野 村芳江	北 第 18年研年研年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分科会報告研究発表研究発表研究発表研究発表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から―	〇山黒良寛、海田佳宏、竹村和泰 大西良祐 安武隼人 〇金原節子、玉越千賀子、福島麗香、野村芳江 小林恭介	北業18年研年研年研料年研道及度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分科会報研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から―	〇山黒良寛、海田佳 宏、竹村和泰 大西良祐 安武隼人 〇金原節子、玉越千 賀子、福島麗香、野 村芳江 小林恭介 福本匡志	北業18年研年研年研料年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分科会報研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察	〇山黒良寛、海田佳宏、竹村和泰大西良祐安武隼人〇金原節子、玉越千賀子、福島麗香、野村芳江小林恭介福本匡志	北業18季18季18季資18季18季18年研年研年研年研料年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研度究度究度究度究度完度完善基研春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分科会報研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から―	〇山黒良寛、海田佳宏、竹村和泰大西良祐安武隼人〇金原節子、玉越千賀子、福島麗香、野村芳江小林恭介福本匡志〇高田祥之亮、粕谷和夫〇久保田哲史、佐藤健次、加藤直樹、中	北業18季18季18季18季18季18季18季18年研年研年研料年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研度究度究度究度究度完度完度完善基研春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分科会報研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価	〇山黒良寛、海田佳宏、竹村和泰大西良祐安武隼人 〇金原福島麗香、野村芳江小林恭介 福本 国	北業18季18季18季18季18季18季18年研年研年研年研料年研年研年研年研年研年研年研年研年研年明年的中,18年18年,18年18年,18年18年,18年18年,18年18年,18年18年,18年18年	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分科会報研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価 9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセプトをターゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築―	〇山黒良寛、海田佳宏、竹村和泰大西良祐安武隼人〇金原福島麗香、野村芳江小林恭下江小林恭下下江,小林本区。一〇人保田哲史、佐、中野洋井県洋司、福山昭西、田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	北業18季18季18季18季18季18季18季18年研年研年研料年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研度究度究度究度究度完度完度完善基研春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分科会報研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表研究発表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価 9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセプトをターゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築― 10. SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 ―合意形成	○山黒良和泰 大西良祐 安 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	北業18季18季18季18季18季18季18季18年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研年研料年研年研年研界日度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度究度完度的一个发展,一个发展,一个发展,	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分告研究研究研究不分研究研究発表研究研究発表研究研究発表研究表表表表表
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価 9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセプトをターゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築― 10. SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 ―合意形成と顧客満足に関する普及活動の手法― 11. 中国における民間組織主導の技術普及の可能性 ―中国江蘇省句容	〇山黒良寛、海田佳宏、竹村和泰 大西良祐 安武隼人 〇金子、玉越野村大林恭介 福本 富夫 〇和人久次、服部育司、福山野神二、川口野神二、川口 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	北業18季18季18季81季81季18季18季818季818季818年研年研年研年研年研年研年研年研料,年研年研年通及度究度究度究度究。 度究度究度究度究度究度完度, 度究度究度, 度实度实度, 度实度实度, 度实度实度, 度实度实度, 度实度实度, 有会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春会春	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分告研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価 9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセプトをターゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築― 10. SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 ―合意形成と顧客満足に関する普及活動の手法― 11. 中国における民間組織主導の技術普及の可能性 ―中国江蘇省句容市のブドウ専業技術協会を中心に― 12. 農業者が普及事業に期待する支援 ―普及事業に対する農業者のニー	○山黒良和泰 一山黒良和泰 大西良祐 安武隼人 一会子、江東 一会子、江東 一会子、江東 一会子、江東 一会子、江東 一会子、江東 一会子、江東 一名一〇一人。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一一。 一名一〇一。 一名一〇一。 一名一〇一。 一名一〇一。 一名一〇一。 一名一〇一。 一名一〇一。 一名一〇一。 一〇一。	北業18季18季18季6月季18季18季6月季18季18季18年研年研年研年研年研年研年研年研料 年研年研年研年研年研年研年研年研年研年的人,1970年,1	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分告研研研研研研研研研研究
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価 9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセプトをターゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築― 10. SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 ―合意形成と顧客満足に関する普及活動の手法― 11. 中国における民間組織主導の技術普及の可能性 ―中国江蘇省句容市のブドウ専業技術協会を中心に―	〇山黒良寛、海田佳宏、竹村和泰 大西良祐 安武隼人 〇武隼人 〇武事人 一百十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	北業18季18季18季資18季18季18季18季資 18季18季38年研年研年研年研年研年研年研料 年研年研年研年研20度究度究度究度究 度究度究度究度究度究度完度完 度究度究度完度 人名英多奇 医多奇 医多奇 医多奇 医多奇 医多奇 医多奇 医多奇 医多奇 医多奇 医	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	第24号	分告研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価 9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセプトをターゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築― 10. SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 ―合意形成と顧客満足に関する普及活動の手法― 11. 中国における民間組織主導の技術普及の可能性 ―中国江蘇省句容市のブドウ専業技術協会を中心に― 12. 農業者が普及事業に期待する支援 ―普及事業に対する農業者のニーズ調査結果の考察― 13. 普及サービスに対する農家の指導ニーズ ―個別性・公共性の視点から― 夏季研究会(平成18年7月20~21日)シンポジウム:コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研究・教	○ 公 ○ 公 ○ 公 ○ 公 ○ 公 ○ 公 ○ 公 ○ 公	北業18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季1	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月		分告研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価 9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセプトをターゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築― 10. SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 ―合意形成と顧客満足に関する普及活動の手法― 11. 中国における民間組織主導の技術普及の可能性 ―中国江蘇省句容市のブドウ専業技術協会を中心に― 12. 農業者が普及事業に期待する支援 ―普及事業に対する農業者のニーズ調査結果の考察― 13. 普及サービスに対する農家の指導ニーズ ―個別性・公共性の視点から― 夏季研究会(平成18年7月20~21日)シンポジウム:コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研究・教育、ビジネス界との連携の視点から― 座長解題 コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研究・教育、ビジネス界との連携の視点から― 座長解題 コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研究・教育、ビジネス界との連携の視点から―	○山黒 快和 表	北業18季18季18季資18季18季18季18季資 18季18季18季18季日普誌日海普年研年研年研年研料年研年研年研料年研年研年研年研年研年列年研年研年研年的工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	23(11-2)	分告研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落営農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価 9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセブトをターゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築― 10. SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 ―合意形成と顧客満足に関する普及活動の手法― 11. 中国における民間組織主導の技術普及の可能性 ―中国江蘇省句容市のブドウ専業技術協会を中心に― 12. 農業者が普及事業に期待する支援 ―普及事業に対する農業者のニーズ調査結果の考察― 13. 普及サービスに対する農家の指導ニーズ ―個別性・公共性の視点から― 夏季研究会(平成18年7月20~21日)シンポジウム:コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研究・教育、ビジネス界との連携の視点から― 座長解題 コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研究・教育、ビジネス界との連携の視点から― 座長解題 コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研究・教育、ビジネス界との連携の視点から― 基調報告 コーディネート機能を活かした集落営農の育成 ―求められる心	○山黒 快和 表	北業18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季日普誌日普日海普年研年研年研年研料年研年研年研年研年研年研年研年研年研年对上本及本道及度究度究度究度究度究度究度究度究度究 度究度究度究度究度究度究度究度完度完度完度完	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	23(11-2) 23(11-2) 23(11-2)	分告研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研
1. 北海道小清水町における循環型農業の取組み ―高収益型農業の振興と持続的農業の推進― 2. 畑作干拓地における「新たな農業政策」への対応状況 ―石川県河北潟干拓地の特徴を踏まえた地域農業振興の一考察― 3. 多様な集落宮農組織における多彩な普及活動 ―集落営農組織に対する普及活動とその成果― 4. 若い女性農業者の経営参画条件整備と普及指導活動手法に関する調査研究 5. 離島における直売所活動とその評価 ―東京と新島の直売朝市活動の事例から― 6. 水田環境を中軸とした農村における生物多様性保全の評価基準設定に関する調査研究 ―生物調査手法の検討と関係の連携から― 7. 環境保全型農業普及推進のための一考察 8. 新技術による飼料イネ2回刈り栽培の現地実証と経済性評価 9. 「売れる米づくり」が売れるようになるシステム創り ―コンセブトをターゲットと一致させる他視点的な販売システムの構築― 10. SWOT分析とCS評価を活用した新たな普及活動の展開 ―合意形成と顧客満足に関する普及活動の手法― 11. 中国における民間組織主導の技術普及の可能性 ―中国江蘇省句容市のブドウ専業技術協会を中心に― 12. 農業者が普及事業に期待する支援 ―普及事業に対する農業者の二ズ調査結果の考察― 13. 普及サービスに対する農家の指導ニーズ ―個別性・公共性の視点から― 夏季研究会(平成18年7月20~21日)シンポジウム:コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研究・教育、ビジネス界との連携の視点から― 座長解題 コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研究・教育、ビジネス界との連携の視点から―	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	北業18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季18季1	2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月 2007年3月	23(11-2) 23(11-2) 23(11-2)	分告研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研研

第2報告 民間から見た普及活動高度化への提言	井出万仁	日本農業		シンポジュ
第3報告 試験研究機関から見た普及活動高度化の課題と方向 ―出前技	梅本雅	普及学会 日本農業	月 2006年12 23(11-2)	ウム シンポジュ
術指導制度を素材として— 第4報告 大学と普及組織の連携で普及活動の高度化	┃ ┃木村伸男	普及学会 日本農業	月 2006年12 23(11-2)	ウム シンポジュ
<u></u> 総合討論		普及学会 日本農業	月 2006年12 23(11-2)	ウム シンポジュ
座長解題・資料「コーディネート機能発揮による普及活動の高度化 ―研	 津谷好人	普及学会 日本農業	月 2006年12 23(11-2)	ウム シンポジュ
究・教育、ビジネス界との連携の視点から—」についての座長解題 基調報告・資料 コーディネート機能を活かした集落営農の育成 —求めら	森本秀樹	普及学会 日本農業	月 2006年12 23(11-2)	ウム シンポジュ
れる心の改革と普及の役割— 報告1・資料 日本一のいちご産地形成に向けた普及活動	植木一博	普及学会 日本農業	月 2006年12 23(11-2)	
報告2・資料 民間から見た普及活動高度化への提言	井出万仁	普及学会 日本農業 普及学会	月 2006年12 23(11-2) 月	ウム シンポジュ ウム
報告3・資料 試験研究機関から見た普及活動高度化の課題と方向 ―出前 技術指導制度を素材として―	ī 梅本雅	日本農業 一番及学会	2006年12 23(11-2) 月	
報告4・大学と普及活動の連携で普及活動の高度化	木村伸男	日本農業 普及学会		
『らくらく農業』で普及活動	井ノ口和人	日本農業 普及学会	2006年12 23(11-2) 月	
和牛子牛生産拡大の取り組み ―超早期母子分離飼養方式の普及―	荒井訓子	日本農業普及学会		
高原野菜産地へ夏秋イチゴ栽培の導入	下島秀昭	日本農業普及学会	., 2006年12 23(11-2) 月	
新潟県中越大震災からの営農復興に係わる普及指導活動	有坂通展	日本農業 普及学会	, 2006年12 23(11-2) 月	
耕畜連携によるトップブランドコシヒカリ産地の育成	飯田幸彦	日本農業普及学会	., 2006年12 23(11-2) 月	
青年農業者の経営者能力及び向上把握のための評価方法	児玉友孝	日本農業普及学会	., 2006年12 23(11-2) 月	
耕畜連携によるトップブランドコシヒカリ産地の育成	飯田幸彦	日本農業普及学会		
バングラデシュにおける小農への技術移転と国際協力	山崎正氣	日本農業普及学会	2006年12 23(11-2) 月	海外事情
宇根豊著「農の扉の開け方 自然環境は発見するもの」	福本匡史	日本農業普及学会	2006年12 23(11-2) 月	書評
『らくらく農業』で普及活動	井ノ口和人	18年度夏季研究会	2006年8 月	研究発表
和牛子牛生産拡大の取り組み ―超早期母子分離飼養方式の普及―	荒井訓子	18年度夏 季研究会	2006年8 月	研究発表
高原野菜産地へ夏秋イチゴ栽培の導入	下島秀昭	18年度夏 季研究会	2006年8 月	研究発表
新潟県中越大震災からの営農復興に係わる普及指導活動	有坂通展	18年度夏 季研究会	2006年8 月	研究発表
耕畜連携によるトップブランドコシヒカリ産地の育成	飯田幸彦	18年度夏 季研究会	2006年8 月	研究発表
青年農業者の経営者能力及び向上把握のための評価方法	児玉友孝	18年度夏季研究会	2006年8 月	研究発表
耕畜連携によるトップブランドコシヒカリ産地の育成	飯田幸彦	18年度夏 季研究会		研究発表
春季大会(平成18年3月2~3日、東京) シンポジウム:これからの公的農業普及事業の役割		日本農業 普及学会	2006年6月 22(11-1)	シンポジュ ウム
座長解題 これからの公的農業普及事業の役割	狩谷昭男	日本農業 普及学会	2006年6月 22(11-1)	
基調報告 これからの公的普及事業の役割についての試論 ―先進諸国の 地方分権・民営化の経験を見据えて―	稲本志良	日本農業 普及学会	2006年6月 22(11-1)	シンポジュ ウム
報告1 これからの公的普及事業の役割について	北村歩	日本農業 普及学会	2006年6月 22(11-1)	シンポジュ ウム
報告2 JAグループの営農指導と農業普及との役割分担	松岡公明	日本農業 普及学会	2006年6月 22(11-1)	シンポジュ ウム
報告3 これからの公的農業普及事業と民間企業	廣澤孝保	日本農業 普及学会	2006年6月 22(11-1)	シンポジュ ウム
報告4 これからの協同農業普及事業の展開について	渡辺和義	日本農業 普及学会	2006年6月 22(11-1)	
総合討論		日本農業普及学会	2006年6月 22(11-1)	
座長解題・資料 これからの公的農業普及事業の役割	狩谷昭男	日本農業 普及学会	2006年6月 22(11-1)	
基調報告・資料 これからの公的普及事業の役割についての試論 ―先進 諸国の地方分権・民営化の経験を見据えて―	稲本志良	日本農業普及学会	2006年6月 22(11-1)	
報告1・資料 これからの公的普及事業の役割について	北村歩	日本農業普及学会	2006年6月 22(11-1)	
報告2・資料 JAグループの営農指導と農業普及との役割分担	松岡公明	日本農業 普及学会	2006年6月 22(11-1)	
報告3・資料 これからの公的農業普及事業と民間企業	廣澤孝保	日本農業普及学会	2006年6月 22(11-1)	
報告4・資料 これからの協同農業普及事業の展開について	渡辺和義	日本農業普及学会	2006年6月 22(11-1)	

1. 地域資源管理主体としての集落営農の育成 —内発的なむらづくりをめ ざして—	〇澤本和徳、江藤秀 明	日本農業 普及学会	2006年6月	22(11-1)	個別研究 報告要旨
2. 管内の農業生産法人の現状と課題について —普及活動による法人化 支援の現状と課題—	森末民子、〇二宮 浩、宮崎勝	日本農業普及学会	2006年6月	22(11-1)	<u>税 日文 日</u> 個別研究 報告要旨
3.「博多万能ねぎ産地」の生き残り戦略の展開 —目標所得クラス分けと ワーキングによる効率的な課題解決手法—	高山賢治	日本農業 普及学会	2006年6月	22(11-1)	<u>税 日文 日</u> 個別研究 報告要旨
4. 水稲のYES!Clean栽培高度化と有利販売に向けた取組み	〇山本正浩、柳山浩	日本農業普及学会	2006年6月	22(11-1)	超別研究 報告要旨
5. 有益な水田農業を推進する集落営農の構築と普及活動支援活動 —集 落営農の運営過程における課題と改善に向けた普及支援活動—	之 三浦扶	日本農業 普及学会	2006年6月	22(11-1)	超月安日 個別研究 報告要旨
宿台展の建台地程にありる旅屋と映画に同りた画及文版店場― 6. 環境創造型農業と普及の役割 ―コウノトリと共存する地域づくりを目指して―	西村いつき	日本農業普及学会	2006年6月	22(11-1)	報日安日 個別研究 報告要旨
<u> </u>	真鍋源次郎、〇古市 清	日本農業普及学会	2006年6月	22(11-1)	報日 女日 個別研究 報告要旨
8. 土着天敵を活用したIPM概念の普及活動 —長野県木島平村での「有機の里づくり」に関わって—	福本匡志	日本農業普及学会	2006年6月	22(11-1)	松日文月 個別研究 報告要旨
りまってリースのションである。 9. 環境にやさしいナス産地作りの普及活動における生産者の意識変化の検 証	〇富田祥之亮、粕谷 和夫、和田敬	日本農業普及学会	2006年6月	22(11-1)	松日文月 個別研究 報告要旨
	山本昌弘	日本農業普及学会	2006年6月	22(11-1)	超月 個別研究 報告要旨
11. 農業事業体への「就農」 ―デンマークとフランスの事例を参考に―	〇納口るり子、里見 洋司、大友愼次、吉 岡秀美	日本農業 普及学会 誌	2006年6月	22(11-1)	超月茶日 個別研究 報告要旨
12. 新規参入者増加に向けての提案	里見洋司	心 日本農業 普及学会	2006年6月	22(11-1)	個別研究 報告要旨
13. 地域農業のマーケティング戦略の展開による農業者の育成 ―農業が	手嶋洋司	百及子云 日本農業 普及学会	2006年6月	22(11-1)	個別研究
	末永聡	日本農業	2006年6月	22(11-1)	報告要旨 個別研究
点から— 15. コーディネート活動の評価と普及計画のあり方 —求められる地域農業	森本秀樹	普及学会 日本農業 普及学会	2006年6月	22(11-1)	報告要旨 個別研究 報告要旨
のコーディネート機能— 16. 岩手らしい農村ライフスタイル構築支援のための普及活動手法の研究	- ○横島イチ子、○大 竹幾子	<u>国 </u>	2006年6月	22(11-1)	
17. 日本の農業普及経験の開発協力への活用 —国内の普及関係者に向けられた期待—	太田美帆	日本農業 日本農業 普及学会	2006年6月	22(11-1)	
<u> </u>	宇佐見晃一、モハマッド ジアウール	日本農業 普及学会	2006年6月	22(11-1)	
きまた。 農業における普及職員の橋渡し的役割に研究 —知識通訳の視点から—	末永聡	日本農業 音及学会	2006年6月	22(11-1)	研究報告
普及活動の評価の現状と課題	谷口敏彦	日本農業	2006年6月	22(11-1)	研究ノート
		善及学会			
「新農業基本計画下における普及組織、関係機関の役割	 狩谷昭男 	普及学会 北海道農 業等及研	2006年4月	第22号	基調講演
「新農業基本計画下における普及組織、関係機関の役割 「試験・普及の連携による技術力の発揮」	 狩谷昭男 大塚秀一	北海道農 業普及研 北海道農	2006年4月		基調講演研究報告
		北海道農 業普及研 北海道農 業普及研 北海道農		第22号	
「試験・普及の連携による技術力の発揮」	犬塚秀一	北海道農 業治道農 北海道農 北海道農 北海道農 北海道農	2006年4月	第22号	研究報告
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」	犬塚秀一 佐久間良博	北海普及道農 北海普及道及 北普海及道及 北普及道及 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	2006年4月	第22号	研究報告 研究報告 研究報告 分科会報
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」	犬塚秀一 佐久間良博	北業北業北業北業北美北美北美田選及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及通過機研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農研農	2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号	研究報告 研究報告 研究報告 分科会報 分科会報
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭	北業北業北業北業北業北美北美北美北美田普海普海普海普海普海普海普及道及道及道及道及道及道及道及道人道人,以北美田、北美田、北美田、北美田、北美田、北美田、北美田、北美田、北美田、北美田、	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号	研究報告 研究報告 研究報告 分科会報 分科会報 分科会報
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平	北業北業北業北業北業北業北	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研究報告 研究報告 研究報告 分科会報 分科会報 分科会報
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一	北業北業北業北業北業北業北業北業北	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研究報告 研究報告 研究報告 分科会報 分科会報 分科会報 分科会報
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一	北業北業北業北業北業北業北業北業北	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研究報告 研究報告 研究報告 分告 分告 分告 分告 分告 分告 分告 分告 分告 分告 分告
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一 藤田寿雄	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北大業北海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海道及道及道及道及	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研究報告 研究報告 研究報告 分告分告分告分告分告分告分告分告 分告分告分告 分告分告分告 分告 分告 分量 分量 公司 公司 公司 公司 公司 公司 公司
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」 「青年のアイデアと産・学・官協働によるながいもビールの開発」 「十勝管内で起きた農作業事故の解析と改善方向」 「大樹の産業クラスターの取組 ~一次産業間連携による地域振興(ホエー	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一 藤田寿雄 浦部みむね	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北大業北海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海道及道及道及道及道及道及道及道	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研 研 分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」 「青年のアイデアと産・学・官協働によるながいもビールの開発」 「十勝管内で起きた農作業事故の解析と改善方向」	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一 藤田寿雄 浦部みむね 小川小百合	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北海普海普海普海普海普海普海普海	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研 研 分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」 「青年のアイデアと産・学・官協働によるながいもビールの開発」 「十勝管内で起きた農作業事故の解析と改善方向」 「大樹の産業クラスターの取組 ~一次産業間連携による地域振興(ホエー豚など)~」	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一 藤田寿雄 浦部みむね 小川小百合	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北大業北海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海道及道及道及道及道及道及道	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研 研 分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」 「青年のアイデアと産・学・官協働によるながいもビールの開発」 「十勝管内で起きた農作業事故の解析と改善方向」 「大樹の産業クラスターの取組 ~一次産業間連携による地域振興(ホエー豚など)~」 第三分科会:「地域活性化のための組織づくり、クリーン農業」	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一 藤田寿雄 浦部みむね 小川小百合 山岸真	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北大業北海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海道及道及道及道及道及道	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研 研 分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」 「青年のアイデアと産・学・官協働によるながいもピールの開発」 「十勝管内で起きた農作業事故の解析と改善方向」 「大樹の産業クラスターの取組 ~一次産業間連携による地域振興(ホエー豚など)~」 第三分科会:「地域活性化のための組織づくり、クリーン農業」 「愛別町における農業生産法人設立・支援に対する普及活動」	犬塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一 藤田寿雄 浦部みむね 小川小百合 山岸真 井村直樹	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業海普海普海普海普海普	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研 研 分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」 「青年のアイデアと産・学・官協働によるながいもビールの開発」 「十勝管内で起きた農作業事故の解析と改善方向」 「大樹の産業クラスターの取組 ~一次産業間連携による地域振興(ホエー豚など)~」 第三分科会:「地域活性化のための組織づくり、クリーン農業」 「愛別町における農業生産法人設立・支援に対する普及活動」 「地域を支える経営体と組織の育成」 「上湧別町におけるたまねぎを主体とした輪作体系と環境に調和した栽培法の確立」 1. 地域資源管理主体としての集落営農の育成 —内発的なむらづくりをめ	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一 藤田寿雄 浦部みむね 小川小百合 山岸真 井村直樹 高木修一 真鍋照彦	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北東17海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普角普角普角普角普角普角普角	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研 研 分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」 「青年のアイデアと産・学・官協働によるながいもビールの開発」 「十勝管内で起きた農作業事故の解析と改善方向」 「大樹の産業クラスターの取組 ~一次産業間連携による地域振興(ホエー豚など)~」 第三分科会:「地域活性化のための組織づくり、クリーン農業」 「愛別町における農業生産法人設立・支援に対する普及活動」 「地域を支える経営体と組織の育成」 「上湧別町におけるたまねぎを主体とした輪作体系と環境に調和した栽培法の確立」 1. 地域資源管理主体としての集落営農の育成 一内発的なむらづくりをめさして一 2. 管内の農業生産法人の現状と課題について 一普及活動による法人化	犬塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳 雄 浦部みむね 小川岸真 井村直樹 高木照彦 の環本中、〇二宮	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業17季17海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普年研年道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研 研 分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」 「青年のアイデアと産・学・官協働によるながいもビールの開発」 「十勝管内で起きた農作業事故の解析と改善方向」 「大樹の産業クラスターの取組 ~一次産業間連携による地域振興(ホエー豚など)~」 第三分科会:「地域活性化のための組織づくり、クリーン農業」 「愛別町における農業生産法人設立・支援に対する普及活動」 「地域を支える経営体と組織の育成」 「上湧別町におけるたまねぎを主体とした輪作体系と環境に調和した栽培法の確立」 1. 地域資源管理主体としての集落営農の育成 一内発的なむらづくりをめざして一 2. 管内の農業生産法人の現状と課題について 一普及活動による法人化支援の現状と課題 3. 「博多万能ねぎ産地」の生き残り戦略の展開 一目標所得クラス分けと	大塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸平 長井淳一藤田寿雄 浦部みむね 小川小百合 山岸真 井村直樹 高木修一 真鍋照彦 〇澤本和徳、江藤秀	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業17季17季17海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普年研年研年道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道及道	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研 研 分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告研究 究 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 条 会 会 会 会 会
「試験・普及の連携による技術力の発揮」 「産・学・官の連携による江別小麦めんの開発、そして・・・」 「酪農地域活性化のための生産構造の改善」 第一分科会:「農試と普及の連携による総合技術力の発揮」 「転作地帯における小麦増収に対する関係機関との連携事例の比較」 「サイレージの圧縮係数把握による望ましい作業体系の検討」 「土壌還元消毒法普及の現状と課題」 第二分科会:「産・学・官の連携による総合技術力の発揮」 「青年のアイデアと産・学・官協働によるながいもビールの開発」 「十勝管内で起きた農作業事故の解析と改善方向」 「大樹の産業クラスターの取組 ~一次産業間連携による地域振興(ホエー豚など)~」 第三分科会:「地域活性化のための組織づくり、クリーン農業」 「愛別町における農業生産法人設立・支援に対する普及活動」 「地域を支える経営体と組織の育成」 「上湧別町におけるたまねぎを主体とした輪作体系と環境に調和した栽培法の確立」 1. 地域資源管理主体としての集落営農の育成 一内発的なむらづくりをめざして一 2. 管内の農業生産法人の現状と課題について 一普及活動による法人化支援の現状と課題—	犬塚秀一 佐久間良博 戸叶吉昭 渋谷幸戸 藤田寿雄 浦部小川岸真 井村 高 八四十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業北業17季17季海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普海普西普西普西普西普西普西普西普西	2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月	第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号 第22号	研 研 分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告分告研 研究 究 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 科 名 会 会 会 会

5. 有益な水田農業を推進する集落営農の構築と普及活動支援活動 —集 落営農の運営過程における課題と改善に向けた普及支援活動—	三浦扶	17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
6. 環境創造型農業と普及の役割 —コウノトリと共存する地域づくりを目指して—	西村いつき	17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
	真鍋源次郎、〇古市 清	17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
	福本匡志	17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
9. 環境にやさしいナス産地作りの普及活動における生産者の意識変化の検証	〇富田祥之亮、粕谷 和夫、和田敬	<u> </u>	2006年3月		研究発表
… 10. 農業志向非農家出身者の農業就業ニーズと新規参入支援政策の課題 ―鯉淵学園を事例として—	山本昌弘	7 明九五 17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
	〇納口るり子、里見 洋司、大友愼次、吉	17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
12. 新規参入者増加に向けての提案	岡秀美 里見洋司	<u>資料</u> 17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
13. 地域農業のマーケティング戦略の展開による農業者の育成 ―農業が産業として成り立っていくために! ―	手嶋洋司	17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
度条として成り立っていてためた: — 14. 農業における普及職員の橋渡し的役割に関する研究 —知識通訳の視点から—	末永聡	字研先云 17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
15. コーディネート活動の評価と普及計画のあり方 ―求められる地域農業 のコーディネート機能―	森本秀樹	17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
16. 岩手らしい農村ライフスタイル構築支援のための普及活動手法の研究	〇横島イチ子、〇大 竹幾子	7.7.7.7.1 17年度春 季研究会	2006年3月		研究発表
17. 日本の農業普及経験の開発協力への活用 —国内の普及関係者に向けられた期待—	太田美帆	<u> </u>	2006年3月		研究発表
会長就任にあたって	黒澤不二男	北海道農 業普及研	2006年1月	第21号	巻頭言
エルサルバドルに根付いた普及システム ~国際協力機構(JICA)支援プロジェクトから~	多賀辰義	北海道農業普及研	2006年1月	第21号	研究報告
ンエントがいっ 米づくり、花づくりで魅力ある集落づくり ~新たな水田農業を目指して取り組 んだ普及活動事例~	佐藤千代志	北海道農 業普及研	2006年1月	第21号	研究報告
<u>ルル自然信刻学の</u> モデル農家への集約放牧導入事例	鬼頭邦典	北海道農業普及研	2006年1月	第21号	事例研究
ふらの農業の未来を創る青年組織の設立		北海道農 業普及研	2006年1月	第21号	事例研究
地域の営農指導強化に向けた関係機関研修のあり方	一、鈴木聡子、及川 樫田千代司	究 北海道農 業普及研	2006年1月	第21号	事例研究
災害対応における情報の共有化	大竹口嘉教	北海道農 業普及研	2006年1月	第21号	研究ノート
大規模畑作経営における休閑緑肥の活用条件	平石学	北海道農 業普及研	2006年1月	第21号	研究ノート
オランダ、デンマークの施設園芸(花き、野菜)におけるIPMと循環型施設の 導入	成松靖	北海道農業普及研	2006年1月	第21号	海外事情
中国における対日輸出農産物の現状と安全性への取り組み	若宮貞人	北海道農 業普及研	2006年1月	第21号	海外事情
イギリス・フランス農業、見て・感じて	木島正利、和田由紀 夫	北海道農 業普及研	2006年1月	第21号	海外事情
黒瀧秀久著「日本林業と森林環境問題」	根津基和	北海道農 業普及研	2006年1月	第21号	書評
夏季研究会(平成17年10月13~14日) シンポジウム:中山間地域の特徴を活かした高付加価値農業づくり ―普及		日本農業 普及学会	2005年12 月	21(10-2)	シンポジュ ウム
の戦略形成と活動手法— 座長論点解題	中川聰七郎	誌 日本農業		21(10-2)	シンポジュ
基調報告:中山間地域の特徴を活かした高付加価値農業づくり	 目瀬守男	普及学会 日本農業	The state of the s	21(10-2)	ウム シンポジュ
報告1 女性の夢を実現した「からり」	野田文子	普及学会 日本農業		21(10-2)	ウム シンポジュ
報告2 脇役が主役! 女性が…高齢者が…添え物が…	花本靖	普及学会 日本農業		21(10-2)	ウム シンポジュ
報告3 れいほく八〇(ハチマル)構想の推進!!	長野進	普及学会 日本農業		21(10-2)	ウム シンポジュ
報告4 しまなみの地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムの推進	赤尾道子	普及学会 日本農業 普及学会	月 2005年12 月	21(10-2)	ウム シンポジュ ウム
総合討論		日本農業普及学会	2005年12	21(10-2)	シンポジュ ウム
座長論点解題 中山間地域の特徴を活かした高付加価値農業づくり ―普 及の戦略形成と活動手法―	中川聰七郎	百及子云 日本農業 普及学会	月 2005年12 月	21(10-2)	シンポジュ ウム
及の戦略が及る活動子法— 基調報告 中山間地域の特徴を活かした高付加価値農業づくり	 目瀬守男	百及子云 日本農業 普及学会		21(10-2)	シンポジュ ウム
資料1 女性の夢を実現した「からり」	野田文子	百及子云 日本農業 普及学会	2005年12	21(10-2)	シンポジュ
資料2 脇役が主役! 女性が…高齢者が…添え物が…	 花本靖	日本農業		21(10-2)	ウム シンポジュ ウム
資料3 れいほく八〇(ハチマル)構想の推進!!	長野進	普及学会 日本農業 ※及学会		21(10-2)	ウム シンポジュ ウム
資料4 しまなみの地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムの推進	赤尾道子	普及学会 日本農業 普及学会	-	21 (10-2)	ウム シンポジュ ウム
	I	L且以子云	<u> 月</u>	L	ウム

報告論文 中山間地域農業の活性化に向けた取り組みについて	菅原誠	日本農業	2005年12	21 (10-2)	シンポジュ
報告論文 中山間地域における軟弱野菜(溶液栽培)の産地化	山本晃二	普及学会 日本農業	月	21(10-2)	ウムシンポジュ
		普及学会	月		ウム シンポジュ
報告論文 ナギナタガヤを利用した人と環境に優しい柑橘栽培	菊池泰志	日本農業 普及学会	月	21(10-2)	ウム
報告論文 CS(顧客満足)評価を活用した普及活動の展開について	川口進	日本農業 普及学会	月 .	21(10-2)	シンポジュ ウム
報告論文 集落営農法人の育成と集落営農の推進	峯下久美	日本農業 普及学会	2005年12 月	21(10–2)	シンポジュ ウム
報告論文 地域の実情に応じた集落営農の育成と法人化への支援	片桐弘樹	日本農業 普及学会	2005年12 月	21(10-2)	シンポジュ ウム
青年新規就農者の情報収集活動に関する考察	酒井貞明·森井良 三·九石裕	日本農業 普及学会		21(10–2)	研究報告
インドネシア農業青年の日本研修と帰国後の営農改善	<u>一一 </u>	日本農業普及学会		21(10-2)	海外事情• 情報
世界における農業普及の動向	藤田康樹	日本農業普及学会		21(10-2)	
大日本農会叢書「農業教育の再構築を目指して」	安藤義道	日本農業	2005年12	21(10-2)	
春季大会(平成17年3月3~4日、東京)		普及学会 日本農業	月 2005年6月	20(10-1)	
シンポジウム:中山間地域の特徴を活かした高付加価値農業づくり ―普及の戦略形成と活動手法―		普及学会 誌			ウム
座長解題:日本農業普及学会に期待する ~これからの普及研究と学会活 動の在り方を中心に~	稲本志良	日本農業 普及学会	2005年6月	20(10–1)	シンポジュ ウム
報告1 普及現場あるいは県農政、県としての立場から普及学会に期待する	石原純	日本農業 普及学会	2005年6月	20(10-1)	シンポジュ ウム
こと 報告2 農業者との信頼関係を築くための普及手法の確立 —普及現場にお ける課題と普及学会に期待するもの—	真山育雄	日本農業普及学会	2005年6月	20(10-1)	シンポジュウム
報告3 農業普及の機能・内容・方法に関する一考察および日本農業普及学	福田浩一	日本農業	2005年6月	20(10-1)	シンポジュ
会への期待 報告4 これからの普及研究のあり方について —農業経営研究者の立場か	木村伸男	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	ウム シンポジュ
<u>ら一</u> 報告5 農業・農村普及活動の事業範囲と方法ー試論 —今後の普及研究	永木正和	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	ウム シンポジュ
展望— 総合討論		普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	
<u>資料1 「日本農業普及学会に期待する —これからの普及研究と学会活動</u>	稲本志良	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	ウム シンポジュ
のあり方を中心に―」 資料2 普及現場あるいは県農政、県としての立場から普及学会に期待する	石原純	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10–1)	ウム シンポジュ
こと 資料3 農業者との信頼関係を築くための普及手法の確立 ―普及現場にお	真山育雄	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	ウム シンポジュ
ける課題と普及学会に期待するもの— 資料4 農業普及の機能・内容・方法に関する一考察および日本農業普及学	福田浩一	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	ウム シンポジュ
会への期待 資料5 これからの普及研究のあり方について —農業経営者の立場から—	木村伸男	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	ウム シンポジュ
資料6 農業・農村普及活動の事業範囲と方法 ―試論:今後の普及研究展	永木正和	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	ウム シンポジュ
望— 1. 有益な水田農業を推進する集落営農の構築と普及指導活動 —集落営 ##### の る まし	三浦扶	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	ウム 個別研究
農組織の育成と普及指導活動の支援内容— 2. ウンシュウミカン作における新技術導入と商品化 —マーチャンダイズ企	佐々木茂明	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	
画に基づく経営体育成— 3. りんごの減農薬栽培技術の再構築に向けて —フェロモン防除の効果の	〇西沢滝太、根田裕	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	
確認—	子、倉石和典、堀道 広、日台修好、竹村	普及学会 誌			報告要旨
	広吉、升田明子 竹内洋夫	日本農業	2005年6月	20(10-1)	個別研究
5. 野菜流通の変化に対応した普及活動について	 由岡晃	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	報告要旨 個別研究
6. 秋田県産枝豆の店頭マーケティング ―購買行動実験による検討―	 	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10–1)	報告要旨 個別研究
or Manual Variable And Andrews	喜、大浦裕二、河野恵伸	普及学会 誌			報告要旨
7. モニタリングに基づくカウコンフォート改善指導 ―勝英普及センターにおける指導経過―	真鍋現次郎、〇佐藤 和久	日本農業普及学会	2005年6月	20(10-1)	個別研究 報告要旨
8. PETRRA種もみ保存・改善プロジェクト ―農民の生計に与えるインパク	OM. Zulfikar Rah	日本農業	2005年6月	20(10-1)	個別研究
トについて― 9. 農業後継者の主体形成をめざした師弟恊働ー実践学習の取り組み ―	man and M. Yama 野村卓	日本農業	2005年6月	20(10-1)	
展開型農業大学校の事例から— 10. 農業大学校改革の成果と今後の課題	里見洋司	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	
	加藤成一	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10–1)	報告要旨 個別研究
<u>の動向—</u> 12. 農外から嫁いで新たに経営参画する農村女性を支援する普及活動 —	河合勝、〇笠原亮	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	報告要旨 個別研究
<u>芽室町畑作レディースセミナーの取り組みから―</u> 13. 経営管理支援データベースの活用について	平、松井克行、渡辺 中森忠義、梅原彰、	普及学会 日本農業	2005年6月	20(10-1)	
新技術の導入過程における先駆的導入者の情報収集行動 ―水稲ロング	粕谷和夫 松本浩一·山本淳	普及学会 日本農業	2005年6月		報告要旨
マット水耕苗の育苗・移植技術を対象にして―	子•関野幸二	普及学会		,	

Resource Poor Farmer's Problem Confrontation in Using Manuretowards IPNS:an empirical study from Bangladesh	M. Zulfikar Rahm an, M. Yamao an	日本農業 普及学会	2005年6月	20(10-1)	研究報告
農業改良普及活動における農業構造政策の推進に関する事例検証	d M. S. Hossain 有馬喜代史	誌 日本農業 普及学会	2005年6月	20(10-1)	事例研究
宇野善康「イノベーションの開発・普及過程 —コミュニケーション科学による 統合的解明—」 上・下巻	藤田康樹	日本農業 日本農業 普及学会	2005年6月	20(10-1)	書評
「地域・農業者の個性を生かした北海道農業の展開と普及の役割」	太田原高昭	北海道農業普及研	2005年5月	第20 号	基調講
江別市における学生参加型街おこし運動	工藤英一	北海道農業普及研	2005年5月	第20号	研究報告
畑作の低収改善対策に関する関係機関の連携活動(第二報)	伊藤登	北海道農業普及研	2005年5月	第20号	研究報告
集落振興計画を活用した普及活動の展開方法	斉藤英治	北海道農業普及研	2005年5月	第20号	研究報告
本道農業育成の活性化を目指して	中村維興	北海道農業普及研	2005年5月	第20号	分科会報
市民と異業種との交流をとおした八剣山周辺の地域づくり	中村照子、杉浦輝陽	北海道農業普及研	2005年5月	第20号	分科会報 告
秋まき小麦の高品質生産技術の確立と普及	高松聡、木戸好文	北海道農業普及研	2005年5月	第20 号	分科会報 告
熱水を利用したハウスクリーン作戦	山黒良寛	北海道農業普及研	2005年5月	第20号	分科会報
農業継承と発展に向けた家族経営協定の推進の条件整備	成田輝久	北海道農業普及研	2005年5月	第20号	告 分科会報 告
「思いをひとつ」にした小麦増収への取り組み	川口康弘	北海道農業普及研	2005年5月	第20号	告 分科会報 告
ゆとりあるトマト団地の育成	高橋恒久、植松徹、 小林有紀重、高橋智 浩、吉田恵理	北海道農業普及研究	2005年5月	第20号	告 分科会報 告
1. 有益な水田農業を推進する集落営農の構築と普及指導活動 —集落営 農組織の育成と普及指導活動の支援内容—	三浦扶	16年度春季研究会	2005年3月		研究発表
2. ウンシュウミカン作における新技術導入と商品化 ―マーチャンダイズ企 画に基づく経営体育成―	佐々木茂明	16年度春季研究会	2005年3月		研究発表
3. りんごの減農薬栽培技術の再構築に向けて ―フェロモン防除の効果の確認―	〇西沢滝太、根田裕 子、倉石和典、堀道 広、日台修好、竹村	16年度春 季研究会 資料	2005年3月		研究発表
4. エコ農業の定着をめざした普及活動	広吉、升田明子 竹内洋夫	16年度春 季研究会	2005年3月		研究発表
5. 野菜流通の変化に対応した普及活動について	由岡晃	16年度春 季研究会	2005年3月		研究発表
6. 秋田県産枝豆の店頭マーケティング ―購買行動実験による検討―	〇上田賢悦、清野誠 喜、大浦裕二、河野 恵伸	<u> </u>	2005年3月		研究発表
7. モニタリングに基づくカウコンフォート改善指導 ―勝英普及センターにおける指導経過―	真鍋現次郎、〇佐藤 和久	16年度春 季研究会	2005年3月		研究発表
8. PETRRA種もみ保存・改善プロジェクト ―農民の生計に与えるインパクトについて―	OM. Zulfikar Rah man and M. Yama	16年度春 季研究会	2005年3月		研究発表
9. 農業後継者の主体形成をめざした師弟協働-実践学習の取り組み — 展開型農業大学校の事例から—	野村卓	16年度春 季研究会	2005年3月		研究発表
10. 農業大学校改革の成果と今後の課題	里見洋司	16年度春 季研究会	2005年3月		研究発表
11. 非農家新規参入者への技術移転 —千葉県農業大学校における研修 の動向—	加藤成一	16年度春 季研究会	2005年3月		研究発表
12. 農外から嫁いで新たに経営参画する農村女性を支援する普及活動 — 芽室町畑作レディースセミナーの取り組みから—	河合勝、〇笠原亮 平、松井克行、渡辺	16年度春 季研究会	2005年3月		研究発表
13. 経営管理支援データベースの活用について	中森忠義、梅原彰、	16年度春 季研究会	2005年3月		研究発表
集落振興計画を活用した普及活動の展開方法 ~地域課題「環境及び地域 産業と調和した酪農経営の確立」を事例として~	斉藤英治、横山優	北海道農業普及研	2005年1月	第19号	研究報告
畑地の低収改善に関する関係機関の連携活動(第二報)	伊藤登	北海道農業普及研	2005年1月	第19号	事例研究
夏秋切りデルフィニウムの産地育成	入沢祐司、藤田寿雄	北海道農業普及研	2005年1月	第19号	事例研究
起業活動による新たな経営参画支援	増子優子	北海道農業普及研	2005年1月	第19号	事例研究
情報が普及の力を増幅する	黒澤健治	北海道農業普及研	2005年1月	第19号	研究ノート
物流ABC分析を活用した野菜産地発展への提言	白井康裕、松澤光 弘、松谷智美	北海道農業普及研	2005年1月	第19号	研究ノート
輸入農産物に対抗するアメリカ農業の現状と普及事業の実情及び将来展望	弘、松台首美 渡辺和重 	北海道農業普及研	2005年1月	第19号	海外事情
ドイツ・フランスにおける農業経営の複線化及び食農教育	松田聖子	未百 <u>及</u> 研 北海道農 業普及研	2005年1月	第19号	海外事情
ヨーロッパ農業レポート ~イタリア・スイス・フランス・オランダ~	須田耕、榎田純子	耒	2005年1月	第19号	海外事情
木村伸男著「現代農業経営の成長理論」	志賀永一	耒 百 及 研	2005年1月	第19号	書評
夏季研究大会(平成16年7月29日・30日 兵庫) シンポジウム:地域農業のコーディネート機能と普及手法		日本農業普及学会	2004年12 月	19(9-2)	シンポジュ ウム

	工藤清光	日本農業	2004年12	19(9-2)	シンポジュ
座長解題:地域農業のコーディネート機能と普及手法	小池恒男	普及学会 日本農業	月 2004年12	19(9-2)	ウム シンポジュ
報告1 集落営農と地域づくりの実現	川口世嗣	普及学会 日本農業	月 2004年12	19(9-2)	ウム シンポジュ
報告2 但東シルクロード計画と普及への期待	奥田清喜	普及学会 日本農業	月 2004年12	19(9-2)	ウム シンポジュ
報告3 京野菜の産地づくり	磯部徳昭	普及学会 日本農業	月 2004年12	19(9-2)	ウム シンポジュ
報告4 野菜産地の体制強化と普及の役割	岩田均	普及学会 日本農業	月 2004年12	19(9-2)	ウム シンポジュ
総合討論		普及学会 日本農業	月 2004年12	19(9-2)	ウム シンポジュ
報告1・資料 山間集落の再生に懸ける思い	頭根英之	普及学会 日本農業	月 2004年12	19(9-2)	ウム シンポジュ
報告2・資料 環境保全型農業をすすめる普及活動	北川良治	普及学会 日本農業 普及学会	月 2004年12	19(9-2)	ウム シンポジュ ウム
報告3・資料 加西市水田農業ビジョンにおける担い手の考え方	鍋谷敏明	百及子云 日本農業 普及学会	月 2004年12 月	19(9-2)	シンポジュ ウム
報告4・資料 花壇苗経営を目指す新規就農者への支援	福田憲志	日本農業普及学会	力 2004年12 月	19(9-2)	シンポジュ ウム
報告5・資料 都市・農村交流施設を中心とした過疎産地の活性化	新田美幸	日本農業普及学会	2004年12 月	19(9-2)	シンポジュ ウム
露地野菜における持続型農業の普及と支援機能の役割	中嶋直美・川崎昇三	日本農業普及学会	2004年12 月	19(9-2)	研究報告
リアルタイム栽培状況画像情報システムの構築 —葉たばこ生産管理を中 心にして—	塩光輝·福田博道· 田附明夫	日本農業 普及学会	2004年12 月	19(9-2)	研究報告
販売形態の違いによる農業経営者の意識ならびに行動に関する考察	酒井貞明·石川嘉奈 子	日本農業 普及学会	2004年12 月	19(9-2)	研究報告
山口県における農業改良普及員の人材育成の課題 —認定農業者の営農 情報ニーズを用いて—	宇佐見晃一・岩崎暁	日本農業 普及学会	2004年12 月	19(9-2)	研究ノート
農業経営体育成に関する普及活動の実態について 経営体育成全国コン クール入賞事例の分析から	清水豊弘	日本農業 普及学会	2004年12 月	19(9-2)	事例研究
バングラデシュにおける大豆生産開発・普及 ―普及事業の歴史と新たな取り組み―	山崎正氣	日本農業 普及学会	2004年12 月	19(9-2)	海外事情
山際榮司「日本の農業普及事業の軌跡と展望」	粟野安雄	日本農業 普及学会	2004年12 月		書評
「普及活動の原点を考える」	七戸長生	北海道農 業普及研	2004年8月	第18号	基調講演
経営支援システムを活用した阿寒型酪農経営体の確立	佐藤昌芳	北海道農 業普及研	2004年8月	第18号	研究報告
哺育育成牛管理作業の分業化に対する支援と経営経済的評価(試案)の検 討	岩下有宏	北海道農 業普及研	2004年8月	第18号	研究報告
<u>討</u> 鷹栖町「夢団地21」から転作の本作化を考える	石尾勝己	北海道農 業普及研	2004年8月	第18号	研究報告
新たな価値を地域農業・農村にもとめて	酒井康之	北海道農 業普及研	2004年8月		研究報告
芽室町畑作レディースセミナーの取組み	松井克行	北海道農 業普及研	2004年8月		研究報 告
村づくりに向けた馬鈴しょの特産化	嶋野幹夫	北海道農 業普及研 究	2004年8月	第18号	分科会報 告·第一分 科会
水稲地帯における小麦の本作化への取組	久保勝照	北海道農 業普及研	2004年8月	第18号	分科会報 告·第一分
協業法人設立における普及活動	紙谷志穂	究 究 北海道農	2004年8月	笙18号	科会
顺大丛八成立[-0517 0日人们到	THE LITES HE	業普及研究	2001-07]	3110.7	告·第二分 科会
集落営農に対する普及活動	野澤光朗	北海道農 業普及研	2004年8月	第18号	分科会報 告·第二分
TOKORO型クリーン農業の推進	氏家俊典	究 北海道農	2004年8月	第18号	科会 分科会報
新規参入希望者の地域への定着	上 午来博	業普及研 北海道農	2004年8月	第18号	告 分科会報
春季研究大会(平成16年3月4日、東京)		業普及研 日本農業	2004年6月	18(9-1)	告 シンポジュ
シンポジウム:高度な技術革新の支援内容と普及手法 座長解題:高度な技術革新の支援内容と普及手法	小川奎	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ
報告1 今なぜ、農業が注目されているのか? それに応えられる新技術と	森雅美	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ
は 報告2 種苗業者の技術支援の例	渡邉穎悦	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ
報告3 期待される農業改良普及組織を目指して	生杉佳弘	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ
報告4 農業技術革新と普及手法	佐藤了	普及学会 日本農業 普及学会	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ ウム
総合討論		百及子云 日本農業 普及学会	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ ウム
	I	」ログナム	.1	L	1/-

資料1 座長解題:高度な技術革新の支援内容と普及手法	小川奎	日本農業	2004年6月	18(9-1)	シンポジュ
資料2 今なぜ、農業が注目されているのか? それに応えられる新技術と	森雅美	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ
は 資料3 種苗業者の技術支援の例	渡邉穎悦	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ
資料4 期待される農業改良普及組織をめざして	生杉佳弘	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ
資料5 農業技術革新と普及手法	佐藤了	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	ウム シンポジュ
IT活用による新たな農業改良普及活動の開発	佐々木茂明	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	ウム 研究報告
フィリピンの普及事業における地方分権化の影響	村上厚	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	海外事情
ザンビア共和国の農業と農業普及 ―普及事業の歴史と新たな取り組み―	鈴木篤志	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	海外事情
日本における研究と普及の在り方と役割を問う	 ジョン・S・コールド	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	情報
川路由佳・淵野雄二郎・野本京子「戦時体制下の農業教育と中国人留学生」	ウェル 野村卓	普及学会 日本農業	2004年6月	18(9-1)	書評
	 大浦裕二·河野恵	普及学会 日本農業	2003年12	17(8-2)	研究報告
—消費者意識および生産者意識の定量分析による検討— 「農業技術の特性から見た技術普及方法の検討」	│伸・阿部宏美 │吉田勝二	普及学会 日本農業	月 2003年12	17(8-2)	研究ノート
「バングラデシュにおける農業普及の成果と検討」 ―中部稲作農村の調査	Haq Abu Zafar Ma	普及学会 日本農業	月 2003年12	17(8-2)	研究ノート
から一	hmudul·石田章·横 山繁樹·谷口憲治	普及学会 誌	月		
「野菜主産地形成及び農業集団育成での農業指導者と地域リーダーの役割」 —中国四川省における事例研究—	井一光義	日本農業 普及学会	2003年12 月	17(8-2)	事例研究
バングラデシュにおける畜産振興の展開」 ―農業生産多様化のもとで―	山崎正氣	日本農業普及学会	2003年12 月	17(8-2)	海外事情
「赤土に育む無肥料・無農薬の自然農法」 ―パラグアイの日本人移住者ら と連携・協力による事例として―	三浦喜美男	日本農業普及学会	,, 2003年12 月	17(8-2)	海外事情
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	藤田康樹	日本農業 普及学会	2003年12 月	17(8-2)	情報
門間、木原、井形、後藤 著「バイオビジネス トップランナーへの軌跡 東京 豊大バイオビジネスケース(NBC)」	梅本雅	日本農業普及学会	2003年12 月	17(8-2)	書評
研究大会特集		日本農業普及学会	2003年6月	15,16(8-	
春季研究大会(15号、平成14年3月、東京)		日本農業 普及学会	2003年6月	15,16(8-	シンポジュ ウム
座長解題∶農業におけるIT活用と普及活動	小林一	日本農業普及学会	2003年6月	15,16(8-	シンポジュウム
基調報告 農業IT革命 ―農業におけるIT活用の現状と今後の方向―	塩光輝	日本農業	2003年6月	15,16(8-	シンポジュ
研究報告1 農業生産指導におけるIT活用と課題	佐々木茂明	普及学会 日本農業	2003年6月	15,16(8-	シンポジュ
研究報告2 農業の経営管理指導におけるIT活用と課題	酒井貞明	普及学会 日本農業	2003年6月	15,16(8-	シンポジュ
研究報告3 農産物の流通・販売におけるIT活用と課題	青山浩子	普及学会 日本農業	2003年6月	15,16(8-	シンポジュ
総合討論		普及学会 日本農業	2003年6月	15,16(8-	シンポジュ
資料1 座長解題:農業におけるIT活用と普及活動	小林一	普及学会 日本農業	2003年6月	1 <i>)</i> 15,16(8–	ウム シンポジュ
資料2 農業IT革命 ―農業における現状と今後の方向―	塩光輝	普及学会 日本農業	2003年6月	1 <i>)</i> 15,16(8–	シンポジュ
資料3 農業生産指導におけるIT活用と課題 —有田ミカンデータベース構	佐々木茂明	普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8–	ウム シンポジュ
築への取り組み— 資料4 農業の経営管理指導におけるIT活用と課題	酒井貞明	普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8–	ウム シンポジュ
資料5 農産物の流通・販売におけるIT活用と課題	青山浩子	普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8–	ウム シンポジュ
春季研究大会(16号、平成15年3月、東京)		普及学会 日本農業	2003年6月	1 <i>)</i> 15,16(8–	ウム シンポジュ
会長挨拶・普及の存立が問われるなか、理論形成の拠点の役割を	山極榮司	普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8-	ウム シンポジュ
基調講演 今後の普及事業展開の基本的方向	山極榮司	普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8-	ウム シンポジュ
シンポジウム:普及事業の新たな展開方向と効果的な組織・活用方法		普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8-	ウム シンポジュ
座長解題 シンポジウムのねらい・論点・座長の問題意識とスタンス	稲本志良	普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8-	ウム シンポジュ
報告1 今後の協同農業普及事業の管理・運営体制のあり方 北海道の場	渡辺和義	普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8-	ウム シンポジュ
合 報告2 今後の協同農業普及事業の管理·運営体制のあり方 愛知県の場	杉浦兼之	普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8-	ウム シンポジュ
合 報告3 今後の協同農業普及事業の管理·運営体制のあり方 茨城県の場	鈴木茂	普及学会 日本農業	2003年6月	1) 15,16(8-	ウム シンポジュ
合 報告4 今後の協同農業普及事業の管理・運営体制のあり方 三重県の場	小笠原一豊	普及学会 日本農業	2003年6月	1)	ウム シンポジュ
合		普及学会		1)	ウム

### 2			µ			
報告の 等後の活動機科権的あわかについて 世知像の場合	報告5 今後の活動組織体制のあり方について 北海道の場合	渡辺和義		2003年6月	15,16(8– 1)	シンポジュ ウム
報告子、等後の活成制線体域のあり方について、要如義の場合 新志之、自己を言葉、等のの確定である。著言の遺憾をかくる組織体制のあり方、変統 の場合のできなの事文、書名、著言の遺憾をかくる組織体制のあり方、変統 の場合のできなの事文、書名、著言の遺憾をかくる組織体制のあり方、変統 の場合のできなの事文、書名、著言の遺憾をかくる組織体制のあり方、空紅 が書写、書との事で、書名、著言の遺憾をかくる組織体制のあり方、空紅 研究の場合のできなの事文、書名、著言の遺憾をかくる組織体制のあり方、空紅 が書写、書との事で、音音、著言の遺憾をかくる組織体制のあり方、空紅 研究の場合のできなの事で、音音で表した。 近日本書を表したいるではいる。 「日本書を表したいるではいる。」 「日本書を表したいるではいる。」 「日本書を表したいるではいる。」 「日本書を表したいるではいる。」 「日本書を表したいるではいる。」 「日本書を表しているの情報を表したいるではいる。」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいるではいるではいる。」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいるでは、「日本書を書」」 「日本書を表しているではいるでは、「日本書を書」」 「日本書を表しているではいる。」 「日本書を表しているではいるでは、「日本書を書」」 「日本書を表しているではいるでは、「日本書を表しているでは、「日本書を表しているではいるでは、「日本書を表しているではいるでは、「日本書を表しているでは、「日本書を表し、「日本書を表し、「日本書を表しているでは、「日本書を表しているでは	報告6 今後の活動組織体制のあり方について 三重県の場合	小笠原一豊	日本農業	2003年6月	15,16(8- 1)	シンポジュ
報告の で	報告7 今後の活動組織体制のあり方について 愛知県の場合	杉浦兼之	日本農業	2003年6月	15,16(8-	シンポジュ
## 1		鈴木茂	日本農業	2003年6月	15,16(8-	シンポジュ
海製 一等数 一等数 一等数 一等数 平	報告9 今後の研究・普及・教育の連携をめぐる組織体制のあり方 三重県	小笠原一豊	日本農業	2003年6月	1) 15,16(8–	シンポジュ
製工	の場合 資料1 今後の普及事業展開の基本的方向 —普及事業の在り方に関する	 山極榮司	日本農業	2003年6月	1) 15,16(8-	
音楽 2003年6月 15 15 15 15 15 15 15 1	調査研究委員会報告を中心として― 資料2 普及事業の新たな展開方向と効果的な組織・活動方法			2003年6月	1) 15.16(8-	ウム シンポジュ
資料4 東域県における研究・普及・教育三位 体化のとりくか 粉木茂 日本連条 2003年6月 15-16-16-12-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-			普及学会		1)	ウム
投列5 数如版における普及事業と普及組織体制			普及学会		1)	ウム
資料6 三重信の普及組織体制 一部しい事実に入れるのはどんな酒?			普及学会		1)	ウム
数が国産業業育の現状と問題 お木俊 音及学会 1) クム 一級教育 4(7-1) 研究教育 4(7-1) 4(7-			普及学会		1)	ウム
お木俊	資料6 三重県の普及組織体制 ―新しい革袋に入れるのはどんな酒?―			2003年6月	15,16(8- 1)	
日本製の製造品よび販売技術に関する生物等等	我が国農業教育の現状と課題		日本農業	2003年1月	14(7-1)	
度料 農業・農村基本法と担い手育成 一番及事業の役割と機能及び今後の かわめ切け 日本農業 2003年1月 14(7-1) 事例研究 日本の	日本梨の栽培および販売技術に関する史的考察	安藤義道	日本農業	2003年1月	14(7-1)	研究報告
Adoption of Improved cultivation Practices by the Potato Growers o Abudil Hallm and Bangladesh Bang		神田多喜男·山田勝	日本農業	2003年1月	14(7-1)	事例研究
福市近郊野東産地を支えた人的食資の歴史的考察 —三浦市における事例	Adoption of Improved cultivation Practices by the Potato Growers o		日本農業	2003年1月	14(7-1)	事例研究
下作物別投入産出表」を活用した穏性農家10年の経営比較分析 芸術学会 日本農業 2003年1月 14(7-1) 事例研究 14(7-1) 第月研究 14(7-1) 第月研究 14(7-1) 第月研究 14(7-1) 第月研究 14(7-1) 14(7			日本農業	2003年1月	14(7-1)	事例研究
下作物別投入産出表」を活用した露地野菜経営分析指導に係る普及活動	_		普及学会			
# 2		夫	普及学会			
		紀•奈良原栄司	普及学会			
第1報告 これからの北海道の普及活動	<i>み</i> —	人永荣在	普及学会			
第2報告 地域の関係機関と連携した普及活動	春季研究大会(平成13年3月、東京)		普及学会			ウム
田本農業	第1報告 これからの北海道の普及活動	渡辺和義		2002年8月	13(6-2)	
第3報告 成果志向型の普及活動	第2報告 地域の関係機関と連携した普及活動	山邊勝	日本農業	2002年8月	13(6-2)	シンポジュ
中川一徹	第3報告 成果志向型の普及活動	小笠原一豊		2002年8月	13(6-2)	シンポジュ
お本恒男 日本農業 13(6-2) シンボジュ ウム 13(6-2) シンボジュ 1			並及学会	' ' '		
資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 おのでありである。 おのでありである。 おのであります。 13(6-2) シンボジュウム カムでは 13(6-2) カムでは	第4報告 政策を活用した普及活動		日本農業			ウム シンポジュ
資料2地域の関係機関と連携した普及活動山邊勝日本農業 音及学会 日本農業 日本農業 音及学会 日本農業 自和会計会 日本学 日本学学 日本学学 日本学学 日本学学 日本学学 日本学学 日本学学		中川一徹	日本農業 普及学会 日本農業	2002年8月	13(6-2)	ウム シンポジュ ウム シンポジュ
3 (日本農業 音及学会	第5報告 これからの普及事業と普及活動	中川一徹 杉本恒男	日本農業 普及学会 日本農業 普及学会 日本農業	2002年8月	13(6-2) 13(6-2)	ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム シンポジュ
資料4 政策を活用した普及活動中川一徹普及学会 音及学会 が上の力と ウム シンポジュウム ウム シンポジュウムウム シンポジュウム ウム シンポジュウム ウム シンポジュウム ウム シンポジュウム ウム シンポジュウム ウム シンポジュウム シンポジュウム シンポジュウム シンポジュウム シンポジュウム シンポジュウム シンポジュウム シンポジュウム 基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 一経営社会学的観点から 一 市場業 一 市場業 一 市場票 一 市場票 	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義	日本農業 日本及学業 日本及農業 日本及学業 日本及学業 日本農業	2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム シンポジュ
音及学会 ウム ウム シンボジュウム ウム シンボジュウム ウム シンボジュウム ウム シンボジュウム カイ カイ カイ カイ カイ カイ カイ カ	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝	日普 日普 日普 日普 日普 日普 及 本及 農学農学 農学農学 農学 農学 農学 農学 農学 農学 美会 業会	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム
全体討議普及学会 日本農業 普及学会ウム シンボジュウム夏季研究大会(平成12年7月、東海)日本農業 普及学会2002年8月 日本農業 普及学会13(6-2) シンボジュウム基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 —経営社会学的観点から 一 水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 —新潟県白根市での果樹 産地事例から— 鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究中野耕栄 日本農業 普及学会12(6-1) 田本農業 普及学会2001年8月 12(6-1)12(6-1) 研究報告イチゴ産地における新品種の普及過程の研究 農業青年の施設教育に関する一考察原田淳、津谷好人、F. T. Haryadai 日本農業 省及学会日本農業 普及学会2001年8月 12(6-1)12(6-1) 研究ノート 普及学会韓国農村指導技術の変動藤田康樹日本農業 普及学会2001年8月 12(6-1)12(6-1)研究ノートタイ国の園芸普及 —野菜生産振興と総合病害管理(IPM)事業の展開— インドシナ3国の農業普及事業概観山崎正氣 日本農業 普及学会2001年8月 12(6-1)12(6-1)海外事情	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム
夏季研究大会(平成12年7月、東海)普及学会 日本農業 普及学会2002年8月 ・ウム13(6-2) ・シンボジュウム基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 一経営社会学的観点から 水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 一新潟県白根市での果樹 産地事例から一 鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究中野耕栄 ・ 日本農業 ・ 音及学会 ・ 中本農業 ・ 音及学会日本農業 ・ 音及学会 ・ 日本農業 ・ 音及学会2001年8月 ・ 日本農業 ・ 音及学会12(6-1)研究報告様本経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究原田淳、津谷好人、 ・ F. T. Haryadai ・ 日本農業 ・ 音及学会日本農業 ・ 音及学会2001年8月 ・ 音及学会12(6-1)研究ノート農業青年の施設教育に関する一考察仙北富志和、渋谷義 ・ 「日本農業 ・ 音及学会日本農業 ・ 音及学会2001年8月 ・ 日本農業 ・ 音及学会2001年8月 ・ 日本農業 ・ 音及学会12(6-1)研究ノート韓国農村指導技術の変動藤田康樹日本農業 ・ 音及学会2001年8月 ・ 日本農業 ・ 音及学会12(6-1)海外事情タイ国の園芸普及 一野菜生産振興と総合病害管理(IPM)事業の展開 ・ インドシナ3国の農業普及事業概観日本農業 ・ 音及学会 ・ 日本農業 ・ 音及学会2001年8月 ・ 12(6-1)12(6-1)海外事情	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウム
基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 —経営社会学的観点から 上の規定 一大原興太郎普及学会 普及学会 普及学会 13(6-2)ウム シンポジュウム ウム ・カム 	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウム シンポジュ ウム シンポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウムポジュ
基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 —経営社会学的観点から 内原興太郎日本農業 普及学会2002年8月 13(6-2) シンポジュウム水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 —新潟県白根市での果樹 序地事例から— 鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究中野耕栄日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1) 研究報告イチゴ産地における新品種の普及過程の研究原田淳、津谷好人、 F. T. Haryadai 音及学会 仲北富志和、渋谷義 信力 中国農村指導技術の変動日本農業 音及学会 音及学会2001年8月 12(6-1) 研究ノート 研究ノート 音及学会 音及学会韓国農村指導技術の変動藤田康樹日本農業 音及学会 音及学会2001年8月 12(6-1) 研究ノート 音及学会 音及学会タイ国の園芸普及 —野菜生産振興と総合病害管理(IPM)事業の展開— インドシナ3国の農業普及事業概観山崎正氣 日本農業 音及学会 音及学会日本農業 音及学会 音及学会 日本農業 2001年8月 12(6-1) 海外事情	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウム シンポジュ ウムポジュ ウンポジュ ウムポジュ ウムポジュ ウンムポジュ ウンムポジュ ウムポッシンムポッシュ ウンカッシンム
水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 一新潟県白根市での果樹 中野耕栄日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)研究報告 音及学会鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究滝沢昌道日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)研究報告 音及学会イチゴ産地における新品種の普及過程の研究原田淳、津谷好人、	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウムポジュ ウンポンカンムポジュウンムポッシンムポッシンムポッシンムポッシュウンムポッシュウンムポッシュウンムポッシュウンムポッシュウンムポッシュウンムポッシュウンムポッシュウンム
鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究滝沢昌道日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)研究報告イチゴ産地における新品種の普及過程の研究原田淳、津谷好人、 日本農業 音及学会日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)研究ノート農業青年の施設教育に関する一考察仙北富志和、渋谷義 仁 音及学会日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)研究ノート韓国農村指導技術の変動藤田康樹 日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)海外事情タイ国の園芸普及 一野菜生産振興と総合病害管理(IPM)事業の展開— 山崎正氣日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)海外事情インドシナ3国の農業普及事業概観有澤政義日本農業 2001年8月 12(6-1)海外事情	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議 夏季研究大会(平成12年7月、東海)	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹 杉本恒男	日普日普日普日普日普日普日普日普日普日,本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウムポジュ ウムポジュ ウンポポジュ ウンボポジュ ウンムポッシンムポージ ウンムポージンム ポージンム ポージンム ポージンム ポージンム ポージンム ポージンム オージンカン ウンカンカンカンカンカンポージュー マー・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン
イチゴ産地における新品種の普及過程の研究原田淳、津谷好人、日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)研究ノート 研究ノート 研究ノート 研究ノート 音及学会農業青年の施設教育に関する一考察 韓国農村指導技術の変動仙北富志和、渋谷義 日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)研究ノート 研究ノート 研究ノート 研究ノート 日本農業 音及学会タイ国の園芸普及 ―野菜生産振興と総合病害管理(IPM)事業の展開— インドシナ3国の農業普及事業概観山崎正氣 日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1)海外事情 音及学会	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議 夏季研究大会(平成12年7月、東海) 基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 ―経営社会学的観点から ―	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹 杉本恒男 大原興太郎	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウムポジュ ウンポッシンムポッシュウンカンボージョン・ウンボージョン・ウンガーシン・ウン・ウン・ウン・ウン・ウン・ウン・ウン・ウン・ウン・ウン・ウン・ウン・ウン
農業青年の施設教育に関する一考察	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議 夏季研究大会(平成12年7月、東海) 基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 ―経営社会学的観点から 一 水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 ―新潟県白根市での果樹 産地事例から―	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹 杉本恒男 大原興太郎	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2)	ウンカーシウシウシウシウシウシウシウンム ポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポー
佐 普及学会	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議 夏季研究大会(平成12年7月、東海) 基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 —経営社会学的観点から 一 水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 —新潟県白根市での果樹 産地事例から— 鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹 杉本恒男 大原興太郎 中野耕栄 滝沢昌道 原田淳、津谷好人、	日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日,本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及本及	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2001年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 12(6-1) 12(6-1)	ウシウシウシウシウシウシウシウラウ 研 スポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポー
タイ国の園芸普及 ―野菜生産振興と総合病害管理(IPM)事業の展開―山崎正氣日本農業 音及学会2001年8月 12(6-1) 海外事情インドシナ3国の農業普及事業概観有澤政義日本農業 2001年8月 12(6-1) 海外事情	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議 夏季研究大会(平成12年7月、東海) 基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 —経営社会学的観点から 一 水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 —新潟県白根市での果樹 産地事例から— 鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究 イチゴ産地における新品種の普及過程の研究	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹 杉本恒男 大原興太郎 中野耕栄 滝沢昌道 原田淳、津谷好人、 F. T. Haryadai	日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普日普及本及本及本及本	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2001年8月 2001年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 12(6-1) 12(6-1)	ウシウシウシウシウシウシウラウ 研研 インム ポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポーポー
・	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議 夏季研究大会(平成12年7月、東海) 基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 —経営社会学的観点から 水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 —新潟県白根市での果樹産地事例から— 鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究 イチゴ産地における新品種の普及過程の研究 農業青年の施設教育に関する一考察	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹 杉本恒男 大原興太郎 中野耕栄 滝沢昌道 原田淳、津谷好人、 F. T. Haryadai 仙北富志和、渋谷義	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2001年8月 2001年8月 2001年8月 2001年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 12(6-1) 12(6-1) 12(6-1)	ウシウシウシウシウシウシウラウ 研研研 が ボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボ
	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議 夏季研究大会(平成12年7月、東海) 基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 —経営社会学的観点から 水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 —新潟県白根市での果樹産地事例から— 鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究 イチゴ産地における新品種の普及過程の研究 農業青年の施設教育に関する一考察 韓国農村指導技術の変動	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山邊勝 小笠原一豊 中川一徹 杉本恒男 中川一徹 杉本恒男 大原興太郎 中野耕栄 滝沢 具な好人、F. T. Haryadai 仙北富志和、渋谷義仁勝田康樹	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2001年8月 2001年8月 2001年8月 2001年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 12(6-1) 12(6-1) 12(6-1) 12(6-1) 12(6-1)	ウシウシウシウシウシウシウシウシウ 研研研研の分 の の の の の の の の の の の の の の の の
	第5報告 これからの普及事業と普及活動 資料1 これからの北海道の普及活動 資料2 地域の関係機関と連携した普及活動 資料3 成果志向型の普及活動 資料4 政策を活用した普及活動 資料5 これからの普及事業と普及活動 全体討議 夏季研究大会(平成12年7月、東海) 基調報告 水田農業経営の確立と普及活動手法 ―経営社会学的観点から ― 水田地帯における果樹産地の展開と今後の方向 ― 新潟県白根市での果樹産地事例から― 鉢木経営における家族労働と雇用労働の役割分担関係に関する研究 イチゴ産地における新品種の普及過程の研究 農業青年の施設教育に関する一考察 韓国農村指導技術の変動 タイ国の園芸普及 ―野菜生産振興と総合病害管理(IPM)事業の展開―	中川一徹 杉本恒男 渡辺和義 山 逸勝 小 笠原一 中川一徹	日普	2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2002年8月 2001年8月 2001年8月 2001年8月 2001年8月 2001年8月	13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 13(6-2) 12(6-1) 12(6-1) 12(6-1) 12(6-1) 12(6-1)	ウシウシウシウシウシウシウシウザ 研研 海海 ムンムンムンムンムンムンムンムンムンムンムンムの 究究外 外が ポポポポポポポポポポ 報報 アクタ 事事 ジョン・ジョン・ジョン・ジョン・カート 情 事情

小室重雄著『水稲直播の経営的効果と定着条件』	西村謙三	日本農業 普及学会	2001年8月	12(6-1)	書評
研究大会特集		日本農業普及学会	2000年11	11(5-2)	<u> </u>
春季研究大会(平成11年3月、東京)		日本農業	月 2000年11	11(5-2)	シンポジュ
シンポジウム:新たな農政の方向と普及活動の重点化 新たな農政の方向と普及活動の重点化での検討問題	稲本志良	普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウム シンポジュ
第1報告 新たな農政の方向と普及活動の展開方向	 木村栄一	普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウム シンポジュ
第2報告 普及活動の重点化をどう指導してきたか	 粟野安雄	普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウム シンポジュ
第3報告 普及活動の重点化にどう取り組んできたか	 小野智栄	普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウム シンポジュ
第4報告 普及活動の重点化に何を期待するか	香取鐵也	普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウム シンポジュ
		普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウム シンポジュ
夏季研究大会(平成11年8月、東北)		普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウム シンポジュ
テーマ:経営体育成支援と普及活動 基調講演 経営体育成支援と普及活動	 大泉一貫	普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウム シンポジュ
報告1 法人経営による水田営農の確立	後藤俊夫	普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウムシンポジュ
報告2 環境条件を生かした自然体の活動を目指して		普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウムシンポジュ
報告3 行政としての経営体支援方向	三浦正勝	音及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウムシンポジュ
報告3 11 政としての程営体文振力问 報告4 生産組織の連携による地域の活性化	二用止份 千葉孝喜	日本展集 普及学会 日本農業	月 2000年11	11(5-2)	ウムシンポジュ
		普及学会	月		ウム
報告5 市町村経営改善支援センターとの連携による経営体育成支援	小枝均	日本農業 普及学会	2000年11 月	11(5-2)	シンポジュウム
報告6 家族経営協定でパートナーシップ経営を	笹嶋貞子	日本農業 普及学会	2000年11 月	11(5-2)	シンポジュ ウム
経営体の育成支援手法の検討		日本農業 普及学会	2000年11 月	11(5-2)	第1分科 会
アグリビジネス等の育成支援		日本農業 普及学会	2000年11 月	11(5-2)	第2分科 会
新たな普及事業における経営体育成支援の役割	木村伸男	日本農業 普及学会	2000年11 月	11(5-2)	会 総括提言
温州みかん作におけるスピード・スプレーヤ導入の経済性	松下秀介	日本農業 普及学会	2000年3月	10(5-1)	研究報告
ネパールにおけるファーミング・システム研究の展開と課題	横山繁樹	日本農業普及学会	2000年3月	10(5-1)	研究報告
「作目別投入産出表」を活用した普及活動(Ⅰ)	真中多喜夫	日本農業普及学会	2000年3月	10(5-1)	事例研究
タイ国ナコーン・パトム県における輸出用アスパラガス生産の普及と発展 — キャンペンセン軍トゥン・クワン地区の事例を中心として—	チャチャリー・ナリトゥ ム、鈴木俊		2000年3月	10(5-1)	研究ノート
自然環境の技術課と社会化 —多面的機能を、百姓の仕事として表現し、評価するための支援のあり方—	宇根豊	日本農業普及学会	2000年3月	10(5-1)	研究ノート
安藤義道著『現代農民のライフ・ヒストリーと就農行動「納得倫理」型農民教育の創造』	梅本雅	日本農業普及学会	2000年3月	10(5-1)	書評
発展途上国における後発農村地域のリーダー育成に関する研究 ―北タイ	有澤政義	日本農業普及学会	1999年3月	9(4-2)	研究報告
山岳民族を事例として— 現代農民のライフ・ヒストリーと就農構造 —「納得倫理」型農民教育の創造	安藤義道	日本農業	1999年3月	9(4-2)	研究報告
<u></u> 土地利用型農業の経営診断指標	梅本雅	普及学会 日本農業	1999年3月	9(4-2)	研究報告
条件不利地域における農業振興及び農村活性化のための普及活動 九州・	園田誠・ほか	普及学会 日本農業	1999年3月	9(4-2)	事例研究
沖縄ブロック普及活動研究会 バングラディッシュにおける稲作技術協力の成果と課題 ―技術研修員の受	三浦多喜夫	普及学会 日本農業	1999年3月	9(4-2)	研究ノート
入れと技術移転の見地から— タイ国の畜産普及 —酪農振興政策の展開—	山崎正氣	普及学会 日本農業	1999年3月	9(4-2)	海外事情
農業者大学校・同窓会編著「農者大まるごと食べる本」	納口るり子	普及学会 日本農業	1999年3月	9(4-2)	書評
アグリファンド石川「味人めぐり」	//	普及学会 日本農業	1999年3月	9(4-2)	書評
平成9年度大会シンポジウム		普及学会 日本農業	· ·	8(4-1)	<u> </u>
普及指導活動の評価はいかにあるべきか	 コーディネーター・藤	普及学会 日本農業		8(4-1)	シンポジュ
第1報告 個別における普及指導活動の評価と方法	田康樹 松岡秀子	普及学会 日本農業	月 1998年11	8(4-1)	ウム シンポジュ
第2報告 農業改良普及センターとしての普及指導活動の評価と方法	保立義尊	普及学会 日本農業	月	8(4-1)	ウム シンポジュ
第3報告 普及指導計画に関する調査報告	金子黎次	普及学会 日本農業	月	8(4-1)	ウム シンポジュ
第4報告「普及活動レビュー」に関する検討報告	本	普及学会 日本農業	月	8(4–1)	ウムシンポジュ
	127176713	普及学会	月		ウム

全体討議		日本農業	1998年11	8(4-1)	シンポジュ
都市と農村の交流を効果的に進めるための普及活動方法の研究	高島昭ほか	普及学会 日本農業	月 1998年11	8(4-1)	ウム 事例研究
水田農業の担い手育成・支援に関する普及方法	清水豊弘ほか	普及学会 日本農業	月 1998年11	8(4-1)	事例研究
表が国稲作技術協力における第三国集団研修 まが国稲作技術協力における第三国集団研修	三浦喜美男	普及学会 日本農業	月 1998年11	8(4-1)	研究ノート
フィリピンの畜産普及—中期農業開発計画:1993-1998の展望	山崎正氣	普及学会 日本農業	月 1998年11	8(4-1)	海外事情
ドイツ連邦共和国の農業報告にみる普及事業の変遷	中川一徹	普及学会 日本農業	月 1998年11	8(4-1)	海外事情
	田口俊郎	普及学会 日本農業	月 1998年11	8(4-1)	書評
「普及活動レビュー」に関する検討報告	杉本忠利	普及学会 日本農業	月 1998年11	8(4-1)	
稲作新技術の導入過程と経営者の意思決定	 梅本雅、高橋明広	普及学会 日本農業	月 1998年2月	7(3-2)	<u> </u> 研究報告
農業経営における女性労働の性格と特徴	五藤明美、スウィニー	普及学会 日本農業	1998年2月	7(3-2)	研究報告
	タ・ヘイラット、杉山道雄、荒幡克己、小栗克之、ジュリー・K・A・イダマルゴダ、柳	普及学会 誌			
カンショ作経営の輪作体系導入の課題と条件	秦春、成耆政	口士曲坐	1998年2月	7(2.0)	研究報告
	西村謙三	日本農業普及学会			
タイにおける複合農業の展開と普及事業に関する研究	稲森岳史	日本農業普及学会	1998年2月		研究ノート
稲作指導における「官」と「民」	五十鈴川寛、後藤浩志	日本農業 普及学会	1998年2月		研究ノート
生活改善事例から見る普及活動について	松田武子、乾多津子、高屋恵利子、黄	日本農業 普及学会	1998年2月	7(3-2)	研究ノート
1950~1965年の中国農業普及事業の展開	瀬邦子 許斐、竹谷裕之	誌 日本農業	1998年2月	7(3-2)	海外事情
「文化大革命」期の中国農業普及における草の根型組織の役割	同上	普及学会 日本農業	1998年2月	7(3-2)	海外事情
バングラデシュの園芸普及	山崎正氣	普及学会 日本農業	1998年2月	7(3-2)	海外事情
『教育をどうする』	藤田康樹	普及学会 日本農業 普及学会	1998年2月	7(3-2)	書評
『環境時代の農村整備』	中野つね子	日本農業 普及学会	1998年2月	7(3-2)	書評
平成8年度大会シンポジウム 地域農業振興と合意形成		日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	
第1報告・集落営農組織育成のための合意形成	上田栄一	日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	シンポジュウム
第2報告・地域農業振興に向けた合意形成の方法と手段	小林俊夫	日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	シンポジューウム
第3報告・住民参加による地域農業振興と合意形成	門間敏幸	日本農業 音及学会	1997年8月	6(3-1)	シンポジュウム
全体討議		日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	シンポジュウム
農村景観研究の視座	中村攻	日本農業 普及学会	1997年8月	6(3-1)	研究報告
法人育成に関わる普及活動と課題 ―法人育成の視点とは何か	大朏徹	日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	事例研究
平成8年度調査研究助成事業報告・農業者(担い手及び新規参入者)育成に おける施設教育の役割と展開に関する調査研究	高倉和男	日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	研究ノート
福作分野における海外技術研修員の受入れと日本型稲作技術の普及	三浦喜美男	日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	研究ノート
オランダ・デンマークの農業教育調査	式村茂	日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	海外事情
藤田康樹著「青年農業者の形成と支援」	納口るり子	日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	書評
(付)普及指導活動の評価研究会報告(中間報告)		日本農業普及学会	1997年8月	6(3-1)	
青年農業者の形成と醸成される能力に関する一考察	塩見定美	日本農業普及学会	1997年1月	5(2-2)	研究報告
経営複合化の経営管理問題	星野康人	日本農業 普及学会	1997年1月	5(2-2)	研究報告
農業者の経営転換を支援する普及活動の考察	太田文雄	日本農業 普及学会	1997年1月	5(2-2)	事例研究
農業経営体の発展段階に応じた普及活動のアプローチ	林錡	日本農業 普及学会	1997年1月	5(2-2)	事例研究
バングラデシュの農業における技術移転	モハマド・ズルフィカ ル・ラーマン、三国英 実	日本農業	1997年1月	5(2-2)	研究ノート
北タイ山岳民族の社会問題と農村開発	有澤政義	記 日本農業 普及学会	1997年1月	5(2-2)	研究ノート

ナイジェリアにおける農業の研究と普及の連携	ジョセフ・U. アグバ	日本農業	1997年1月	5(2-2)	海外事情
ニュージーランドにおける行政改革前の農業政策と技術の普及システムに学	ム 岸田芳朗	普及学会 日本農業	1997年1月	5(2-2)	海外事情
ぶ 門間敏幸著『TN法―むらづくり支援システム―実践事例集』	井出万仁	普及学会 日本農業	1997年1月	5(2-2)	書評
宇佐見繁・亀和田秀雄編『家族経営の法人化を考える』	川崎昇三	普及学会 日本農業	1997年1月	5(2-2)	書評
平成7年度大会シンポジウム		普及学会 日本農業	1996年7月	4(2-1)	<u> </u>
水田農業の担い手育成とその支援方法 報告、全体討論 農村生活環境整備事業の社会環境効果測定手法	谷沢巌	普及学会 日本農業	1996年7月	4(2-1)	研究報告
養漁における近代的技術採用に関する農民の直面する問題と情報源 ―バ		普及学会 日本農業	1996年7月	4(2-1)	研究報告
ングラディシュのチャンドブル・サダル・ターナでの研究—	ラム・アハブブ ラー マン、モハメッド・ズ	普及学会 誌			
普及事業により紹介される革新技術の採用に関わる農民の社会心理的要因	ルフィカル 草野孝久	日本農業	1996年7月	4(2-1)	事例研究
<u>についての一考察 ―フィリピンの酪農振興の事例から―</u> 農業教育における農業後継者育成に関する研究	永田栄一	普及学会 日本農業	1996年7月	4(2-1)	研究ノート
農業における試験研究と普及の連携に関する研究(中間報告)	 藤田康樹、J. アグバ	普及学会 日本農業	1996年7月	4(2-1)	研究ノート
平成7年度調査研究助成事業課題報告	<u> </u>	普及学会 日本農業	1996年7月	4(2-1)	
1. 農業の生産技術と施策の変遷と課題	佐伯博	普及学会 日本農業	1996年7月	4(2-1)	調査研究
		普及学会 誌			事業課題 報告
2. 定期的情報提供システムによる新たな普及指導活動手法展開の可能性	杉浦兼之	日本農業 普及学会 誌	1996年7月	4(2-1)	調査研究 事業課題 報告
3. 女性が新規就農しやすい農業法人の条件の解明と普及支援活動のあり 方	舘一枝	日本農業 普及学会 誌	1996年7月	4(2-1)	調査研究 事業課題 報告
4. 農業資産・農業技術を活用した事業部門を取り込んだ都市地域の農業経営と今後の普及活動	小坂一英他	日本農業 普及学会 誌	1996年7月	4(2-1)	調査研究 事業課題 報告
5. 家族農業経営と企業的農業経営における管理設計の現状と就労条件整備のための課題	加藤雅子	日本農業 普及学会 誌	1996年7月	4(2-1)	調査研究 事業課題 報告
持続的農業の経済・環境・社会に及ぼした影響 ―アメリカの場合―	岩本隼人	日本農業 普及学会	1996年7月	4(2-1)	海外事情
普及制度民営化の功罪 ―ニュージーランドの普及システム―	村上祐治	日本農業 普及学会	1996年7月	4(2-1)	海外事情
金沢夏樹・松田藤四郎編著「稲のことは稲に聞け―近代農学の始祖・横井時 敬」	藤田康樹	日本農業普及学会	1996年7月	4(2-1)	書評
・吸」 中山間地域における普及指導活動―地域活性化を目指した普及活動手法 マニュアル	桑田和哲	日本農業普及学会	1995年12 月	3(1-3)	研究報告
高付加価値型農業のマーケティング戦略 —中山間地域の事例より—	中嶋直美、川崎昇三	日本農業		3(1-3)	研究報告
農業青年クラブの成立と展開に関する一考察	安藤義道	普及学会 日本農業	1995年12	3(1-3)	研究報告
農業構造政策の展開における普及的手法の導入に関する実践例	仙北富志和、三浦愼	普及学会 日本農業	1995年12	3(1-3)	事例研究
農業経営体(認定農業者)の育成について	三沢和人	普及学会 日本農業	1995年12	3(1-3)	事例研究
長井市における水稲湛水土壌中直播栽培と今後の普及課題	斎藤恒助、高橋敏浩	普及学会 日本農業	月 1995年12	3(1-3)	事例研究
データベースソフトを利用した面接調査	真田弘通	普及学会 日本農業	1 —	3(1-3)	研究ノート
自立経営農家の休日制導入方法の条件整備	 小柿桂子・協力:金	普及学会 日本農業	1 `	3(1-3)	研究ノート
普及活動における経営指導の回顧と展望	原節子、林美喜代 五十鈴川寛	普及学会 日本農業	月 1995年12	3(1-3)	研究ノート
韓国農協の婦女会活動及び生活指導事業	 朴鍾浦、岡部守、白	普及学会 日本農業	月 1995年12	3(1-3)	海外事情
日米普及事業の最近の課題について	石正彦	普及学会 日本農業	月 1995年12	3(1-3)	座談会
小林公能著『地域農業発展の社会システム論的考究』	藤田康樹	普及学会 日本農業		3(1-3)	書評
井出和人著『誰にもわかる農業法人 ―啓発から設立まで―』	木村伸男	普及学会 日本農業		3(1-3)	書評
記念講演『日本農業普及学会に期待する』	金澤夏樹	普及学会 日本農業	<u>月</u> 1995年8月	2(1-2)	<u> </u>
平成6年度大会シンポジウム 農業経営者の情報利用と普及活動		普及学会 日本農業	1995年8月	2(1-2)	
青年農業者確保育英のための普及活動のあり方	九州・沖縄ブロック普		1995年8月	2(1-2)	研究報告
普及活動への一研究者の期待	及活動研究会 坪井伸広	誌 日本農業 ※及学会	1995年8月	2(1-2)	研究ノート
	<u> </u>	普及学会	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>

農業高校の現状と自営者育成	永田栄一	日本農業 普及学会	1995年8月	2(1-2)	研究ノート
美しい農村環境づくりをめざした普及活動	中村チエ	日本農業普及学会	1995年8月	2(1-2)	研究ノート
大分県における女性の主体性の確立と地域活性化の活動状況	安藤美江	日本農業普及学会	1995年8月	2(1-2)	研究ノート
フランスの青年農業者就農助成制度	原口和夫、相馬厚司	日本農業普及学会	1995年8月	2(1-2)	海外事情
川俣茂著『新普及指導活動論』	羽石誠志	日本農業普及学会	1995年8月	2(1-2)	書評
藤田康樹著『21世紀への農業普及』	観行克子	日本農業普及学会	1995年8月	2(1-2)	書評
「農業普及研究」発刊のご挨拶	山極榮司	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	
特別寄稿・浜田陽太郎 高橋政行 松田藤四郎 志村博康 小林仁 坂東賢		日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	
<u>吉</u> 普及センターに期待される機能 —市町村・農協に対するこれからの普及活 動—	関東ブロック普及活動研究会	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	研究報告
地域づくりの合意形成ルールと支援手法	門間敏幸	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	研究報告
農業者の技術革新における影響媒体に関する調査研究	藤田康樹	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	研究報告
普及のパワーアップ	辻利彦	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	事例研究
渥美農業における農村女性の今日的課題と自立	大谷雅子	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	事例研究
21世紀に向けた普及活動のあり方	大川恵美子、舟田一 与	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	事例研究
発展途上国における農村女性グループ活動の教育的効果とその測定方法に 関する研究		日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	研究ノート
青年農業者の意思決定能力の養成	芳之内正幸	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	研究ノート
バングラデシュの畜産普及	山崎正氣	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	海外事情
山極榮司著「これからの普及事業を考える」	飯塚節夫	日本農業普及学会	1995年3月	1(1-1)	書評
竹中久二雄・木村慶男・磯野定夫・杉本隆重共著「世界の農業支援システ ム」	田島重雄	日本農業 普及学会	1995年3月	1(1-1)	書評